

利ヲ謂フ

第五條 國債ノ交付價格ハ時價ヲ參酌シテ大藏大臣之ヲ定ム

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●復興交付公債ノ發行交付ニ關スル規程

大正十三年六月十二日
大藏省令第十六號

大正十二年法律第五十五號第二條ニ依リ發行スル公債ノ發行交付ニ關スル規程左ノ通定ム

復興交付公債ノ發行交付ニ關スル規程

第一條 政府ハ大正十二年法律第五十五號第二條ニ依リ五分利公債ヲ發行ス

第二條 本公債ノ元金ハ發行ノ年ヨリ五年据置キ其ノ翌年ヨリ向五十年内ニ額面金額ヲ以テ之ヲ償還ス

第三條 本公債初期ノ利子ハ補償金其ノ他ノ金額ノ支拂ヲ受クヘキ土地所有者其ノ他ノ利害關係人カ權利ノ移轉消滅其ノ他

ノ事由ニ依リ其ノ金額ヲ請求シ得ヘキ日ヨリ之ヲ附ス

第四條 本公債ノ交付價格ハ別ニ之ヲ告示ス

第五條 土地所有者其ノ他ノ利害關係人ニ交付スヘキ公債ノ額面金額ハ之ヲ被交付者ニ通知ス

第六條 前條ノ通知ヲ受ケタル者公債ノ交付ヲ受ケムトスルトキハ請求書(書式第一號)ニ印鑑證明ヲ添附シ大藏省ニ提出ス

ヘシ

第七條 前條ノ請求アリタルトキハ公債交付通知書(書式第二號)ヲ交付ス

前項ノ通知書ノ交付ヲ受ケタル者ハ領收證欄内ニ式ノ如ク記名捺印ノ上日本銀行ニ提出シ之ト引換ニ公債ヲ受領スヘシ

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス
書式第一號

請 求 書

一五分利公債(號)額面 圓

右日本銀行 店ニ於テ御交付相成度印鑑證明添附此段請求候也

大正 年 月 日

大藏大臣 殿

住所 氏 名印

書式第二號(表面)

交 付 通 知 書

興第	號	指 定	日 本 銀 行
		取 扱 店	受 取 人
一五分利公債(號)額面		圓	

但シ大正 年 月 日 渡以降利札附屬

右大正十二年法律第五十五號ニ依リ發行ス前記指定ノ取扱店ニテ之ヲ受取ルヘシ

大正 年 月 日

此證券 枚

大 藏 大 臣

第二類 内國債 復興交付公債ノ發行交付ニ關スル規程

領收證

前記ノ公債正ニ領收候也

大正 年 月 日

受取人

書式第二號(裏面)

(注意)

- 一 受取人ハ表面領收證ノ部ニ年月日及住所ヲ記入シ記名捺印シ公債領收ノ證トシテ之ヲ指定ノ取扱店ニ差出シ公債ノ交付ヲ受クヘシ
- 一 受取人カ代人ヲ以テ公債ノ交付ヲ受ケムトストキハ本人ニ於テ本書委任欄内ニ適宜ノ事項ヲ記載シ記名捺印スルカ又ハ別ニ委任狀ヲ差出スヘシ此ノ場合ニ於テ代人ハ本書ニ代人タルノ肩書ヲ附シ記名捺印スヘシ
- 一 受取人ノ印章ハ請求書ニ添附セシ印鑑ト同一ノモノニ限ル

印紙

委任狀

表記公債ノ受取方ヲ

ニ委任候也

大正 年 月 日

災害善後ニ關スル經費支辨ノ爲公債發行ニ

關スル件

昭和十一年二月十二日
勅令第七號

朕茲ニ緊急ノ必要アリト認メ樞密顧問ノ諮詢ヲ經テ帝國憲法第七十條第一項ニ依リ災害善後ニ關スル經費支辨ノ爲公債發行ニ關スル件ヲ裁可シ之ヲ公布セシム

災害善後ニ關シ必要ナル經費支辨ノ爲政府ハ六百十萬圓ヲ限り公債ヲ發行シ又ハ借入金ヲ爲スコトヲ得

前項ノ規定ニ依ル公債ノ發行價格差減額ヲ補填スル爲必要アル場合ニ於テハ前項ノ制限以外ニ公債ヲ發行シ又ハ借入金ヲ爲スコトヲ得

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

家祿賞典祿處分法

明治三十年十一月一日
法律第五十號

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル家祿賞典祿處分法ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

家祿賞典祿處分法

第一條 明治三年九月十日太政官布告藩制施行以後家祿賞典祿ヲ有シタル者及其ノ家名承繼人ニシテ明治九年八月太政官第百八號布告及同年十二月太政官第百五十二號布告施行ノ際其ノ祿高ニ對スル全部ノ給與ヲ受ケサル者若ハ相當額ノ給與ニ不足アル者明治四年七月二十四日祿高ニ關スル太政官布告ニ依リ調査シタル以後ノ祿高及其ノ調査以前ニ係ル藩制施行以後ノ祿高ニ錯誤アルトキハ本法施行ノ日ニ於テ其ノ本人又ハ其ノ家名承繼人ニ限り其ノ給與未濟額ヲ明治九年八月太政官第百八號布告第一條及同年十二月太政官第百五十二號布告ノ率ニ據リ換算シ其ノ元金額ヲ祿高整理ノ爲發行スル公債證書ヲ以テ給與ス

但シ常事犯ノ爲沒祿若ハ減祿セラレタル者ハ此ノ限ニ在ラス

第二條 明治六年十二月太政官第四百二十五號布告ニ據リ處分ヲ受ケタル者ニシテ其ノ祿高ニ對スル相當額ノ給與ニ不足アル者

第二類 內國債

災害善後ニ關スル經費支辨ノ爲公債發行ニ關スル件 家祿賞典祿處分法

ル者ハ其ノ本人及本法施行ノ日ニ於テ現ニ其ノ家名承繼人タル者ニ限り其ノ給與未済額ヲ明治六年十二月太政官第四百二十六號布告第一條ノ率ニ據リ換算シ其ノ元金額ヲ祿高整理ノ爲發行スル公債證書ヲ以テ給與ス

第三條 第一條及第二條ノ祿高ヲ金額ニ換算スルハ明治八年九月太政官第三百三十八號布告ニ據リ取調ヘタル既定ノ石代相場ニ據ル

第四條 第一條及第二條ノ給與ヲ受ケムトスル者ハ其ノ理由及證據ヲ具シ地方廳ヲ經由シテ大藏大臣ニ願出ツヘシ但シ本法施行ノ日ヨリ一箇年以内ニ願出サルトキハ本法ノ給與ヲ受クルコトヲ得ス

附則

第五條 此ノ法律ニ牴觸スル法律命令ハ此ノ法律施行ノ日ヨリ其ノ效力ヲ失フモノトス

●家祿賞典祿處分法施行法

明治三十二年三月二十三日
法律第八十四號

改正(一) 大正九年八月五日
法律第四十一號

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル家祿賞典祿處分法施行法ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

家祿賞典祿處分法施行法

第一條 家祿又ハ賞典祿ハ左ノ標準ニ據リ之ヲ調査ス

一 政府ノ布告達其ノ他ノ命令ニ依リ定マリタル制度

一 明治四年七月十四日前各藩ニ於テ最後ニ定メタル制度(各藩ニ於テ最後ニ定メタル制度ニシテ廢藩以後各府縣ニ於テ施行シタルモノトモ)但各藩ニ於テ定メタル制度中他日ノ改正ヲ期シタルモノハ之ヲ問ハス

第二條 明治九年八月太政官布告第百八號第一條ニ依リ給與未済額ヲ換算スル場合ニ於テハ同布告第三條ヲモ適用ス

第三條 家祿賞典祿處分法第一條ニ依リ三箇年未済ノ年限祿ニ對スル給與未済額ヲ給與スル場合ニ於テハ明治九年八月太政

官布告第百八號第一條二年ノ者ニ對スル換算率ヲ準用ス

家祿賞典祿處分法第二條ニ依リ年限祿ニ對スル給與未済額ヲ給與スル場合ニ於テハ明治七年太政官布告第三十一號ヲ適用シ其ノ三箇年未済ノ者ニ付テハ二年ノ者ニ對スル換算率ヲ準用ス

第四條 明治九年八月太政官布告第百八號及同年十二月太政官布告第百五十二號ノ率ニ依リ給與未済額ヲ算出スル場合ニ於テハ祿高全部ニ付テ換算シタル額ヨリ既ニ給與シタル額ヲ控除ス

第五條 祿高整理ノ爲發行スル公債證書ハ一十萬圓以内トシ其ノ利率ハ一箇年百分ノ五トス

前項ノ公債ハ發行ノ年ヨリ五年据置キ其ノ翌年ヨリ五十年内ニ之ヲ償還ス(一)

第六條 前條ノ公債證書ハ隨時之ヲ發行シ券面金額ノ計算ヲ以テ交付ス

第七條 公債證書券面金額ニ滿タサル端數ハ現金ヲ以テ之ヲ給與ス

○大正九年法律第四十一號附則

本法施行前祿高整理ノ爲發行シタル公債ノ元金ノ消滅時効ニ付テハ仍從前ノ例ニ依ル

●家祿賞典祿處分ニ關スル件

明治四十二年四月一日
法律第二十一號

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル家祿賞典祿處分ニ關スル法律ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

第一條 明治三十年法律第五十號家祿賞典祿處分法ニ據リ給與ノ願出ニ對シ處分ヲ受ケタル者其ノ處分ニ不服アルトキハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第二條 前條ノ規定ニ依リ出訴セムトスル者ハ本法施行ノ日ヨリ六箇月以内ニ之ヲ爲スコトヲ要ス

附則

本法ハ明治四十二年七月一日ヨリ之ヲ施行ス

第二類 內國債

家祿賞典祿處分法施行法 家祿賞典祿處分ニ關スル件

●沖繩縣諸祿處分法

明治四十三年四月二十九日
法律第五十九號

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル沖繩縣諸祿處分法ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム
沖繩縣諸祿處分法

第一條 沖繩縣金祿、社祿、寺祿及僧侶飯米ハ本法ニ依リ國債證券ヲ以テ一時ニ之ヲ給與ス

前項ノ國債證券ハ明治四十三年一月一日現在ノ金祿若ハ僧侶飯米ノ受祿者又ハ社寺ニ之ヲ給與ス

第二條 前條ニ依リ給與スヘキ國債證券ノ金額ハ第三條乃至第六條ニ依リ算出シタル各標準額ニ付現代祿高千圓以上ハ千分

ノ七十五、千圓未滿百圓以上ハ千分ノ八十五、百圓未滿千圓以上ハ千分ノ九十五ノ割合ニ相當スル額ノ二十倍トス

前項ノ規定ニ依リ算出シタル給與額中左ニ掲タル金額アルトキハ之ヲ削減ス

一 現代祿高ノ二十倍ヲ超過スル金額

二 第三條第一項、第四條第一項、第五條又ハ第六條ノ場合ニ於テ同一條項ヲ適用スヘキ上級ノ最小給與額ヲ超過スル金額

三 第三條第二項第三項又ハ第四條第二項ノ場合ニ於テ同一條項ヲ適用スヘキ上級ノ最小給與額ヲ超過スル金額中前項ノ定率又ハ第三條第一項ノ年數異ル爲生シタル金額

第三條 永世金祿ヲ有スル者ニ對スル給與ノ標準額ハ現代ノ祿高ニ左ノ年數ヲ乘シ之ヲ算出ス

祿高千圓以上	九年
同 千圓未滿	九年二分五厘
同 九百圓以上	九年五分
同 八百圓以上	九年七分五厘
同 七百圓以上	

同 七百圓未滿	十年
同 六百圓以上	十年二分五厘
同 五百圓以上	十年五分
同 四百五十圓以上	十年七分五厘
同 四百圓以上	十一年
同 三百五十圓以上	十一年二分五厘
同 三百圓以上	十一年五分
同 二百五十圓以上	十一年七分五厘
同 二百圓以上	十二年
同 百五十圓以上	十二年五分
同 百圓未滿	十三年
同 七十五圓以上	十三年五分
同 五十圓以上	十四年
同 四十圓以上	十四年五分
同 三十圓以上	十五年
同 二十五圓未滿	十五年五分
同 二十五圓未滿	

第二類 內國債

沖繩縣諸祿處分法

前項永世金祿ニシテ遞減セラルヘキモノニ付テハ前項ニ依リ算出シタル標準額ヨリ現代祿高ト遞減終了ノ代ノ祿高トノ差額ニ其ノ標準額ノ算出ニ用キタル年數ヲ乘シテ算出シタル額ノ二分ノ一ヲ減ス

前項ニ該當スル金祿ニシテ三代以後ニ於テ遞減セラルヘキ祿高ヲ包含スルモノアルトキハ二代以後一代毎ニ其ノ代ノ祿高トノ差額ノ四分ノ一ヲ前項ノ額ニ加フ

第四條 非永世金祿ヲ有スル者ニ對スル給與ノ標準額ハ前條第一項ノ例ニ依リ算出シタル額ノ二分ノ一トス
前項非永世金祿ニシテ二代以上ニ互ルモノアルトキハ二代以後一代毎ニ其ノ代ノ祿高ノ四分ノ一ヲ前項ノ額ニ加フ

第五條 社祿又ハ寺祿ヲ受クル社寺ニ對スル給與ノ標準額ハ第三條第一項ノ例ニ依リ之ヲ算出ス

第六條 僧侶飯米ヲ受クル者ニ對スル給與ノ標準額ハ第四條第一項ノ例ニ依リ之ヲ算出ス

第七條 本法ニ依リ給與スヘキ國債證券ハ五分利付トシ額面金額ニ依ル但シ國債證券ノ最小額面金額ニ滿タサル端數ニ付テハ現金ヲ給與ス

第八條 政府ハ本法ニ依ル給與ニ必要ナル國債證券ヲ發行スルコトヲ得

第九條 本法ニ依ル給與ハ明治四十三年一月一日ニ於テ之ヲ爲シタルモノト看做ス

附則

沖繩縣諸祿ニ關スル從來ノ法令及舊慣ハ其ノ效力ヲ失フ

● 沖繩縣諸祿公債規程

明治四十三年五月四日
大藏省令第二十一號

沖繩縣諸祿公債規程左ノ通之ヲ定ム

沖繩縣諸祿公債規程

第一條 政府ハ沖繩縣諸祿處分法第八條ニ依リ公債ヲ發行ス

第二條 本公債ノ證券ハ大日本帝國政府五分利公債證書トス

第三條 本公債ノ元金ハ發行ノ年ヨリ五箇年据置キ其ノ翌年ヨリ向五十箇年以内ニ之ヲ償還ス

第四條 本公債ノ利子ハ明治四十三年一月一日ヨリ之ヲ附シ元金償還ノトキハ其ノ償還ノ月迄之ヲ附ス

第五條 本公債ノ利子ハ毎年三月及九月ニ於テ其ノ月以前六箇月間ニ屬スルモノヲ仕拂フ但シ明治四十三年三月以前ニ屬スル利子ノ仕拂期ニ限り同年六月トス

● 沖繩縣諸祿處分法施行規則

明治四十三年五月四日
大藏省令第二十二號

沖繩縣諸祿處分法施行規則左ノ通之ヲ定ム

沖繩縣諸祿處分法施行規則

第一條 沖繩縣諸祿處分法ニ規定スル受給者、祿ノ種類、代數及各代ノ祿高ハ沖繩縣廳ニ備フル諸祿臺帳ニ於ケル明治四十三年一月一日ノ現在ニ依ル但シ明治四十三年一月一日以前ニ生シタル登錄事項ノ變更ニ付テハ同日後ニ至リ臺帳ニ登錄シタルモノト雖仍同日ニ於ケル現在ト看做ス

第二條 沖繩縣諸祿處分法第二條第二項第二號及第三號ノ削減金額ヲ算定スルニハ第二號ニ在リテハ第三條第一項ニ掲クル祿高ノ區分ニ從ヒ直接上級ノ最少祿高ニ依リ、第三號ニ在リテハ當該受祿者ノ祿高遞減ノ比例ヲ以テ第三條第一項ニ掲クル直接上級ノ最少祿高ニ對スル二代以後ノ祿高ヲ算出シタルモノニ依ル

第三條 大藏大臣ハ沖繩縣諸祿處分法ニ依リ各受給者ニ對スル給與額ヲ定メ之ヲ沖繩縣知事ニ令達ス

沖繩縣知事ハ前項ノ令達ニ基キ其ノ給與額ヲ各受給者ニ告知ス

第四條 受給者前條第二項ノ告知ヲ受ケタルトキハ第一號書式ノ書面ニ區町村長ノ證明ヲ經タル印鑑ヲ添ヘ沖繩縣知事ヲ經テ其給付ヲ大藏大臣ニ請求スヘシ但シ國債規則第二十五條ニ依リ登錄ノ請求ヲ爲サムトスル者ハ公債證書ノ請求書ニ代フ

第二類 內國債

沖繩縣諸祿公債規程 沖繩縣諸祿處分法施行規則

ルニ登録請求書ヲ以テシ沖繩縣知事ヲ經テ之ヲ國債事務取扱店ニ提出スヘシ

第五條 第三條第二項ノ告知ニ依リ指名セラレタル受給者ノ承繼人カ前條ノ請求ヲ爲サムトスルトキハ其ノ承繼ヲ證スル戸籍吏ノ書面ヲ請求書ニ添附スヘシ

社寺ノ代表者カ社祿又ハ寺祿ニ付テ前條ノ請求ヲ爲サムトスルトキハ其ノ代表者タルノ證憑書ヲ請求書ニ添附スヘシ
受給者ノ代理人カ前條ノ請求ヲ爲サムトスルトキハ其ノ權限ヲ證スルニ足ルヘキ書面ヲ提出スルコトヲ要ス請求者ノ代理人カ公債證書又ハ現金ヲ受領セムトスルトキ亦同シ

第六條 公債證書ヲ給付スルトキハ第二號書式ノ給付通知書ヲ發シ沖繩縣知事ヲ經テ之ヲ各受取人ニ交付ス

受取人ハ前項ノ通知書領收欄内ニ式ノ如ク署名捺印シ指定ノ取扱店ニ差出シ之ト引換ニ公債證書ヲ受取ルヘシ

第七條 現金ノ支給ニ付テハ會計法規ノ定ムル所ニ從ヒ仕拂通知書ヲ發シ沖繩縣知事ヲ經テ之ヲ各受取人ニ交付シ指定ノ金庫ヨリ之ヲ受領セシム

第八條 公債證書ノ給付ハ日本銀行那覇代理店ヲシテ之ヲ取扱ハシメ現金ハ那覇本金庫ニ於テ振替拂ヲ爲サシム但シ受取人ハ該代理店所屬ノ派出所又ハ該本金庫所屬ノ支金庫ニ於テ受領スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ其ノ旨ヲ請求書ニ附記スヘシ

第九條 第四條但書ノ場合ニ於テ登録濟證書又ハ記名公債證書ハ沖繩縣知事ヲ經テ之ヲ請求者ニ交付ス

第十條 公債證書給付通知書、現金仕拂通知書、登録濟證書及記名公債證書ヲ請求者ニ交付スルニ付テ必要ナル手續ハ沖繩縣知事之ヲ定ム

第十一條 沖繩縣諸祿處分法ニ依リ發行スル公債ニ付テ國債規則第二十五條ニ依ル登録又ハ其ノ除却ヲ請求スル場合ニ於テハ手數料ヲ納ムルコトヲ要セス

附則

本令ハ沖繩縣諸祿處分法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第一號書式

請求書

一 公債證書何圓(又ハ金何圓)

右沖繩縣諸祿處分法ニ依リ給付可相成分御渡有之度別紙印鑑相添此段請求候也

年月日

住所

氏

名印

又ハ何々社寺代表者

氏

名印

大藏大臣宛

追テ公債證書(又ハ現金)ハ那覇代理店何地派出所(又ハ何地支金庫)ニ於テ御渡有之度候

第二號書式

原

第

「何」

號

取扱店

日本銀行那覇代理店

(又ハ何派出所)

受取人

「氏」

名

一大日本帝國政府五分利公債證書額面「何」圓也

但シ明治四十三年九月渡以降利札附屬及月割利札添付

第二類 內國債

沖繩縣諸祿處分法施行規則

(明治)〔何〕年〔何〕月〔何〕日

割印

第 〔何〕 號

取扱店 日本銀行那覇代理店(又ハ何派出所)

受取人

〔氏〕

名

一大日本帝國政府五分利公債證書額面〔何〕圓也

但シ明治四十三年九月渡以降利札附屬及月割利札添付

右沖繩縣諸祿處分ノ爲メ發行ス前記指定ノ取扱店ニ於テ之ヲ受取ルヘシ

〔明治〕〔何〕年〔何〕月〔何〕日

大藏大臣〔爵〕氏

名

前記ノ公債證書正ニ領收候也

受取人〔住所〕

氏

名

〔明治〕〔何〕年〔何〕月〔何〕日

割印

第 〔何〕 號

受

取

人

〔氏〕

名

一大日本帝國政府五分利公債證書額面〔何〕圓也

但シ明治四十三年九月渡以降利札附屬及月割利札添付

右前記ノ者へ給付可有之候也

〔明治〕〔何〕年〔何〕月〔何〕日

日本銀行那覇代理店(又ハ何派出所)宛

大藏大臣〔爵〕氏

名

● 行政裁判所ノ判決ノ結果發行スル祿高整理公債給付

規程

明治四十五年六月二十二日
大藏省令第十六號

行政裁判所ノ判決ノ結果發行スル祿高整理公債及端數現金ノ給付ニ關スル規程左ノ通之ヲ定ム

第一條 行政裁判所ノ判決ノ結果家祿賞典祿處分法施行法ニ依リ祿高整理ノ爲發行スル公債證書ハ大日本帝國政府五分利公債證書トス

前項公債ノ利子ハ給與額告知ノ日付カ月ノ十五日以前ニ在ルモノハ下半年分ヨリ月ノ十六日以後ニ在ルモノハ翌月分ヨリ之ヲ附ス

第二條 公債證書及端數現金ノ給付ヲ受ケムトスル者ハ第一號書式ノ請求書ニ市町村長ノ證明ヲ經タル受取人ノ印鑑ヲ添ヘ之ヲ大藏省ニ差出スヘシ

第三條 國債規則第二十五條ニ依リ國債登錄ノ請求ヲ爲サムトスル者ハ公債證書給付請求書ニ代フルニ取扱店宛ノ登錄請求書ヲ以テシ之ヲ大藏省ニ提出スヘシ

第四條 給與額告知書ニ於テ指名セラレタル受給者ノ承繼人カ前二條ノ請求ヲ爲サムトスルトキハ戶籍又ハ身分登記簿ノ謄本若ハ抄本ヲ請求書ニ添付スヘシ

受給者ノ代理人カ前二條ノ請求ヲ爲サムトスルトキハ其ノ權限ヲ證スルニ足ルヘキ書面ヲ提出スルコトヲ要ス

第二類 内國債

行政裁判所ノ判決ノ結果發行スル祿高整理公債給付規程

第五條 公債證書ヲ給付スルトキハ第二號書式ノ給付通知書ヲ發シ之ヲ受取人ニ交付ス

受取人ハ前項ノ通知書領收證欄内ニ式ノ如ク署名捺印シ指定ノ取扱店ニ差出シ之ト引換ニ公債證書ヲ受取ルヘシ

第六條 現金ノ支給ニ付テハ會計法規ノ定ムル所ニ從ヒ仕拂命令又ハ仕拂通知書ヲ受取人ニ交付シ指定ノ金庫ヨリ之ヲ受領セシム

第七條 請求者ハ公債證書ノ給付ヲ受クヘキ取扱店又ハ現金ノ仕拂ヲ受クヘキ金庫ヲ選擇スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ其ノ旨ヲ請求書ニ附記スヘシ

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

(書式略)

●家祿賞典祿處分ニ關スル件

大正八年四月五日
法律第三十四號

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル家祿賞典祿處分ニ關スル法律ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

第一條 明治三十年法律第五十號家祿賞典祿處分法第四條ノ期限内ニ願出テサルモノニシテ同法第一條及第二條ノ給與ヲ受ケムトスル者ハ其ノ理由及證據ヲ具シ地方廳ヲ經由シテ大藏大臣ニ願出ツヘシ但シ大正八年十二月三十一日迄ニ願出テサルトキハ本法ノ給與ヲ受クルコトヲ得ス

第二條 前條ノ願出ニ對シ處分ヲ受ケタル者其ノ處分ニ不服アルトキハ其ノ指令ヲ受取りタル日ヨリ六箇月以内ニ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第三條 明治三十年法律第五十號家祿賞典祿處分法ニ依リ願出ヲ爲シタル者ニシテ明治四十二年法律第二十一號第二條ノ期限内ニ出訴セサル者ハ本法施行ノ日ヨリ六箇月以内ニ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

附則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●沒祿處分ヲ受ケタル者ニ對スル給與處分ニ關スル件

大正八年四月五日
法律第三十五號

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル沒祿處分ヲ受ケタル者ニ對スル給與處分ニ關スル法律ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

第一條 明治三年九月十日太政官布告藩制施行ヨリ同九年八月太政官第百八號布告實施迄ノ間ニ於テ國事ニ關スル犯罪ノ爲メ家祿賞典祿ヲ沒收セラレタル者及其ノ家名承繼人ニシテ明治二十七年法律第二十號施行ノ際其ノ沒收セラレタル當時ノ祿高ニ對スル全部ノ給與ヲ受ケサル者若ハ相當額ノ給與ニ不足アル者ハ明治三十年法律第五十號家祿賞典祿處分法並明治三十二年法律第八十四號家祿賞典祿處分法施行法ヲ準用シ祿高整理ノ爲發行スル公債證書ヲ以テ之ヲ給與ス

第二條 前條ノ給與ヲ受ケムトスル者ハ本法施行ノ日ヨリ六箇月以内ニ其ノ理由及證據ヲ具シ地方廳ヲ經由シテ大藏大臣ニ願出ツヘシ

第三條 前條ノ願出ニ對シ處分ヲ受ケタル者其ノ處分ニ不服アルトキハ其ノ指令ヲ受取りタル日ヨリ六箇月以内ニ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

附則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●大正八年法律第三十四號及同年法律第三十五號ニ依ル

出願手續

大正八年四月十日
大藏省令第十號

大正八年法律第三十四號及同年法律第三十五號ニ依リ出願手續左ノ通定メ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第二類 内國債

家祿賞典祿處分ニ關スル件 沒祿處分ヲ受ケタル者ニ對スル給與處分ニ關スル件
大正八年法律第三十四號及法律第三十五號ニ依リ出願手續

大正八年法律第三十四號第一條又ハ同年法律第三十五號第二條ニ依リ願出ヲ爲サムトスル者ハ左記様式ニ依リ願書ニ願出ノ事實及理由ヲ詳記シ證據書類竝戸籍謄本ヲ添へ本籍地地方廳ヲ經由シ之ヲ大藏大臣ニ差出スヘシ
(様式略)

● 祿高整理ノ爲發行スル公債及其ノ端數現金給付

規則 大正九年八月二十五日
大藏省令第三十一號

家祿賞典祿處分法施行法及大正八年法律第三十五號ニ依リ祿高整理ノ爲發行スル公債及其ノ端數現金給付規則左ノ通定ム

第一條 祿高整理公債ノ額面金額ノ種類ハ二十五圓、五十圓、百圓、五百圓、千圓、五千圓及一萬圓ノ七種トス

第二條 祿高整理公債ノ利子ハ給與出願ニ依ルモノニ在リテハ之ニ對スル指令ノ日ヨリ行政裁判所ノ判決ニ依ルモノニ在リテハ大藏省ニ於テ行政裁判宣告書ノ謄本ノ送達ヲ受ケタル日ヨリ之ヲ附ス

前項ノ初期利子ニシテ一期ニ滿タサルモノハ日割ヲ以テ之ヲ計算ス

第三條 祿高整理公債ノ利子仕拂期ハ毎年三月一日、六月一日、九月一日及十二月一日トシ各其ノ日以前三箇月間ニ屬スルモノヲ仕拂フ

第四條 公債證書又ハ端數現金ノ給付ヲ受ケムトスル者ハ第一號書式ノ請求書ニ市町村長ノ證明ヲ經タル受取人ノ印鑑ヲ添ヘ之ヲ大藏省ニ差出スヘシ

第五條 國債規則第二十五條ニ依リ國債登錄ノ請求ヲ爲サムトスル者ハ公債證書給付請求書ニ代フルニ日本銀行宛ノ登錄請求書ヲ以テシ之ヲ大藏省ニ提出スヘシ

第六條 受給者ノ承繼人カ前二條ノ請求ヲ爲サムトスルトキハ戶籍ノ謄本又ハ抄本ヲ請求書ニ添附スヘシ

受給者ノ代理人カ前二條ノ請求ヲ爲サムトスルトキハ其ノ權限ヲ證スルニ足ルヘキ書面ヲ提出スルコトヲ要ス

第七條 公債證書ヲ給付スルトキハ第二號書式ノ給付通知書ヲ發シ之ヲ受取人ニ交付ス

受取人ハ前項ノ通知書領收證欄内ニ式ノ如ク署名捺印シ指定ノ取扱店ニ差出シ之ト引換ニ公債證書ヲ受取ルヘシ

第八條 現金ノ支給ニ付テハ會計法規ノ定ムル所ニ從ヒ仕拂命令又ハ仕拂通知書ヲ受取人ニ交付シ指定ノ金庫ヨリ之ヲ受領セシム

第九條 請求者ハ公債證書ノ給付ヲ受クヘキ取扱店又ハ現金ノ仕拂ヲ受クヘキ金庫ヲ選擇スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ其ノ旨ヲ請求書ニ附記スヘシ

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス但シ證券ノ額面金額種類及利子仕拂期ニ關スル規定ハ大正十年一月一日以後發行スル祿高整理公債ニ付キ之ヲ適用シ本令施行後大正九年中ニ發行スルモノノ利子仕拂期ハ毎年三月一日及九月一日トス

明治三十八年大藏省令第五十二號及明治四十五年大藏省令第十六號ハ之ヲ廢止ス但シ本令施行前ニ給與出願ニ對シ給與ノ指令ヲ爲シタルモノ又ハ大藏省カ行政裁判宣告書ノ謄本ノ送達ヲ受ケタルモノニ付テハ仍從前ノ例ニ依ル

前項但書ノ規定ニ依ル公債ノ利子仕拂期ハ毎年三月及九月トス

第一號書式 公債證書ト現金トハ各々別紙ニ調製スヘシ

請求書

一 公債證書何圓(又ハ金何圓)

右家祿賞典祿處分法(又ハ大正八年法律第三十五號)ニ依リ御給與可相成分御渡有之度別紙印鑑相添へ此段請求候也

年 月 日

住 所

第二類 內國債 祿高整理ノ爲發行スル公債及其ノ端數現金給付規則

一五三

第二號書式

大藏大臣宛

氏

名

原

符

給付通知書

第 「何」 號	取扱店 日本銀行本店(又ハ「何地」支店) 「何地」代理店	請求者 「氏」
一大日本帝國政府五分利公債證書額面「何」圓也 但シ大正何年何月何日渡以降利札附屬 <small>日割利札アルトキハ 及日割利札添附ノ 七字ヲ加フ以下同ジ</small> 大正「何」年「何」月「何」日		
割印		
第 「何」 號	取扱店 日本銀行本店(又ハ「何地」支店) 「何地」代理店	請求者 「氏」
一大日本帝國政府五分利公債證書額面「何」圓也 但シ大正何年何月何日渡以降利札附屬 右祿高整理ノ爲發行ス依テ前記指定ノ取扱店ニテ之ヲ受取ルヘシ 大正「何」年「何」月「何」日 前記ノ公債證書正ニ領收候也		
割印		
大藏大臣 氏 名		

領收證書記入式

給付案內書

第 「何」 號	請求者 「氏」	名
一大日本帝國政府五分利公債證書額面「何」圓也 但シ大正何年何月何日渡以降利札附屬 右前記ノ者へ給付可有之候也 大正「何」年「何」月「何」日 日本銀行(何地支店)(何地代理店)宛		
割印		
受取人「住所」 「氏」 名		
大藏大臣 氏 名		

●明治三十七八年戰役ノ爲損害ヲ被リタル者ノ救恤ニ
關スル件

明治四十二年四月二十三日
法律第三十八號

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル明治三十七八年戰役ノ爲損害ヲ被リタル者ノ救恤ニ關スル法律ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

第一條 露西亞領亞細亞、清國滿洲及韓國義州方面ニ在留シタル帝國國民ニシテ明治三十七八年戰役開始ノ際引揚ケタル爲
損害ヲ被リタル者ニ對シテハ本法ニ依リ救恤金ヲ下付ス

第二條 前條救恤金ノ總額ハ百萬圓以內トス

第二類 內國債 明治三十七八年戰役ノ爲損害ヲ被リタル者ノ救恤ニ關スル件

第三條 救恤金ハ額面金額ニ依リ五分利付國債證券ヲ以テ之ヲ給付ス但シ五十圓未滿ノ金額ハ現金ヲ以テ之ヲ給付ス
 第四條 政府ハ前條ノ規定ニ依ル給付ニ必要ナル國債證券ヲ發行スルコトヲ得
 第五條 本法ニ依リ救恤金ヲ受ケムトスル者ハ明治四十二年七月三十一日迄ニ申請スヘシ

附則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●明治四十二年法律第三十八號ニ依ル救恤金ノ下付ニ
 關スル件

明治四十二年四月二十三日
 勅令第七號

朕明治四十二年法律第三十八號ニ依ル救恤金ノ下付ニ關スル件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

第一條 明治四十二年法律第三十八號ニ依リ救恤金ヲ受ケムトスル者ハ其ノ現住地ヲ管轄スル地方廳、統監府、臺灣總督府、關東都督府又ハ在外公館ヲ經由シ申請書ヲ外務大臣ニ提出スヘシ

第二條 申請書ニハ左ニ掲クル事項ヲ明細ニ記載スヘシ

一 申請者ノ氏名、年齢、族籍、職業及現住地

二 引揚當時ニ於ケル申請者ノ在留地

三 引揚ノ年月日

四 引揚前後ノ事情

五 損害ノ種類、程度、價額及事由

六 引揚當時ニ至ル迄申請者カ其ノ地方ニ在留シタル期間

第三條 申請書ニハ成ルヘク前條ノ事項ヲ證明スルニ足ルヘキ書類其ノ他必要ナル證據書類及證據物件ヲ添附スヘシ

第四條 申請書ノ提出アリタルトキハ外務大臣ハ救恤金査定委員會ヲシテ之ヲ査定セシム

第五條 救恤金査定委員會ハ委員長一人及委員八人ヲ以テ之ヲ組織ス

委員長ハ外務次官ヲ以テ之ニ充ツ委員ハ外務大臣ノ奏請ニ依リ外務省及大藏省高等官ノ中ヨリ内閣ニ於テ之ヲ命ス

第六條 委員長ハ會務ヲ總理シ査定ノ結果ヲ外務大臣ニ具申ス

第七條 救恤金査定委員會ニ書記若干名ヲ置キ外務省及大藏省判任官ノ中ヨリ委員長之ヲ命ス

書記ハ上司ノ指揮ヲ受ケ庶務ニ従事ス

第八條 救恤金ハ大藏大臣之ヲ下付ス

救恤金下付ニ關スル手續ハ大藏大臣之ヲ定ム

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●救恤公債規程

明治四十三年十月八日
 大藏省令第四十八號

救恤公債規程左ノ通之ヲ定ム

救恤公債規程

第一條 政府ハ明治四十二年法律第三十八號第四條ニ依リ公債ヲ發行ス

第二條 本公債ノ證券ハ大日本帝國政府五分利公債證書トス

第三條 本公債ノ元金ハ發行ノ年ヨリ五箇年据置キ其ノ翌年ヨリ向五十箇年以内ニ之ヲ償還ス

第四條 本公債初期ノ利子ハ救恤金下付告知ノ日付ノ屬スル月ヨリ之ヲ附シ元金償還ノトキハ其ノ償還ノ月迄之ヲ附ス

第五條 本公債ノ利子ハ毎年三月及九月ニ於テ其ノ月以前六箇月間ニ屬スルモノヲ仕拂フ

第二類 內國債

明治四十二年法律第三十八號ニ依ル救恤金ノ下付ニ關スル件 救恤公債規程

●明治四十二年勅令第七號第八條第二項ニ依ル救恤金下付ニ
關スル手續 明治四十三年十月八日
大藏省令第四十九號

明治四十二年勅令第七號第八條第二項ニ依リ救恤金下付ニ關スル手續左ノ通之ヲ定ム

第一條 救恤金下付申請ニ對スル給與額ハ申請書經由官廳ヲ經テ之ヲ各申請者ニ告知ス

第二條 前條下付ノ告知ニ基キ公債證書又ハ現金ヲ受領セムトスル者ハ第一號書式ノ請求書ニ受取人ノ印鑑ヲ添ヘ之ヲ大藏省ニ提出スヘシ但シ外國又ハ朝鮮ニシテ國債事務取扱店ノ設置ナキ地ニ在ル受給者又ハ其ノ代理人ハ其ノ在留地ニ公債證書ノ郵送ヲ、外國ニシテ金庫ノ設置ナキ地ニ在ル受給者又ハ其ノ代理人ハ其ノ在留地ニ現金ノ郵送ヲ受クルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ第二號書式ノ請求書ヲ提出スヘシ

前項但書ノ場合ニ於ケル郵送途中ノ危險ハ請求者ノ負擔トス

第三條 國債規則第二十五條ニ依リ國債登錄ノ請求ヲ爲サムトスル者ハ公債證書給付又ハ郵送ノ請求書ニ代フルニ取扱店宛ノ登錄請求書ヲ以テシ之ヲ大藏省ニ提出スヘシ

第四條 救恤金下付ノ告知ニ於テ指名セラレタル受給者ノ承繼人カ前二條ノ請求ヲ爲サムトスルトキハ其ノ承繼ヲ證スル戶籍吏、公使又ハ領事ノ書面其ノ他ノ證據書類ヲ請求書ニ添附スヘシ

二人以上ノ連名ヲ以テ救恤金ノ下付ヲ告知セラレタル者カ公債證書又ハ現金ヲ受領セムトスルトキハ其ノ一人ヲ以テ受領總代人トシ其ノ旨ヲ請求書ニ附記スヘシ

請求者カ豫メ公債證書又ハ現金ヲ受領スヘキ代理人ヲ定メタルトキハ其ノ旨及代理人ノ住所氏名ヲ請求書ニ附記スヘシ
受給者ノ代理人カ前二條ノ請求ヲ爲サムトスルトキハ其ノ權限ヲ證スルニ足ルヘキ書面ヲ提出スルコトヲ要ス前項ノ規定ニ依ラサル請求者ノ代理人カ公債證書又ハ現金ヲ受領セムトスルトキ亦同シ

第五條 公債證書ヲ給付スルトキハ第三號書式ノ給付通知書ヲ發シ之ヲ受取人ニ交付ス

受取人ハ前項ノ通知書領收欄内ニ式ノ如ク署名捺印シ指定ノ取扱店ニ差出シ之ト引換ニ公債證書ヲ受取ルヘシ但シ第二條第一項但書ノ場合ニ於テハ公債證書ヲ受取りタルトキ直ニ通知書領收欄内ニ式ノ如ク署名捺印シ之ヲ日本銀行ニ提出スヘシ

第六條 現金ノ支給ニ付テハ會計法規ノ定ムル所ニ從ヒ仕拂命令又ハ仕拂通知書ヲ受取人ニ交付シ指定ノ金庫ヨリ之ヲ受領セシム但シ第二條第一項但書ノ場合ニ於テハ仕拂命令ヲ中央金庫ニ交付シ其ノ旨ヲ受取人ニ通知ス

第七條 請求者ハ公債證書ノ給付ヲ受クヘキ取扱店又ハ現金ノ仕拂ヲ受クヘキ金庫ヲ選擇スルコトヲ得但シ第二條第一項但書ノ場合ハ此ノ限ニ在ラス

前項ノ場合ニ於テハ其ノ旨ヲ請求書ニ附記スヘシ

第一號書式
一 公債證書ト現金トハ各々別紙ニ調製スヘシ第二號書式亦同シ
二 公債證書給付額ノ一部ニ付テ國債登錄ノ請求ヲ爲シタルトキハ公債證書額面高ノ傍ニ「外ニ登錄請求額何圓」ト記載スヘシ第二號書式亦同シ

請求書

申請書經由官廳 何 廳

一公債證書額面何圓(又ハ金何圓)

右明治四十二年法律第三十八號ニ依リ下付可相成分御渡有之度別紙印鑑相添此段請求候也

住所(申請書提出當時ノ住所ト異ルモノハ其ノ住所トモ)

第二類 內國債 明治四十二年勅令第七號第八條第二項ニ依ル救恤金下付ニ關スル手續 一五九

年 月 日

大藏大臣爵氏名宛

又ハ住所(上)氏名代人
住所 氏 名印

第二號書式

請求書

申請書經由官廳 何 處

送付先 何 國 何 地

一公債證書額面何圓(又ハ金何圓)

右明治四十二年法律第三十八號ニ依リ下付可相成分前記ノ箇所へ御郵送有之度此段請求候也

年 月 日

住所(申請書提出當時ノ住所トモ) 氏 名印

又ハ住所(上)氏名代人 住所 氏 名印

大藏大臣爵氏名宛

第三號書式 甲

第 何 號

取扱店 日本銀行本店(又ハ何地支店)
受取人 氏 名(又ハ氏名代人)

一 大日本帝國政府五分利公債證書額面何圓也

但シ明治何年何月渡以降利札附屬(月割利札アルトキハ)及月割利
札添附ノ七字ヲ加フ以下同シ

年 月 日

割印

第 何 號

取扱店 日本銀行本店(又ハ何地支店)
受取人 氏 名(又ハ氏名代人)

一 大日本帝國政府五分利公債證書額面何圓也

但シ明治何年何月渡以降利札附屬
右救恤金下付ノ爲メ發行ス前記指定ノ取扱店ヨリ之ヲ受取ルヘシ

年 月 日

大藏大臣 爵 氏 名印

前記ノ公債證書正ニ領收候也

住所 受取人 氏 名印

又ハ住所氏名代人 住所 氏 名印

式入記證收領 書 知 通 付 給 符 原

第二類 内國債 明治四十二年勅令第七號第八條第二項ニ依ル救恤金下付ニ關スル手續 一六一

給付命令書

第 何 號 受 取 人 氏 名 (又ハ氏名代人)

一大日本帝國政府五分利公債證書額面何圓也

但シ明治何年何月渡以降利札附屬

右前記ノ者へ給付通知書ト引換ニ給付可有之候也

年 月 日

日本銀行(又ハ何地支店)
何何地代理店)

大藏大臣 爵 氏

名印

割印

第三號書式 乙

第 何 號 先送付 何 國 何 地 受取人 氏 名 (又ハ氏名代人)

一大日本帝國政府五分利公債證書額面何圓也

但シ明治何年何月渡以降利札附屬

年 月 日

割印

符 原

給付通知書

第 何 號 先送付 何 國 何 地 受取人 氏 名 (又ハ氏名代人)

一大日本帝國政府五分利公債證書額面何圓也

但シ明治何年何月渡以降利札附屬

右救恤金下付ノ爲メ發行ス

年 月 日

大藏大臣 爵 氏

名印

前記ノ公債證書正ニ領收候也

年 月 日

住所

受取人 氏

名印

又ハ住所氏名代人

住所

氏

名印

割印

第 何 號 先送付 何 國 何 地 受取人 氏 名 (又ハ氏名代人)

一大日本帝國政府五分利公債證書額面何圓也

但シ明治何年何月渡以降利札附屬

給付命令

第二類 内國債 明治四十二年勅令第七號第八條第二項ニ依ル救恤金下付ニ關スル手續

令 右前記ノ者へ給付可有之候也
書 年 月 日
日本銀行

大藏大臣 爵 氏

名印

●露國政變及西比利亞事變ノ爲損害ヲ被リタル者ノ救恤ニ
關スル件 大正十一年四月十二日
法律第三十九號

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル露國政變及西比利亞事變ノ爲損害ヲ被リタル者ノ救恤ニ關スル法律ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム
第一條 露西亞内又ハ露支國境地方ニ在リタル帝國臣民ニシテ露國政變及西比利亞事變ノ際引揚又ハ遭難ノ爲損害ヲ被リタルモノニ對シテハ本法ニ依リ救恤金ヲ交付ス
第二條 前條救恤金ノ總額ハ百五十萬圓以内トス
第三條 救恤金ハ額面金額ニ依リ五分利付國債證券ヲ以テ之ヲ交付ス但シ二十五圓未滿ノ金額ハ現金ヲ以テ之ヲ交付ス
第四條 政府ハ前條ノ規定ニ依ル交付ニ必要ナル額ヲ限度トシ國債證券ヲ發行スルコトヲ得
第五條 救恤金ノ交付ハ之ヲ受ケムトスル者ノ申請ニ因リ救恤審査會ノ審査ヲ經テ主務大臣之ヲ決定ス
救恤審査會ニ關スル規程ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム
第六條 前條第一項ノ申請ハ大正十一年七月三十一日迄ニ之ヲ爲スヘシ

附則
本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●大正十一年法律第三十九號ニ依ル救恤金ノ交付ニ
關スル件 大正十一年五月一日
勅令第二百四十七號

朕大正十一年法律第三十九號ニ依ル救恤金ノ交付ニ關スル件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム
第一條 大正十一年法律第三十九號第五條第一項ノ規定ニ依ル申請書ハ救恤金ヲ受ケムトスル者ノ現住地ヲ管轄スル北海道廳府縣、朝鮮總督府、臺灣總督府、樺太廳、關東廳、薩哈噠洲派遣軍司令部、青島守備軍司令部又ハ在外公館ヲ經由シ外務大臣ニ之ヲ提出スヘシ

第二條 申請書ニハ左ニ掲クル事項ヲ記載スヘシ

- 一 申請者ノ氏名、年齢、職業、本籍及現住地
- 二 申請者カ引揚又ハ遭難ノ爲損害ヲ被リタル者ニ非サルトキハ被害者ノ氏名、年齢、職業、本籍及現住地並申請者ト被害者トノ關係
- 三 引揚又ハ遭難ノ場所
- 四 引揚又ハ遭難ノ年月日
- 五 引揚又ハ遭難ノ前後ノ事情
- 六 損害ノ種類、程度、價額及事由
- 七 引揚又ハ遭難ノ前被害者カ其ノ地方ニ在リタル期間
- 八 其ノ他參考ト爲ルヘキ事項

第三條 申請書ニハ成ルヘク前條ニ掲クル事項ヲ證明スルニ足ルヘキ證據方法ヲ開示シ證據書類及證據物件ヲ添附スヘシ

第四條 救恤審査會ハ外務大臣ノ監督ニ屬シ會長一人審査員十人以内ヲ以テ之ヲ組織ス

第二類 内國債 露國政變及西比利亞事變ノ爲損害ヲ被リタル者ノ救恤ニ關スル件
大正十一年法律第三十九號ニ依ル救恤金ノ交付ニ關スル件

第五條 會長ハ外務次官ヲ以テ之ニ充ツ

審査員ハ外務大臣ノ奏請ニ依リ關係各廳高等官其ノ他審査ニ必要ナル智識經驗ヲ有スル者ノ中ヨリ内閣ニ於テ之ヲ命ス

第六條 會長ハ會務ヲ總理シ會議ノ議長ト爲ル

會長事故アルトキハ外務大臣ノ指定スル審査員其ノ職務ヲ代理ス

第七條 審査會ニ幹事若干人ヲ置ク外務大臣ノ奏請ニ依リ關係各廳高等官ノ中ヨリ内閣ニ於テ之ヲ命ス

幹事ハ會長ノ指揮ヲ承ケ庶務ヲ整理ス

第八條 審査會ニ書記若干人ヲ置ク外務大臣之ヲ命ス

書記ハ上司ノ指揮ヲ承ケ庶務ニ從事ス

第九條 救恤金ノ交付ハ外務大臣之ヲ決定ス

第十條 救恤金ハ大藏大臣之ヲ交付ス

附則 本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●西比利亞引揚ノ爲損害ヲ被リタル者等ノ救恤ニ

關スル件 大正十二年四月四日 法律第三十九號

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル西比利亞引揚ノ爲損害ヲ被リタル者等ノ救恤ニ關スル法律ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

第一條 西比利亞地方ニ在リタル帝國臣民ニシテ大正十一年日本軍撤退ノ際引揚ノ爲損害ヲ被リタル者及之ニ準スヘキ損害ヲ被リタル者ニ對シテハ本法ニ依リ救恤金ヲ交付ス

第二條 前條救恤金ノ總額ハ百五十萬圓以內トス

第三條 救恤金ハ額面金額ニ依リ五分利付國債證券ヲ以テ之ヲ交付ス但シ二十五圓未滿ノ金額ハ現金ヲ以テ之ヲ交付ス

第四條 政府ハ前條ノ規定ニ依ル交付ニ必要ナル額ヲ限度トシ國債證券ヲ發行スルコトヲ得

第五條 救恤金ノ交付ハ之ヲ受ケムトスル者ノ申請ニ依リ救恤審査會ノ審査ヲ經テ主務大臣之ヲ決定ス

救恤審査會ニ關スル規程ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第六條 前條第一項ノ申請ハ大正十二年七月三十一日迄ニ之ヲ爲スヘシ

附則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●大正十二年法律第三十九號ニ依ル救恤金ノ交付ニ

關スル件 大正十二年四月七日 勅令第六十號

朕大正十二年法律第三十九號ニ依ル救恤金ノ交付ニ關スル件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

第一條 大正十二年法律第三十九號第五條第一項ノ規定ニ依ル申請書ハ救恤金ヲ受ケムトスルモノ現住地ヲ管轄スル北海道廳府縣、朝鮮總督府、臺灣總督府、樺太廳、關東廳、南洋廳、薩哈噠洲派遣軍司令部又ハ在外公館ヲ經由シ外務大臣ニ之ヲ提出スヘシ

第二條 申請書ニハ左ニ掲クル事項ヲ記載スヘシ

- 一 申請者ノ氏名、年齢、職業、本籍及現住地
- 二 申請者カ引揚ノ爲損害ヲ被リタル者又ハ之ニ準スヘキ損害ヲ被リタル者ニ非サルトキハ被害者ノ氏名、年齢、職業、本籍及現住地並申請者ト被害者トノ關係
- 三 引揚又ハ之ニ準スヘキ損害發生ノ場所

第二類 内國債

西比利亞引揚ノ爲損害ヲ被リタル者等ノ救恤ニ關スル件 大正十二年法律第三十九號ニ依ル救恤金ノ交付ニ關スル件

- 四 引揚又ハ之ニ準スヘキ損害發生ノ年月日
- 五 引揚又ハ之ニ準スヘキ損害發生ノ前後ノ事情
- 六 損害ノ種類、程度、價格及事由
- 七 引揚又ハ之ニ準スヘキ損害發生前被害者カ其地方ニ在リタル期間
- 八 其ノ他參考ト爲ルヘキ事項
- 第三條 申請書ニハ成ルヘク前條ニ掲クル事項ヲ證明スルニ足ルヘキ證據方法ヲ開示シ證據書類及證據物件ヲ添付スヘシ
- 第四條 救恤審査會ハ外務大臣ノ監督ニ屬シ會長一人審査員十人以内ヲ以テ之ヲ組織ス
- 第五條 會長ハ外務次官ヲ以テ之ニ充ツ
- 第六條 審査員ハ外務大臣ノ奏請ニ依リ關係各廳高等官其ノ他審査ニ必要ナル智識經驗ヲ有スル者ノ中ヨリ内閣ニ於テ之ヲ命ス
- 第七條 會長ハ會務ヲ總理シ會議ノ議長ト爲ル
- 第八條 會長ハ外務大臣ノ指定スル審査員其ノ職務ヲ代理ス
- 第九條 會長ハ會務ヲ總理シ會議ノ議長ト爲ル
- 第十條 會長ハ會務ヲ總理シ會議ノ議長ト爲ル
- 第十一條 會長ハ會務ヲ總理シ會議ノ議長ト爲ル
- 第十二條 會長ハ會務ヲ總理シ會議ノ議長ト爲ル
- 第十三條 會長ハ會務ヲ總理シ會議ノ議長ト爲ル
- 第十四條 會長ハ會務ヲ總理シ會議ノ議長ト爲ル
- 第十五條 會長ハ會務ヲ總理シ會議ノ議長ト爲ル
- 第十六條 會長ハ會務ヲ總理シ會議ノ議長ト爲ル
- 第十七條 會長ハ會務ヲ總理シ會議ノ議長ト爲ル
- 第十八條 會長ハ會務ヲ總理シ會議ノ議長ト爲ル
- 第十九條 會長ハ會務ヲ總理シ會議ノ議長ト爲ル
- 第二十條 會長ハ會務ヲ總理シ會議ノ議長ト爲ル
- 第二十一條 會長ハ會務ヲ總理シ會議ノ議長ト爲ル
- 第二十二條 會長ハ會務ヲ總理シ會議ノ議長ト爲ル
- 第二十三條 會長ハ會務ヲ總理シ會議ノ議長ト爲ル
- 第二十四條 會長ハ會務ヲ總理シ會議ノ議長ト爲ル
- 第二十五條 會長ハ會務ヲ總理シ會議ノ議長ト爲ル
- 第二十六條 會長ハ會務ヲ總理シ會議ノ議長ト爲ル
- 第二十七條 會長ハ會務ヲ總理シ會議ノ議長ト爲ル
- 第二十八條 會長ハ會務ヲ總理シ會議ノ議長ト爲ル
- 第二十九條 會長ハ會務ヲ總理シ會議ノ議長ト爲ル
- 第三十條 會長ハ會務ヲ總理シ會議ノ議長ト爲ル
- 第三十一條 會長ハ會務ヲ總理シ會議ノ議長ト爲ル
- 第三十二條 會長ハ會務ヲ總理シ會議ノ議長ト爲ル
- 第三十三條 會長ハ會務ヲ總理シ會議ノ議長ト爲ル
- 第三十四條 會長ハ會務ヲ總理シ會議ノ議長ト爲ル
- 第三十五條 會長ハ會務ヲ總理シ會議ノ議長ト爲ル
- 第三十六條 會長ハ會務ヲ總理シ會議ノ議長ト爲ル
- 第三十七條 會長ハ會務ヲ總理シ會議ノ議長ト爲ル
- 第三十八條 會長ハ會務ヲ總理シ會議ノ議長ト爲ル
- 第三十九條 會長ハ會務ヲ總理シ會議ノ議長ト爲ル
- 第四十條 會長ハ會務ヲ總理シ會議ノ議長ト爲ル
- 第四十一條 會長ハ會務ヲ總理シ會議ノ議長ト爲ル
- 第四十二條 會長ハ會務ヲ總理シ會議ノ議長ト爲ル
- 第四十三條 會長ハ會務ヲ總理シ會議ノ議長ト爲ル
- 第四十四條 會長ハ會務ヲ總理シ會議ノ議長ト爲ル
- 第四十五條 會長ハ會務ヲ總理シ會議ノ議長ト爲ル
- 第四十六條 會長ハ會務ヲ總理シ會議ノ議長ト爲ル
- 第四十七條 會長ハ會務ヲ總理シ會議ノ議長ト爲ル
- 第四十八條 會長ハ會務ヲ總理シ會議ノ議長ト爲ル
- 第四十九條 會長ハ會務ヲ總理シ會議ノ議長ト爲ル
- 第五十條 會長ハ會務ヲ總理シ會議ノ議長ト爲ル
- 第五十一條 會長ハ會務ヲ總理シ會議ノ議長ト爲ル
- 第五十二條 會長ハ會務ヲ總理シ會議ノ議長ト爲ル
- 第五十三條 會長ハ會務ヲ總理シ會議ノ議長ト爲ル
- 第五十四條 會長ハ會務ヲ總理シ會議ノ議長ト爲ル
- 第五十五條 會長ハ會務ヲ總理シ會議ノ議長ト爲ル
- 第五十六條 會長ハ會務ヲ總理シ會議ノ議長ト爲ル
- 第五十七條 會長ハ會務ヲ總理シ會議ノ議長ト爲ル
- 第五十八條 會長ハ會務ヲ總理シ會議ノ議長ト爲ル
- 第五十九條 會長ハ會務ヲ總理シ會議ノ議長ト爲ル
- 第六十條 會長ハ會務ヲ總理シ會議ノ議長ト爲ル
- 第六十一條 會長ハ會務ヲ總理シ會議ノ議長ト爲ル
- 第六十二條 會長ハ會務ヲ總理シ會議ノ議長ト爲ル
- 第六十三條 會長ハ會務ヲ總理シ會議ノ議長ト爲ル
- 第六十四條 會長ハ會務ヲ總理シ會議ノ議長ト爲ル
- 第六十五條 會長ハ會務ヲ總理シ會議ノ議長ト爲ル
- 第六十六條 會長ハ會務ヲ總理シ會議ノ議長ト爲ル
- 第六十七條 會長ハ會務ヲ總理シ會議ノ議長ト爲ル
- 第六十八條 會長ハ會務ヲ總理シ會議ノ議長ト爲ル
- 第六十九條 會長ハ會務ヲ總理シ會議ノ議長ト爲ル
- 第七十條 會長ハ會務ヲ總理シ會議ノ議長ト爲ル
- 第七十一條 會長ハ會務ヲ總理シ會議ノ議長ト爲ル
- 第七十二條 會長ハ會務ヲ總理シ會議ノ議長ト爲ル
- 第七十三條 會長ハ會務ヲ總理シ會議ノ議長ト爲ル
- 第七十四條 會長ハ會務ヲ總理シ會議ノ議長ト爲ル
- 第七十五條 會長ハ會務ヲ總理シ會議ノ議長ト爲ル
- 第七十六條 會長ハ會務ヲ總理シ會議ノ議長ト爲ル
- 第七十七條 會長ハ會務ヲ總理シ會議ノ議長ト爲ル
- 第七十八條 會長ハ會務ヲ總理シ會議ノ議長ト爲ル
- 第七十九條 會長ハ會務ヲ總理シ會議ノ議長ト爲ル
- 第八十條 會長ハ會務ヲ總理シ會議ノ議長ト爲ル
- 第八十一條 會長ハ會務ヲ總理シ會議ノ議長ト爲ル
- 第八十二條 會長ハ會務ヲ總理シ會議ノ議長ト爲ル
- 第八十三條 會長ハ會務ヲ總理シ會議ノ議長ト爲ル
- 第八十四條 會長ハ會務ヲ總理シ會議ノ議長ト爲ル
- 第八十五條 會長ハ會務ヲ總理シ會議ノ議長ト爲ル
- 第八十六條 會長ハ會務ヲ總理シ會議ノ議長ト爲ル
- 第八十七條 會長ハ會務ヲ總理シ會議ノ議長ト爲ル
- 第八十八條 會長ハ會務ヲ總理シ會議ノ議長ト爲ル
- 第八十九條 會長ハ會務ヲ總理シ會議ノ議長ト爲ル
- 第九十條 會長ハ會務ヲ總理シ會議ノ議長ト爲ル
- 第九十一條 會長ハ會務ヲ總理シ會議ノ議長ト爲ル
- 第九十二條 會長ハ會務ヲ總理シ會議ノ議長ト爲ル
- 第九十三條 會長ハ會務ヲ總理シ會議ノ議長ト爲ル
- 第九十四條 會長ハ會務ヲ總理シ會議ノ議長ト爲ル
- 第九十五條 會長ハ會務ヲ總理シ會議ノ議長ト爲ル
- 第九十六條 會長ハ會務ヲ總理シ會議ノ議長ト爲ル
- 第九十七條 會長ハ會務ヲ總理シ會議ノ議長ト爲ル
- 第九十八條 會長ハ會務ヲ總理シ會議ノ議長ト爲ル
- 第九十九條 會長ハ會務ヲ總理シ會議ノ議長ト爲ル
- 第一百條 會長ハ會務ヲ總理シ會議ノ議長ト爲ル

附則
本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●救恤公債ノ發行及同公債竝ニ端數現金交付ニ關スル規程

大正十二年六月一日
大藏省令第十四號

大正十一年法律第三十九號第四條ニ依リ發行スル公債ノ發行及其ノ發行竝ニ端數現金交付ニ關スル規程左ノ通定ム

救恤公債ノ發行及同公債竝ニ端數現金交付ニ關スル規程

- 第一條 政府ハ大正十一年法律第三十九號第四條ニ依リ五分利公債ヲ發行ス
- 第二條 本公債ノ元金ハ發行ノ年ヨリ五年据置キ其ノ翌年ヨリ向五十年内ニ之ヲ償還ス
- 第三條 本公債初期ノ利子ハ救恤金交付額告知ノ日ヨリ之ヲ附ス
- 第四條 救恤金交付申請ニ對スル交付決定額ハ申請書經由官廳ヲ經テ之ヲ各申請者ニ告知ス
- 第五條 前條ノ告知ニ基キ公債又ハ端數現金ノ交付ヲ受ケムトスル者ハ第一號書式ノ請求書ニ市町村長其ノ他在在地官憲ノ證明ヲ經タル受取人ノ印鑑ヲ添ヘ之ヲ大藏省ニ提出スヘシ
- 外國ニシテ國債事務取扱店又ハ國庫事務取扱店ノ設置ナキ地ニ在ル被交付者又ハ其ノ代理人ハ其ノ在在地ニ前項ノ公債又ハ現金ノ郵送ヲ受クルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ第二號書式ノ請求書ニ印鑑ヲ添ヘ之ヲ大藏省ニ提出スヘシ
- 前項ノ場合ニ於ケル郵送途中ノ危険ハ請求者ノ負擔トス
- 請求者ハ第二項ノ場合ヲ除ク外公債又ハ現金ノ交付ヲ受クヘキ取扱店ヲ指定スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ其ノ旨ヲ請求書ニ附記スヘシ

第六條 救恤金交付額ノ告知ヲ受ケタル者ノ承繼人カ前條ノ請求ヲ爲サムトスルトキハ戶籍ノ謄本、抄本又ハ其ノ承繼ヲ證スルニ足ルヘキ官憲ノ書面其ノ他ノ證據書類ヲ請求書ニ添付スヘシ

被交付者カ請求ノ際公債又ハ現金ヲ受領スヘキ代理人ヲ定メタルトキハ其ノ旨及代理人ノ住所氏名ヲ請求書ニ附記スヘシ

第二類 内國債 救恤公債ノ發行及同公債竝ニ端數現金交付ニ關スル規程

被交付者ノ代理人カ前條ノ請求ヲ爲サムトスルトキハ其ノ權限ヲ證スルニ足ルヘキ書面ヲ提出スルコトヲ要ス

第七條 公債ヲ交付スルトキハ第三號書式ノ交付通知書ヲ受取人ニ交付ス
受取人ハ前項ノ交付通知書領收證欄内ニ式ノ如ク記名捺印シ指定ノ取扱店ニ提出シ之ト引換ニ公債ヲ受領スヘシ但シ第五條第二項ノ場合ニ於テハ公債ヲ受取リタルトキ直ニ交付通知書領收證欄内ニ式ノ如ク記名捺印シ之ヲ日本銀行本店ニ送付スヘシ

第八條 現金ノ交付ニ付テハ會計法規ノ定ムル所ニ從ヒ小切手又ハ支拂通知書ヲ交付シ指定ノ取扱店ニ於テ現金ヲ受領セシム但シ第五條第二項ノ場合ニ於テハ小切手ヲ日本銀行本店ニ交付シ其ノ旨ヲ受取人ニ通知ス

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第一號書式(公債ト現金トハ各別紙ニ調製スヘシ)
第二號書式亦同シ

請求書

申請書經由官廳 何 廳

一五分利公債額面何圓(又ハ一金何圓)

右ハ大正十一年法律第三十九號ニ依リ交付セラルヘキ分御渡有之度別紙印鑑相添ヘ此段請求候也

大正何年何月何日

住所(申請書提出當時ノ住所ト異ナルモノハ其ノ住所トモ)

氏 名印

又ハ住所(同上)氏名代人

住所

氏 名印

大藏大臣宛

(告知番號)

第二號書式

請求書

申請書經由官廳

何 廳

送 付 先 何國何地何々

一五分利公債額面何圓(又ハ一金何圓)

右ハ大正十一年法律第三十九號ニ依リ交付セラルヘキ分前記ノ箇所ヘ御郵送有之度此段請求候也

大正何年何月何日

住所(申請書提出當時ノ住所ト異ナルモノハ其ノ住所トモ)

氏 名印

又ハ住所(同上)氏名代人

住所

氏 名印

大藏大臣宛

(告知番號)

第三號書式 甲

第二類 内國債

救恤公債ノ發行及同公債並ニ端數現金交付ニ關スル規程

書知通付交

證收領

救第 號 取扱店 日本銀行「何店」 受取人 「氏名」 (又ハ氏名代人)

一五分利公債(ゆ號)額面「何圓」

此證券 枚

但シ大正十二年九月一日渡以降利札附屬

右救恤金交付ノ爲發行ス前記指定ノ取扱店ニテ之ヲ受取ルヘシ

大正 年 月 日

大藏大臣

前記ノ公債正ニ領收候也

大正 年 月 日

「住所」

「氏名」

名「印」

受取人

又ハ「住所」「氏名代人」

「住所」

「氏名」

名「印」

第三號書式甲ノ裏面

(注意)

一受取人ハ表面領收證ノ部ニ年月日及住所ヲ記入シ記名捺印シ公債領收ノ證トシテ之ヲ指定ノ取扱店ニ差出シ公債ノ交

付ヲ受クヘシ

一受取人カ代人ヲ以テ公債交付ヲ受ケムトストキハ本人ニ於テ本書委任欄内ニ適宜ノ事項ヲ記載シ記名捺印スルカ又ハ別ニ委任狀ヲ差出スヘシ此ノ場合ニ於テ代人ハ本書ニ代人タルノ肩書ヲ附シ記名捺印スヘシ
一受取人ノ印章ハ請求書ニ添付セシ印鑑ト同一ノモノニ限ル

印紙 委任欄

表書公債ノ受取方ヲ

ニ委任候也

大正 年 月 日

第三號書式 乙

書知通付交

救第 號 送付先 「何國何地」 受取人 「氏名」 (又ハ氏名代人)

一五分利公債(ゆ號)額面「何圓」

此證券 枚

但シ大正十二年九月一日渡以降利札附屬

右救恤金交付ノ爲發行ス

大正 年 月 日

大藏大臣

前記ノ公債正ニ領收候也

第二類 内國債 救恤公債ノ發行及同公債並ニ端數現金交付ニ關スル規程

領 收 證

大正 年 月 日

「住所」

「氏

名」印

受 取 人

又ハ「住所」氏名代人」

「住所」

「氏

名」印

第三號書式乙ノ裏面

(注意)

- 一 受取人公債ノ郵送ヲ受ケタルトキハ即時表面領收證ノ部ニ年月日及住所ヲ記入シ記名捺印シ公債領收ノ證トシテ之ヲ日本銀行本店ニ送付スヘシ
- 一 受取人ノ印章ハ請求書ニ添付セシ印鑑ト同一ノモノニ限ル

● 救恤公債ノ發行及同公債竝ニ端數現金交付ニ
關スル規程

大正十三年三月二十日
大藏省令第六號

大正十二年法律第三十九號第四條ニ依リ發行スル公債ノ發行及其ノ公債竝ニ端數現金交付ニ關スル規程左ノ通定ム
救恤公債ノ發行及同公債竝ニ端數現金交付ニ關スル規程

第一條 政府ハ大正十二年法律第三十九號第四條ニ依リ五分利公債ヲ發行ス

第二條 本公債ノ元金ハ發行ノ年ヨリ五年据置キ其ノ翌年ヨリ向五十年内ニ之ヲ償還ス

第三條 本公債ノ利子ハ大正十三年三月二日ヨリ之ヲ附ス

第四條 救恤金交付申請ニ對スル交付決定額ハ申請書經由官廳ヲ經テ之ヲ各申請者ニ告知ス

第五條 前條ノ告知ニ基キ公債又ハ端數現金ノ交付ヲ受ケムトスル者ハ第一號書式ノ請求書ニ市町村長其ノ他在任地官憲ノ證明ヲ經タル受取人ノ印鑑ヲ添ヘ之ヲ大藏省ニ提出スヘシ

外國ニシテ國債事務取扱店又ハ國庫事務取扱店ノ設置ナキ地ニ在ル被交付者又ハ其ノ代理人ハ其ノ在任地ニ前項ノ公債又ハ現金ノ郵送ヲ受クルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ第二號書式ノ請求書ニ印鑑ヲ添ヘ之ヲ大藏省ニ提出スヘシ
前項ノ場合ニ於ケル郵送途中ノ危險ハ請求者ノ負擔トス
請求者ハ第二項ノ場合ヲ除ク外公債又ハ現金ノ交付ヲ受クヘキ取扱店ヲ指定スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ其ノ旨ヲ請求書ニ附記スヘシ

第六條 救恤金交付額ノ告知ヲ受ケタル者ノ承繼人カ前條ノ請求ヲ爲サムトスルトキハ戶籍ノ謄本、抄本又ハ其ノ承繼ヲ證スルニ足ルヘキ官憲ノ書面其ノ他ノ證據書類ヲ請求書ニ添付スヘシ

被交付者カ請求ノ際公債又ハ現金ヲ受領スヘキ代理人ヲ定メタルトキハ其ノ旨及代理人ノ住所氏名ヲ請求書ニ附記スヘシ

第七條 公債ヲ交付スルトキハ第三號書式ノ交付通知書ヲ受取人ニ交付ス
被交付者ノ代理人カ前條ノ請求ヲ爲サムトスルトキハ其ノ權限ヲ證スルニ足ルヘキ書面ヲ提出スルコトヲ要ス

受取人ハ前項ノ交付通知書領收證欄内ニ式ノ如ク記名捺印シ指定ノ取扱店ニ提出シ之ヲ引換ニ公債ヲ受領スヘシ但シ第五條第二項ノ場合ニ於テハ公債ヲ受取リタルトキ直ニ交付通知書領收證欄内ニ式ノ如ク記名捺印シ之ヲ日本銀行本店ニ送付

第二類 內國債 救恤公債ノ發行及同公債竝ニ端數現金交付ニ關スル規程

スヘシ

第八條 現金ノ交付ニ付テハ會計法規ノ定ムル所ニ從ヒ小切手又ハ支拂通知書ヲ交付シ指定ノ取扱店ニ於テ現金ヲ受領セシム但シ第五條第二項ノ場合ニ於テハ小切手ヲ日本銀行本店ニ交付シ其ノ旨ヲ受取人ニ通知ス

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第一號書式(公債ト端金トハ各別紙ニ調製スヘシ第二號書式亦同シ)

請求書

申請書經由官廳 何 廳

一五分利公債額面何圓(又ハ一金何圓)

右ハ大正十二年法律第三十九號ニ依リ交付セラルヘキ分御渡有之度別紙印鑑相添ヘ此段請求候也

大正何年何月何日

住所(申請書提出當時ノ住所ト異ナルモノハ其ノ住所トモ)

氏 名印

又ハ住所(同上)氏名代人

住所 氏 名印

大藏大臣宛

(告知番號)

第二號書式

請求書

申請書經由官廳 何 廳

送付先 何國何地何々

一五分利公債額面何圓(又ハ一金何圓)

右ハ大正十二年法律第三十九號ニ依リ交付セラルヘキ分前記ノ箇所へ御郵送有之度此段請求候也

大正何年何月何日

住所(申請書提出當時ノ住所ト異ナルモノハ其ノ住所トモ)

氏 名印

又ハ住所(同上)氏名代人

住所 氏 名印

大藏大臣宛

(告知番號)

第三號書式 甲

交 付 通 知

救新第	號	取扱店	日	本	銀	行	受取人
一 五分利公債(め號)額面							
此證券 枚							

但シ大正十三年六月一日渡以降利札附屬
右救恤金交付ノ爲發行ス前記指定ノ取扱店ニテ之ヲ受取ルヘシ

第二類 内國債 救恤公債ノ發行及同公債並ニ端數現金交付ニ關スル規程

書

大正 年 月 日

大藏大臣

領收證

前記ノ公債正ニ領收候也

大正 年 月 日

受取人

第三號書式 甲裏面

(注意)

- 一 受取人ハ表面領收證ノ部ニ年月日及住所ヲ記入シ記名捺印シ公債領收ノ證トシテ之ヲ指定ノ取扱店ニ差出シ公債ノ交付ヲ受クヘシ
- 一 受取人カ代人ヲ以テ公債ノ交付ヲ受ケムトスルトキハ本人ニ於テ本書委任欄内ニ適宜ノ事項ヲ記載シ記名捺印スルカ又ハ別ニ委任狀ヲ差出スヘシ此ノ場合ニ於テ代人ハ本書ニ代人タルノ肩書ヲ附シ記名捺印スヘシ
- 一 受取人ノ印章ハ請求書ニ添附セシ印鑑ト同一ノモノニ限ル

印紙委任狀

表記公債ノ受取方ヲ

大正 年 月 日

ニ委任候也

第三號書式 乙

救新第

號 送付先

受取人

一 五分利公債(め號)額面

此證券 枚

但シ大正十三年六月一日渡以降利札附屬

右救恤金交付ノ爲發行ス

大正 年 月 日

大藏大臣

前記ノ公債正ニ領收候也

大正 年 月 日

受取人

第三號書式 乙裏面

(注意)

- 一 受取人公債ノ郵送ヲ受ケタルトキハ即時表面領收證ノ部ニ年月日及住所ヲ記入シ記名捺印シ公債領收ノ證トシテ之ヲ日本銀行本店ニ送付スヘシ
- 一 受取人ノ印章ハ請求書ニ添付セシ印鑑ト同一ノモノニ限ル

第二類 内國債 救恤公債ノ發行及同公債並ニ端數現金交付ニ關スル規程

●大正九年ニ於ケル尼港事變及「オコーツク」事變ノ爲損害ヲ被リタル者ノ救恤ニ關スル件 大正十五年三月三十一日 法律第四十四號

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル大正九年ニ於ケル尼港事變及「オコーツク」事變ノ爲損害ヲ被リタル者ノ救恤ニ關スル法律ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

第一條 大正十一年法律第三十九號第一條ノ規定ニ該當シタル帝國臣民ニシテ大正九年ニ於ケル尼港事變及「オコーツク」事變ノ爲損害ヲ被リタル者ニ對シテハ本法ニ依リ更ニ救恤金ヲ交付ス

第二條 前條救恤金ノ總額ハ百萬圓以內トス

第三條 救恤金ハ額面金額ニ依リ五分利付國債證券ヲ以テ之ヲ交付ス但シ二十五圓未滿ノ金額ハ現金ヲ以テ之ヲ交付ス

第四條 政府ハ前條ノ規定ニ依ル交付ニ必要ナル額ヲ限度トシ國債證券ヲ發行スルコトヲ得

第五條 救恤金ノ交付ハ之ヲ受ケムトスル者ノ申請ニ依リ救恤審査會ノ審査ヲ經テ主務大臣之ヲ決定ス
救恤審査會ニ關スル規程ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第六條 前條第一項ノ申請ハ大正十五年七月三十一日迄ニ之ヲ爲スヘシ

附則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●大正十五年法律第四十四號ニ依ル救恤金ノ交付ニ關スル件 大正十五年四月十六日 勅令第六十九號

朕大正十五年法律第四十四號ニ依ル救恤金ノ交付ニ關スル件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

第一條 大正十五年法律第四十四號第五條第一項ノ規定ニ依ル申請書ハ救恤金ヲ受ケムトスル者ノ現住地ヲ管轄スル北海道

廳府縣、朝鮮總督府、臺灣總督府、樺太廳、關東廳、南洋廳又ハ在外公館ヲ經由シ外務大臣ニ之ヲ提出スヘシ

第二條 申請書ニハ左ニ掲クル事項ヲ記載スヘシ但シ第五號及第六號ノ事項ニ付テハ大正十一年法律第三十九號ニ依ル申請書ノ記載ヲ援用セムトスル者ハ申請書ニ其ノ旨ヲ記スルヲ以テ足ル

一 申請者ノ氏名、年齢、職業、本籍及現住地

二 申請者カ大正九年ニ於ケル尼港事變又ハ「オコーツク」事變ノ爲損害ヲ被リタル者ニ非サルトキハ被害者ノ氏名、年齢、職業、本籍及現住地並申請者ト被害者トノ關係

三 損害發生ノ場所

四 損害發生ノ年月日

五 損害發生ノ前後ノ事情

六 損害ノ種類、程度、價格及事由

七 損害發生前被害者カ其ノ地方ニ在リタル期間

八 大正十一年法律第三十九號ニ依ル申請及救恤ノ有無

九 其ノ他參考ト爲ルヘキ事項

第三條 申請書ニハ成ルヘク前條ニ掲クル事項ヲ證明スルニ足ルヘキ證據方法ヲ開示シ證據書類及證據物件ヲ添附スヘシ但シ大正十一年法律第三十九號ニ依ル申請書ニ添附シタル證據書類及證據物件ヲ援用セムトスル者ハ其ノ旨ヲ記スルヲ以テ足ル

第四條 救恤審査會ハ外務大臣ノ監督ニ屬シ會長一人審査員八人以內ヲ以テ之ヲ組織ス

第五條 會長ハ外務次官ヲ以テ之ニ充ツ

第二類 内國債

大正九年ニ於ケル尼港事變及「オコーツク」事變ノ爲損害ヲ被リタル者ノ救恤ニ關スル件
大正十五年法律第四十四號ニ依ル救恤金ノ交付ニ關スル件

審査員ハ外務大臣ノ奏請ニ依リ關係各廳高等官ノ中ヨリ内閣ニ於テ之ヲ命ス

第六條 會長ハ會務ヲ總理シ會議ノ議長ト爲ル

會長事故アルトキハ外務大臣ノ指定スル審査員其ノ職務ヲ代理ス

第七條 審査會ニ幹事若干人ヲ置ク外務大臣ノ奏請ニ依リ關係各廳高等官ノ中ヨリ内閣ニ於テ之ヲ命ス

幹事ハ會長ノ指揮ヲ承ケ庶務ヲ整理ス

第八條 審査會ニ書記若干人ヲ置ク外務大臣之ヲ命ス

書記ハ上司ノ指揮ヲ承ケ庶務ニ從事ス

第九條 救恤金ノ交付ハ外務大臣之ヲ決定ス

第十條 救恤金ハ大藏大臣之ヲ交付ス

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●大正十五年法律第四十四號第四條ニ依リ發行スル 公債ノ發行交付ニ關スル規程

大正十五年十月二十三日
大藏省令第四十四號

大正十五年法律第四十四號第四條ニ依リ發行スル公債ノ發行交付ニ關スル規程左ノ通定ム

救恤公債ノ發行交付ニ關スル規程

第一條 政府ハ大正十五年法律第四十四號第四條ニ依リ五分利公債(ひ號)ヲ發行ス

第二條 本公債ノ元金ハ發行ノ年ヨリ五年据置キ其ノ翌年ヨリ向五十年内ニ之ヲ償還ス

第三條 本公債ノ利子ハ大正十五年十月二日ヨリ之ヲ附ス

第四條 救恤金交付申請ニ對スル交付決定額ハ申請書經由官廳ヲ經テ之ヲ各申請者ニ告知ス

第五條 前條ノ告知ニ基キ公債ノ交付ヲ受ケムトスル者ハ第一號書式ノ請求書ニ市町村長其ノ他在住地官憲ノ證明ヲ經タル

受取人ノ印鑑ヲ添ヘ之ヲ大藏省ニ提出スヘシ

外國ニシテ國債事務取扱店又ハ國庫事務取扱店ノ設置ナキ地ニ在ル被交付者又ハ其ノ代理人ハ其ノ在住地ニ前項ノ公債ノ

郵送ヲ受クルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ第二號書式ノ請求書ニ印鑑ヲ添ヘ之ヲ大藏省ニ提出スヘシ

前項ノ場合ニ於ケル郵送途中ノ危險ハ請求者ノ負擔トス

請求者ハ第二項ノ場合ヲ除ク外公債ノ交付ヲ受クヘキ取扱店ヲ指定スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ其ノ旨ヲ請求書ニ附記

スヘシ

第六條 救恤金交付額ノ告知ヲ受ケタル者ノ承繼人カ前條ノ請求ヲ爲サムトスルトキハ戶籍ノ謄本、抄本又ハ其ノ承繼ヲ證

スルニ足ルヘキ官憲ノ書面其ノ他ノ證據書類ヲ請求書ニ添附スヘシ

被交付者カ請求ノ際公債ヲ受領スヘキ代理人ヲ定メタルトキハ其ノ旨及代理人ノ住所氏名ヲ請求書ニ附記スヘシ

被交付者ノ代理人カ前條ノ請求ヲ爲サムトスルトキハ其ノ權限ヲ證スルニ足ルヘキ書面ヲ提出スルコトヲ要ス

第七條 公債ヲ交付スルトキハ第三號書式ノ交付通知書ヲ受取人ニ交付ス

受取人ハ前項ノ交付通知書領收證欄内ニ式ノ如ク記名捺印シ指定ノ取扱店ニ提出シ之ト引換ニ公債ヲ受領スヘシ但シ第五

條第二項ノ場合ニ於テハ公債ヲ受取リタルトキ直ニ交付通知書領收證欄内ニ式ノ如ク記名捺印シ之ヲ日本銀行本店ニ送付

スヘシ

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第一號書式

第二類 內國債

大正十五年法律第四十四號第四條ニ依リ發行スル公債ノ發行交付ニ關スル規程

請求書

申請書經由官廳

一五分利公債(ひ號)額面

右大正十五年法律第四十四號ニ依リ交付セラルヘキ分御渡有之度別紙印鑑證明書相添此段請求候也

大正 年 月 日

本籍

申請當時住所

現住所

氏名印

大藏大臣 殿

(告知番號)

第二號書式

請求書

申請書經由官廳

送付先

一五分利公債(ひ號)額面

右大正十五年法律第四十四號ニ依リ交付セラルヘキ分前記ノ箇所へ御郵送有之度此段請求候也

大正 年 月 日

本籍

申請當時住所

現住所

氏名印

大藏大臣 殿

(告知番號)

第三號書式 甲

救恤第

號

指定日

本

銀

行

受取人

一五分利公債(ひ號)額面

此證券

枚

但シ大正十六年三月一日渡以降利札附屬及日割利札添附

右救恤金交付ノ爲發行ス前記指定ノ取扱店ニテ之ヲ受取ルヘシ

大正 年 月 日

大藏大臣

前記ノ公債正ニ領收候也

大正 年 月 日

證收領

受取人

第二類 内國債

大正十五年法律第四十四號第四條ニ依リ發行スル公債ノ發行交付ニ關スル規程

一八五

(注意)

- 一 受取人ハ表面領收證ノ部ニ年月日及住所ヲ記入シ記名捺印シ公債領收ノ證トシテ之ヲ指定ノ取扱店ニ差出シ公債ノ交付ヲ受クヘシ
- 一 受取人カ代人ヲ以テ公債ノ交付ヲ受ケムトスルトキハ本人ニ於テ本書委任欄内ニ適宜ノ事項ヲ記載シ記名捺印スルカ又ハ別ニ委任狀ヲ差出スヘシ此ノ場合ニ於テ代人ハ本書ニ代人タルノ肩書ヲ附シ記名捺印スヘシ
- 一 受取人ノ印章ハ請求書ニ添附セシ印鑑ト同一ノモノニ限ル

印紙 委任狀

表記公債ノ受取方ヲ

ニ委任候也

大正 年 月 日

救恤第

號

送附先

受取人

一五分利公債(ひ號)額面

通 付 交

但シ大正十六年三月一日渡以降利札附屬及日割利札添附

此證券

枚

書 知

右救恤金交付ノ爲發行ス

大正 年 月 日

大藏大臣

前記ノ公債正ニ領收候也

大正 年 月 日

受取人

證 收 領

(注意)

- 一 受取人公債ノ郵送ヲ受ケタルトキハ即時表面領收證ノ部ニ年月日及住所ヲ記入シ記名捺印シ公債領收ノ證トシテ之ヲ日本銀行本店ニ送付スヘシ
- 一 受取人ノ印章ハ請求書ニ添付セシ印鑑ト同一ノモノニ限ル

● 戦役若ハ事變ニ際シ賜フ一時賜金ヲ公債證書ニテ交付スルコトヲ得ルノ件

明治三十七年六月十六日 勅令第百六十八號

朕戦役若ハ事變ニ際シ賜フ一時賜金ヲ公債證書ニテ交付スルコトヲ得ルノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム
戦役若ハ事變ニ際シ賜ハルヘキ一時賜金ハ公債證書ヲ以テ之ヲ交付スルコトヲ得
前項公債證書ノ公付ニ關スル事項ハ大藏大臣之ヲ定ム

第二類 内國債

戦役若ハ事變ニ際シ賜フ一時賜金ヲ公債證書ニテ交付スルコトヲ得ルノ件

●一時賜金トシテ交付スヘキ公債證書ノ種類及
交付價格

明治三十七年六月二十日
大藏省令第二十八號

改正(一)昭和九年七月十日
大藏省令第二十一號

明治三十七年勅令第六十八號ニ依リ一時賜金トシテ交付スヘキ公債證書ノ種類ハ五分以下ノ利付公債證書トス(一)
前項公債證書ノ交付價格ハ時價ヲ參酌シテ之ヲ定ム

○昭和九年大藏省令第二十一號附則
本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●明治二十八年勅令第一百五號戰役若ハ事變ニ際シ
功勞アル者ニ一時限り金圓ヲ賜與スルノ件改正ノ
件

大正八年十二月十三日
勅令第四百九十二號

朕明治二十八年勅令第一百五號戰役若ハ事變ニ際シ功勞アル者ニ一時限り金圓ヲ賜與スルノ件改正ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公
布セシム

戰役又ハ事變ニ際シ功勞アル者ニハ一時賜金又ハ金銀木杯若ハ錦地ヲ賜與スルコトヲ得

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

(參照)

明治二十八年七月二十勅令第一百五號
六月六日公布

戰役若クハ事變ニ際シ功勞アリテ勳章ヲ授クルモ年金ヲ賜ハラサル者又ハ勳章ヲ授ケサル者ニハ一時限り金圓ヲ賜與シ又ハ錦地ヲ賜
與スルコトヲ得

●帝國憲法第七十條ニ依ル財政上必要處分ノ件

明治四十三年八月二十九日
勅令第三百二十七號

朕樞密顧問ノ諮詢ヲ經テ帝國憲法第七十條ニ依ル財政上必要處分ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム
朝鮮ニ於ケル臨時恩賜ニ充ツル爲政府ハ三千萬圓ヲ限り五分利附國債ヲ發行スルコトヲ得

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●朝鮮ニ於ケル臨時恩賜ニ關スル件

明治四十三年八月二十九日
勅令第三百二十九號

朕茲ニ緊急ノ必要アリト認メ樞密顧問ノ諮詢ヲ經テ帝國憲法第八條ニ依リ朝鮮ニ於ケル臨時恩賜ニ關スル件ヲ裁可シ之ヲ公
布セシム

第一條 朝鮮ニ於ケル臨時恩賜ハ明治四十三年勅令第三百二十七號ニ依リ發行シタル國債證券ヲ以テ下付ス

前項ノ國債證券ハ記名式トス但シ政府ニ於テ特別ノ事由アリト認ムルトキハ之ヲ無記名式ト爲スコトヲ得

第二條 前條ノ記名國債證券ハ政府ノ認可ヲ受クルニ非サレハ之ヲ讓渡又ハ質入スルコトヲ得ス

第三條 元金償還、利子仕拂、證券及登錄ニ關スル取扱手續ハ大藏大臣之ヲ定ム

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●恩賜公債規程

明治四十三年九月五日
大藏省令第四十二號

第二類 內國債

一時賜金公債ノ種類及交付價格 戰役若ハ事變ノ功勞者ニ一時金圓ヲ賜與ノ
件改正 憲法第七十條財政上處分ノ件 朝鮮ノ臨時恩賜ノ件 恩賜公債規程

- 改正 (一) 明治四十四年二月二十七日 (二) 大正八年七月五日 (三) 大正八年十二月二十九日
 (四) 大正九年十二月十五日 (五) 大藏省令第四十八號

恩賜公債規程左ノ通之ヲ定ム

恩賜公債規程

第一條 明治四十三年勅令第三百二十七號ニ依リ發行スル恩賜公債ノ證券ノ額面金額種類ハ二十五圓、五十圓、百圓、五百圓、千圓、五千圓及一萬圓ノ七種トス(四)

恩賜公債ニハ記號ヲ附セス

第二條 本公債ノ元金ハ發行ノ年ヨリ五箇年据置キ其ノ翌年ヨリ向五十箇年以内ニ之ヲ償還ス

第三條 本公債初期ノ利子ハ恩賜辭令書ノ日附ノ屬スル月ヨリ之ヲ附シ元金償還ノトキハ其ノ償還ノ月迄之ヲ附ス

第四條 本公債ノ利子ハ毎年三月一日、六月一日、九月一日及十二月一日ニ於テ各其ノ日以前ニ屬スルモノヲ仕拂フ(四)

第五條 (一、二、三削除)

第六條 本公債ノ登録變更、登録除却又ハ質權ニ關スル登録ヲ請求スル者ハ其ノ請求書ニ朝鮮總督ノ認可書ヲ添附スヘシ但

シ相續ニ因ル登録ノ變更及權利ノ移轉ニ因ラサル登録ノ變更ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第七條 本令ニ規定スルモノノ外本公債ノ取扱ニ關シテハ國債規則ニ依ル

○大正八年大藏省令第三十四號附則

本令ハ大正九年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行前第五條ノ規定ニ依リ記名者カ指定シタル爲替金拂渡郵便局所ハ之ヲ國債規則ニ於ケル元利金仕拂場所ト看做ス

○大正九年大藏省令第四十八號附則

本令ハ大正九年十二月十五日ヨリ之ヲ施行ス但シ明治四十四年及大正二年發行ノ恩賜公債ニ付テハ其ノ附屬利札盡了ノ時迄仍從前ノ例ニ依ル

●明治四十三年臺灣蕃匪討伐ニ從事シ功勞アル者ニ

明治二十八年勅令第百十五號ヲ準用スルノ件

明治四十四年四月五日
 勅令第七十七號

朕明治四十三年臺灣蕃匪討伐ニ從事シ功勞アル者ニ明治二十八年勅令第百十五號ヲ準用スルノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

明治四十三年臺灣蕃匪討伐ニ從事シ功勞アル者ニハ明治二十八年勅令第百十五號ヲ準用ス

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●明治四十四年勅令第七十七號ニ依リ一時賜金トシテ

交付スヘキ公債證書ノ種類

明治四十四年五月十一日
 大藏省令第二十號

明治四十四年勅令第七十七號ニ依リ一時賜金トシテ交付スヘキ公債證書ノ種類ハ大日本帝國政府四分利公債證書トス前項公債證書ノ交付價格ハ時價ヲ參酌シテ之ヲ定ム

●大正三年臨時事件ニ關スル一時賜金トシテ交付スル

公債發行ノ件

大正四年六月二十一日
 法律第十六號

改正 (一) 大正八年四月五日

法律第三十九號

(二) 大正九年八月三日

法律第二十九號

(三) 大正十年四月一日

法律第三十一號

第二類 內國債

臺灣蕃匪討伐ノ功勞者ニ勅令第百十五號ヲ準用ノ件 勅令第七十七號ニ依リ一時賜金交付公債ノ種類 大正三年臨時事件ノ一時賜金交付公債發行ノ件

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル大正三年臨時事件ニ關スル一時賜金トシテ交付スル公債發行ニ關スル法律ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

一九二

大正三年臨時事件ニ關スル一時賜金トシテ交付スル爲政府ハ額面一億千五百萬圓ヲ限リ五分利附公債ヲ發行スルコトヲ得(一、二、三)

附則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

○大正九年法律第二十九號附則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●大正三年臨時事件ニ關スル一時賜金ノ交付ニ

關スル件

大正四年十一月六日
勅令第二百四號

改正(一)大正九年三月二十四日
勅令第四十六號

朕大正三年臨時事件ニ關スル一時賜金ノ交付ニ關スル件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

大正三年臨時事件ニ關スル一時賜金ノ現金ハ郵便貯金トシ特別郵便貯金通帳ヲ交付シ其ノ公債證書ハ郵便官署ニ保管シ特別證券保管通帳ヲ交付スルコトヲ得(一)

前項ノ規定ニ依リ保管スル公債證書ニ付テハ郵便貯金ニ關スル法令ニ依ル

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●大正三年臨時事件ニ關スル一時賜金取扱規則

大正四年十一月六日
大藏省令第三十三號

改正(一)大正九年三月二十四日
大藏省令第九號

大正三年臨時事件ニ關スル一時賜金取扱規則左ノ通相定ム

大正三年臨時事件ニ關スル一時賜金取扱規則

第一章 通則

第一條 大正三年臨時事件ニ關スル一時賜金ハ公債證書ヲ以テ之ヲ交付ス但シ公債證書ニ充當スルコトヲ得サル端數金額及戰死者ノ遺族ニ給スヘキ賜金ハ此ノ限ニ在ラス(一)

前項公債ノ交付價格ハ額面百圓ニ付九十圓トス

第二條 一時賜金ノ現金ハ郵便貯金トシ特別郵便貯金通帳ヲ以テ之ヲ交付シ公債證書ハ郵便官署ニ保管シ特別證券保管通帳ヲ以テ之ヲ交付ス但シ將校、同相當官、海軍兵曹長、同相當官、高等文官及同待遇者ニ對スル一時賜金ハ此ノ限ニ在ラス
前項ノ特別郵便貯金通帳及特別證券保管通帳ハ一時賜金ニ關スル辭令書每ニ之ヲ別冊トス(一追加)

第三條 一時賜金ニ對スル特別郵便貯金通帳ノ所持人ハ一般ノ規定ニ從ヒ他ノ郵便貯金通帳ヲ所持スルコトヲ得

第四條 一時賜金受給者ニ對シ公債證書ノミヲ交付スル場合ト雖他日當該公債ノ元利金又ハ其ノ證券賣却代金ノ處理ニ便ナラシムル爲金額ノ記載ナキ特別郵便貯金通帳ヲ交付ス

前項特別郵便貯金通帳ノ交付ヲ受ケタル者其ノ通帳ニ依リ貯金ノ預入又ハ保管ニ係ル證券利子等ノ受入ヲ爲ササル以前ニ於テ保管證券全部ノ交付ヲ請求スルトキハ其ノ請求書ト共ニ貯金通帳ヲ郵便局ニ返納スヘシ

第五條 本規則ニ依リ交付スル特別證券保管通帳ニハ公債證書ノ種類、記號、番號及額面金額ヲ記載シ爲替貯金局長之ニ證印ス但シ證券ノ記號、番號ハ之ヲ省略スルコトアルヘシ

前項但書ニ依リ證券ノ記號、番號ヲ省略シタルモノニ對シテハ郵便官署ハ當該證券ノ据置期間滿了前ニ於テ證券ノ記號、

第二類 內國債

大正三年臨時事件ニ關スル一時賜金ノ交付ニ關スル件 同上取扱規則

一九三

番號ヲ定メ之ヲ受給者ニ通知スヘシ

第六條 前條第一項但書ニ依リ證券ノ記號、番號ヲ省略シタルモノニシテ同條第二項ノ通知前受給者ノ請求ニ因リ其ノ證券ノ交付又ハ賣却ヲ要スル場合ハ同一種類ニシテ額面金額ノ同シキ證券ヲ以テ之ニ充ツ

第七條 陸海軍現役者及諸官廳ニ在ル者ニ交付スヘキ特別郵便貯金通帳及特別證券保管通帳ハ其ノ長又ハ其ノ長ノ指定シタル者ト受授スルコトアルヘシ此ノ場合ニ在リテハ其ノ長又ハ其ノ長ノ指定シタル者ニ於テ各受給者ノ賜金受領證書ヲ取纏メ之ヲ指定郵便局ニ提出スヘシ

第八條 特別郵便貯金通帳ヲ所持スル一時賜金受給者ハ金額ニ制限ナク其ノ貯金ノ即時拂ヲ請求スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ郵便局ニ對シ所屬部隊長、市町村長又ハ之ニ準スヘキ者ノ證明書其ノ他正當本人タルコトヲ證スルニ足ルヘキ書面ヲ提出スヘシ

第九條 一時賜金ノ郵便貯金及公債證書ニ對スル郵便官署ノ取扱ニ關シテハ本規則ニ規定シタルモノノ外總テ郵便貯金ニ關シ定メタル規則ニ據ル

第十條 一時賜金受給者ノ承繼人、財産管理人又ハ代理人ニ於テ賜金交付ノ請求ヲ爲シ又ハ該賜金ヲ受領セムトスルトキハ其ノ承繼人、財産管理人タルノ資格又ハ代理ノ權限ヲ證スルニ足ルヘキ書面ヲ提出スヘシ

第二章 陸軍省所管賜金取扱方

第十一條 陸軍省ニ屬スル一時賜金ハ左ノ區別ニ從ヒ之ヲ取扱フモノトス

一、陸軍經理部 師團司令部、朝鮮駐劄軍司令部、關東都督府陸軍部、臺灣總督府陸軍部及青島守備軍司令部ヲ經テ辭令ヲ交付シタル受給者ニ係ル賜金

二、陸軍會計監督部 前號及海軍省所管以外ノモノ悉皆

第十二條 一時賜金受給者辭令書ノ交付ヲ受ケタルトキハ陸軍各部隊及諸官廳ニ在ル者ハ其ノ長ニ其ノ他ノ者ハ市町村長又ハ之ニ準スヘキ者ニ辭令書ヲ提示シテ正當受給者タルノ證明ヲ受ケ賜金請求書(第一號)ヲ當該賜金取扱廳ニ提出シ且第二

條但書ニ依ル受給者ヲ除クノ外同時ニ貯金預入申込書(第二號)ヲ提出スヘシ

賜金請求書及貯金預入申込書ノ用紙ハ辭令書ト共ニ之ヲ受給者ニ交付ス

第十三條 前條ニ依リ賜金請求書ヲ提出シタル後其ノ所屬部隊又ハ居所ヲ轉シタルトキハ賜金請求書ニ記載シタル事項及新舊部隊又ハ新舊居所ヲ記載シタル届書ニ新所屬部隊長、新居住地ノ市町村長又ハ之ニ準スヘキ者ノ證明ヲ受ケ之ヲ當該賜金取扱廳ニ提出スヘシ

朝鮮、臺灣、樺太及外國ニ在ル受給者ニシテ内地ニ於テ賜金ヲ受領セムトスルトキハ其ノ旨ヲ當該賜金取扱廳ニ届出ツヘシ

前二項ノ場合ニ於テ賜金取扱郵便局ノ變更ヲ要スルモノニ在リテハ届書ニ其ノ旨ヲ附記スヘシ

第十四條 陸軍經理部ニ於テ前條ノ届出ヲ受ケタルトキハ其ノ旨ヲ陸軍會計監督部ニ通知スヘシ

通帳ヲ以テ交付スヘキモノニ係ル前條ノ届出ニ付テハ陸軍會計監督部ヨリ其ノ旨ヲ爲替貯金局ニ通知スヘシ

第十五條 賜金取扱廳ニ於テ賜金請求書ノ提出ヲ受ケタルトキハ其ノ通帳ヲ以テ交付スヘキモノト現金又ハ公債證書ヲ以テ交付スヘキモノトヲ區分シ受給者居所ノ府縣(又ハ之ニ準スヘキモノ)別ニ依リ金額氏名表(第三號)ヲ調製スヘシ

陸軍經理部ニ於テ調製シタル前項ノ金額氏名表ハ賜金請求書及貯金預入申込書ト共ニ之ヲ陸軍會計監督部ニ送付スヘシ

第十六條 一時賜金受給者ニ交付ヲ要スル公債證書ハ陸軍會計監督部ニ於テ通帳ヲ以テ交付スヘキモノト否トヲ區分シ其ノ額面金額種類及枚數ヲ指定シ之ヲ大藏省ニ請求スヘシ

大藏省ニ於テ前項ノ請求ヲ受ケタルトキハ隨時公債ヲ發行シ日本銀行ヲシテ受領證書引換ニ仕譯書ヲ添ヘ之ヲ中央金庫ニ引渡サシム但シ第二條但書ニ依ル受給者ニ交付スヘキ公債證書ハ之ヲ陸軍會計監督部ニ交付セシム

中央金庫ニ於テ前項ニ依リ公債證書ノ引渡ヲ受ケタルトキハ爲替貯金局ノ保管預トシ其ノ額面金額種類及枚數ヲ陸軍會計監督部及爲替貯金局ニ通知スヘシ

第十七條 陸軍會計監督部ニ於テ前條第三項ノ通知ヲ受ケタルトキハ之ニ對スル賜金請求書、貯金預入申込書及金額氏名表ヲ爲替貯金局ニ送付シ且端數現金ハ仕拂命令ヲ以テ之ヲ同局出納官吏ニ交付スヘシ

第十八條 爲替貯金局ニ於テ第十六條第三項ノ通知並前條賜金請求書、貯金預入申込書、金額氏名表及端數現金仕拂命令ノ送付ヲ受ケタルトキハ各受給者別ニ特別郵便貯金通帳及特別證券保管通帳ヲ調製シ賜金請求書ト共ニ之ヲ指定郵便局ニ送付シ其ノ旨ヲ受給者ニ通知スヘシ

第十九條 受給者ニ於テ前條ノ通知ヲ受ケタルトキハ賜金受領證書用紙(第四號書式)ニ相當事項ヲ記入シ記名調印ノ上之ヲ指定郵便局ニ提出シ貯金通帳及保管通帳ノ交付ヲ請求スヘシ
前項ノ賜金受領證書用紙ハ爲替貯金局ヨリ通知書ト共ニ之ヲ受給者ニ交付ス

第二十條 郵便局ニ於テ前條ノ請求ヲ受ケタルトキハ賜金受領證書ノ印影ヲ賜金請求書ノ印影ニ對照シ其ノ相違ナキコトヲ確メタル上特別郵便貯金通帳及特別證券保管通帳ヲ交付シ賜金受領證書及賜金請求書ハ爲替貯金局ヲ經テ之ヲ陸軍會計監督部ニ送付スヘシ

第二十一條 第二條但書ニ依ル現金又ハ公債證書ハ陸軍會計監督部ヨリ之ヲ受給者ニ交付ス
受給者ニ於テ前項ニ依リ現金又ハ公債證書ノ交付ヲ受ケタルトキハ之ニ對スル賜金受領證書(第五號又ハ第六號書式)ヲ陸軍會計監督部ニ提出スヘシ

第三章 海軍省所管賜金取扱方

第二十二條 海軍省所管ニ屬スル受給者ノ一時賜金ハ海軍省經理局ニ於テ之ヲ取扱フモノトス

第二十三條 一時賜金受給者辭令書ノ交付ヲ受ケタルトキハ海軍各廳及諸官廳ニ在ル者ハ其ノ長ニ其ノ他ノ者ハ市町村長又ハ之ニ準スヘキ者ニ辭令書ヲ提示シテ正當受給者タルノ證明ヲ受ケ賜金請求書(第一號書式)ヲ海軍省經理局ニ提出シ且第二條但書ニ依ル受給者ヲ除クノ外同時ニ貯金預入申込書(第二號書式)ヲ提出スヘシ

賜金請求書及貯金預入申込書ノ用紙ハ辭令書ト共ニ之ヲ受給者ニ交付ス

第二十四條 前條ニ依リ賜金請求書ヲ提出シタル後其ノ所屬官廳又ハ居所ヲ轉シタルトキハ賜金請求書ニ記載シタル事項及新舊所屬官廳又ハ新舊居所ヲ記載シタル届書ニ新所屬長、新居住地ノ市町村長又ハ之ニ準スヘキ者ノ證明ヲ受ケ之ヲ海軍省經理局ニ提出スヘシ

朝鮮、臺灣、樺太及外國ニ在ル受給者ニシテ内地ニ於テ賜金ヲ受領セムトスルトキハ其ノ旨ヲ海軍省經理局ニ届出ツヘシ
前二項ノ場合ニ於テ賜金取扱郵便局ノ變更ヲ要スルモノニ在リテハ届書ニ其ノ旨ヲ附記スヘシ

第二十五條 通帳ヲ以テ交付スヘキモノニ係ル前條ノ届出ニ付テハ海軍省經理局ヨリ其ノ旨ヲ爲替貯金局ニ通知スヘシ

第二十六條 海軍省經理局ニ於テ賜金請求書ノ提出ヲ受ケタルトキハ其ノ通帳ヲ以テ交付スヘキ受給者居所ノ府縣(又ハ之ニ準スヘキモノ)別ニ依リ金額氏名表(第三號書式)ヲ調製スヘシ

第二十七條 一時賜金受給者ニ交付ヲ要スル公債證書ハ海軍省經理局ニ於テ通帳ヲ以テ交付スヘキモノト否トヲ區分シ其ノ額面金額種類及枚數ヲ指定シ之ヲ大藏省ニ請求スヘシ

大藏省ニ於テ前項ノ請求ヲ受ケタルトキハ隨時公債ヲ發行シ日本銀行ヲシテ受領證書引換ニ仕譯書ヲ添ヘ之ヲ中央金庫ニ引渡サシム但シ第二條但書ニ依ル受給者ニ交付スヘキ公債證書ハ之ヲ海軍省經理局ニ交付セシム

中央金庫ニ於テ前項ニ依リ公債證書ノ引渡ヲ受ケタルトキハ爲替貯金局ノ保管預トシ其ノ額面金額種類及枚數ヲ海軍省經理局及爲替貯金局ニ通知スヘシ

第二十八條 海軍省經理局ニ於テ前條第三項ノ通知ヲ受ケタルトキハ之ニ對スル賜金請求書、貯金預入申込書及金額氏名表ヲ爲替貯金局ニ送付シ且端數現金ハ仕拂命令ヲ以テ之ヲ同局出納官吏ニ交付スヘシ

第二十九條 爲替貯金局ニ於テ第二十七條第三項ノ通知並前條賜金請求書、貯金預入申込書、金額氏名表及端數現金仕拂命令ノ送付ヲ受ケタルトキハ各受給者別ニ特別郵便貯金通帳及特別證券保管通帳ヲ調製シ賜金請求書ト共ニ之ヲ指定郵便局

ニ送付シ其ノ旨ヲ受給者ニ通知スヘシ
 第三十條 受給者ニ於テ前條ノ通知ヲ受ケタルトキハ賜金受領證書用紙(第四號)ニ相當事項ヲ記入シ記名調印ノ上之ヲ指定郵便局ニ提出シ貯金通帳及保管通帳ノ交付ヲ請求スヘシ
 前項ノ賜金受領證書用紙ハ爲替貯金局ヨリ通知書ト共ニ之ヲ受給者ニ交付ス
 第三十一條 郵便局ニ於テ前條ノ請求ヲ受ケタルトキハ賜金受領證書ノ印影ヲ賜金請求書ノ印影ニ對照シ其ノ相違ナキコトヲ確メタル上特別郵便貯金通帳及特別證券保管通帳ヲ交付シ賜金受領證書及賜金請求書ハ爲替貯金局ヲ經テ之ヲ海軍省經理局ニ送付スヘシ

第三十二條 第二條但書ニ依ル現金又ハ公債證書ハ海軍省經理局ヨリ之ヲ受給者ニ交付ス
 受給者ニ於テ前項ニ依リ現金又ハ公債證書ノ交付ヲ受ケタルトキハ之ニ對スル賜金受領證書(第五號又ハ第六號書式)ヲ海軍省經理局ニ提出スヘシ

附則
 本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第一號書式

(用紙美濃紙)

賜金請求書 本書ハ(陸軍會計監督部又ハ海軍省經)ニ提出スヘシ (理局等賜金取扱處ヲ記入ス)	<table border="1"> <tr> <td>貯金通帳 帳番號</td> <td>保管通帳 帳番號</td> </tr> <tr> <td>通帳 附印</td> <td>日付交</td> </tr> </table>	貯金通帳 帳番號	保管通帳 帳番號	通帳 附印	日付交
貯金通帳 帳番號	保管通帳 帳番號				
通帳 附印	日付交				
換算額					

賜金額	官報登載 年月日
受領郵便局 名	官報登載 頁數
現住所	
右請求候也 大正 年 月 日 「陸」海軍大臣宛 前書之通辭令書ニ對照シ正當受給者ニ相違ナキコトヲ證明ス 大正 年 月 日	

賜金内譯	公債證書	
	種別	枚數
	千圓券	枚
	五百圓券	枚
	百圓券	枚
	五拾圓券	枚
	現金	

(賜金取扱處ニ於テ記入ス)

第二號書式

貯第一號

貯金預入申込書 郵便貯金預入致度此段申込候也	通帳 記號	番號	印
	氏	名	住

(注意)
 一、本請求書用紙ハ各人一枚ヲ限り辭令書ト共ニ配付スルモノナルヲ以テ紛失其ノ他ノ事故ニ由リ再交付ヲ要スルトキハ所屬部隊、官廳ノ長、市町村長(又ハ之ニ準ス)ノ證明ヲ受ケ賜金取扱處ニ請求スヘシ
 (キ者以下同シ)
 二、受給者ハ本請求書用紙ニ賜金額及官報(附録又ハ號外)登載ノ年月日、頁數(辭令書裏面)、受領郵便局名及現住所ヲ記入シ年月日ノ下ニ官氏名ヲ記入調印シ且第二號書式ノ貯金預入申込書用紙ニ現住所、氏名及職業ヲ記入調印シ且第二號書式ノ貯金預入申込書用紙ニ現住所、氏名及職業ヲ記入調印ノ上各部隊及諸官廳ニ在ル者ハ其ノ長ニ其ノ他ノ者ニ在リテハ現ニ居住スル市町村長ノ證明ヲ受ケ本人又ハ受領代人ヨリ直ニ賜金取扱處ニ提出スヘシ
 三、現住所ノ下ニハ各部隊又ハ諸官廳ニ在ル者ニ在リテハ現所屬部隊、官廳名其ノ他ノ者ニ在リテハ現ニ居住スル府縣市町村番地ヲ詳記スヘシ
 四、將校、同相當官、海軍兵曹長、同相當官、高等文官及同待遇者ニ在リテハ受

第二類 内國債 大正三年臨時事件ニ關スル一時賜金取扱規則

印附日	鑑
	業職 所

此ノ書面ハ他日貯金ノ拂戻又ハ證券ノ購入等ヲ請求スル場合ニ於テ照合ノ用ニ供スルモノナルヲ以テ住所氏名ハ明瞭ニ記載シ印鑑ハ鮮明ニ押捺セララルヘシ

- 領郵便局ノ指定及貯金預入申込書ノ記載ヲ要セス
- 五、請求書提出後賜金受領前ニ於テ所屬部隊、官廳又ハ住所ヲ轉シタル場合ハ新所屬部隊長、新官廳ノ長又ハ新居住地ノ市町村長ノ證明ヲ受ケ直ニ其ノ旨ヲ賜金取扱廳ニ届出ツヘシ
- 六、代理受領ヲ爲ス者ハ受給者ノ委任狀ヲ添附提出スヘシ
- 七、賜金受給者辭令書ノ日附以後ニ於テ死歿シ又ハ受領ノ資格ヲ失ヒタルトキハ正當ノ承繼人又ハ財産管理人ヨリ請求スヘシ此ノ場合ニ在リテハ其ノ資格ヲ證スヘキ書面ヲ添附スヘシ
- 八、賜金ニ關スル願届開合ノ場合ニ在リテハ凡テ官報登載ノ年月日、頁數ヲ記入スヘシ

第三號書式

大正 年 月 日	賜金金額氏名表
府縣(又ハ之ニ準スヘキモノ)	賜金取扱廳名
一金	
此譯	
公債證書換算額	
千圓券 五百圓券	枚 枚
百圓券 五十圓券	枚 枚
現金	
內譯	

第四號書式(一)

賜金額	公債證書	現金	現住所(現役者、諸官廳ニ在ル者ハ部隊、官廳名)	受給者官氏名
	千圓券 五百圓券 百圓券 五十圓券			
右之通相違無之候也				
大正 年 月 日	賜金取扱廳長官 氏 名 印			

通帳交付日附印

第二類 內國債 大正三年臨時事件ニ關スル一時賜金取扱規則

公債證書額面	圓也
此交付價格換算金	圓也 (額面百圓ニ對シ九拾圓ノ割)
但シ	番證券保管通帳
郵便貯金	圓也
但シ	番貯金通帳

但シ大正 年 月 日官報(附録又ハ號外)第 頁登載大正三年臨時事件ニ關スル
一時賜金
右正ニ受領候也

大正 年 月 日
現住所(又ハ部隊、官廳名)
官氏 名印
「陸」海軍大臣宛

(注意)
一、賜金受領者ハ年月日、現住所(又ハ部隊名又ハ官廳名)及官氏名ヲ記入捺印スヘシ
但シ曩ニ賜金請求書ヲ提出シタルモノニ在リテハ其ノ請求書ニ用ヒタル印ト同一ナルコトヲ要ス若シ紛失其ノ他ノ事故ニ由リ改印シタル場合ハ改印證明書ヲ添付スヘシ
二、郵便官署ヨリ通知ヲ受ケタル賜金受領者ハ本受領證書ヲ指定ノ郵便局ニ提出シ之ト引換ニ郵便貯金通帳、證券保管通帳ヲ受取ルヘシ

第五號書式(一)
第 號 賜金受領證書
一帝國政府五分利公債證書額面 圓也
此交付價格換算金 圓也但シ額面百圓ニ對シ九拾圓ノ割

内 譯

千 圓 券	號	番	枚
五百 圓 券	號	番	枚
百 圓 券	號	番	枚
五十 圓 券	號	番	枚

但シ大正 年 月 日官報(附録又ハ號外)第 頁登載大正三年臨時事件ニ關スル
一時賜金 圓ノ内公債證書ヲ以テ交付ノ分
右正ニ受領候也

大正 年 月 日
現住所(又ハ部隊、官廳名)
官氏 名印
「陸」海軍大臣宛

(注意)
一、第四號書式注意第一項ニ同シ
第六號書式(一)

第 號 賜金受領證書
一金 圓也
但シ大正 年 月 日官報(附録又ハ號外)第 頁登載大正三年臨時事件ニ關スル

第二類 内國債 大正三年臨時事件ニ關スル一時賜金取扱規則 11011

一時賜金 圓ノ内現金ヲ以テ交付ノ分
右正ニ受領候也

大正 年 月 日

「陸」海軍大臣宛

現住所(又ハ部隊、官廳名)

官氏

名印

(注意)

一、第四號書式注意第一項ニ同シ

●大正三年臨時事件ニ關スル一時賜金公債證書保管請求方

大正五年二月二十五日
遞信省令第八號

改正(一) 大正九年三月二十五日
遞信省令第二十八號

大正三年臨時事件ニ關スル一時賜金ニシテ特別證券保管通帳ニ依ラスシテ下賜セラレタル公債證書ヲ其ノ受給者ヨリ郵便貯金規則ニ依リ郵便官署ニ保管ヲ請求スル場合ニ於テハ當分ノ内其ノ保管料金ヲ徴收セス(一)
前項ノ請求ヲ爲サムトスル者ハ其ノ下賜ニ關スル辭令書ノ呈示、市區町村長若ハ之ニ準スヘキ者ノ證明書ノ提出又ハ其ノ他ノ方法ニ依リ郵便官署ニ對シ其ノ受給者タルコトヲ證明スヘシ

附則

本令ハ大正五年三月一日ヨリ之ヲ施行ス

●一時賜金公債規程

大正十年十月五日
大藏省令第三十六號

改正(一) 大正十五年六月九日
大藏省令第二十五號

大正四年大藏省令第三十四號一時賜金公債規程左ノ通改正ス

一時賜金公債規程

- 第一條 政府ハ大正四年法律第十六號ニ依リ隨時大日本帝國政府五分利公債證書ヲ發行ス
- 第二條 本公債ノ額面金額ハ二十五圓、五十圓、百圓、五百圓、千圓、五千圓及一萬圓ノ七種トス
- 第三條 本公債ノ元金ハ發行ノ年ヨリ五箇年据置キ其ノ翌年ヨリ向五十箇年以内ニ之ヲ償還ス
- 第四條 本公債ノ利率ハ年五分トシ一時賜金發令ノ日ヨリ之ヲ付ス
- 第五條 本公債ノ利子ハ毎年三月一日、六月一日九月一日及十二月一日ニ於テ各其ノ日以前ニ屬スルモノヲ仕拂フ

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス但シ大正九年十二月三十一日以前ノ發令ニ係ル一時賜金トシテ交付スル爲發行シ又ハ發行スル公債ニ付テハ仍從前ノ例ニ依ル(一)

●軍備ノ制限又ハ整理ニ因リ解備セララルル陸海軍職工ノ特別手當ニ關スル件

大正十一年十月七日
勅令第四百二十八號

朕軍備ノ制限又ハ整理ニ因リ解備セララルル陸海軍職工ノ特別手當ニ關スル件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム
今回ノ軍備ノ制限又ハ整理ニ因リ解備セララルル陸海軍職工ニハ從前ノ例ニ依ラス所管大臣大藏大臣ト協議シテ定ムル所ニ從

第二類 内國債

大正三年臨時事件ニ關スル一時賜金公債證書保管請求方 一時賜金公債規程
軍備ノ制限又ハ整理ニ因リ解備セララルル陸海軍職工ノ特別手當ニ關スル件

ヒ特別ノ手當ヲ支給スルコトヲ得

前項ノ手當ハ大藏大臣ノ定ムル所ニ從ヒ國債ヲ以テ之ヲ交付スルコトヲ得

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●大正十一年勅令第四百二十八號ニ依リ特別手當ヲ國債ヲ以テ交付スル場合ニ於ケル交付價格ニ關スル件 大正十一年十月七日 大藏省令第五十四號

大正十一年勅令第四百二十八號ニ依リ特別手當ヲ國債ヲ以テ交付スル場合ニ於ケル交付價格ニ關スル件左ノ通定ム
大正十一年勅令第四百二十八號ニ依リ特別手當ヲ國債ヲ以テ交付スル場合ニ於テハ其ノ交付價格ハ時價ヲ參酌シテ隨時之ヲ定ム

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●行政整理又ハ軍備ノ制限若ハ整理ニ際シ職ヲ離レシメラレタル者ノ特別賜金等ニ關スル件 大正十一年十一月三日 勅令第四百七十九號

朕行政整理又ハ軍備ノ制限若ハ整理ニ際シ職ヲ離レシメラレタル者ノ特別賜金等ニ關スル件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム
第一條 今回ノ軍備ノ制限又ハ整理ニ際シ現役ヲ退カシメラルル陸海軍武官、憲兵上等兵、陸軍樂手補又ハ海軍志願兵ニハ特別ノ賜金ヲ支給スルコトヲ得志願ニ依リ現役者ト同一ノ職務ニ從事スル豫備役後備役ニ在ル陸軍武官又ハ憲兵上等兵ニ

シテ退職セシメラルル者ニ付亦同シ

第二條 文官若ハ官吏ノ待遇ヲ受クル者又ハ憲兵補ニシテ今回ノ行政整理又ハ軍備ノ制限若ハ整理ニ際シ退官退職シ又ハ休職ヲ命セラルル者ニハ特別ノ賜金ヲ支給スルコトヲ得
囑託員、雇員、傭人又ハ職工(大正十一年勅令第四百二十八號ノ適用ヲ受クル職工ヲ除ク)ニシテ今回ノ行政整理又ハ軍備ノ制限若ハ整理ニ際シ解職又ハ解傭セラルル者ニハ特別ノ手當ヲ支給スルコトヲ得

第三條 前二條ニ規定スル特別ノ賜金又ハ手當ノ金額其ノ支給ノ範圍及時期其ノ他支給ニ關スル事項ニ付テハ所管大臣大藏大臣ト協議シテ之ヲ定ム
特別ノ賜金又ハ手當ハ大藏大臣ノ定ムル所ニ從ヒ國債ヲ以テ之ヲ交付スルコトヲ得

第四條 朝鮮、臺灣、樺太又ハ千島國在勤者ニシテ第二條ニ該當スル者ノ歸郷旅費ニ付テハ所管大臣大藏大臣ト協議シテ內國旅費規則第二十一條ノ規定ニ對シ特例ヲ設クルコトヲ得

第五條 今回ノ軍備ノ制限若ハ整理又ハ行政整理ニ際シ死亡シタル者ニ付テハ本令ニ準シ特別ノ賜金又ハ手當ヲ支給スルコトヲ得

●大正十一年勅令第四百七十九號ニ依リ特別ノ賜金又ハ手當ヲ國債ヲ以テ交付スル場合ニ於ケル交付價格ニ關スル件 大正十一年十一月三日 大藏省令第五十六號

大正十一年勅令第四百七十九號ニ依リ特別ノ賜金又ハ手當ヲ國債ヲ以テ交付スル場合ニ於ケル交付價格ニ關スル件左ノ通定ム

第二類 內國債

大正十一年勅令第四百二十八號ニ依リ交付國債價格 行政整理等ニ際シ職ヲ離レタル者ノ特別賜金 大正十一年勅令第四百七十九號ニ依リ交付國債價格

大正十一年勅令第四百七十九號ニ依リ特別ノ賜金又ハ手當ヲ國債ヲ以テ交付スル場合ニ於テハ其ノ交付價格ハ時價ヲ參酌シテ隨時之ヲ定ム

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

● 行政整理又ハ軍備ノ制限整理ニ關スル公債發行ニ關スル件

大正十二年三月二十七日
法律第十七號

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル行政整理又ハ軍備ノ制限整理ニ關スル公債發行ニ關スル法律ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム
今回ノ行政整理又ハ軍備ノ制限若ハ整理ニ際シ退官若ハ退職シタル者、休職ヲ命セラレタル者、現役ヲ退カシメラレタル者、解職若ハ解備セラレタル者又ハ死亡シタル者ニ特別ノ賜金又ハ手當トシテ交付スル爲政府ハ額面五千二百萬圓ヲ限リ公債ヲ發行スルコトヲ得

附則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

● 行政整理又ハ軍備ノ制限整理ニ關シ發行スル公債ノ發行交付ニ關スル規程

大正十二年四月二十一日
大藏省令第十號

行政整理又ハ軍備ノ制限整理ニ關シ發行スル公債ノ發行交付ニ關スル規程左ノ通定ム

行政整理又ハ軍備ノ制限整理ニ關シ發行スル公債ノ發行交付ニ關スル規程

第一條 政府ハ大正十二年法律第十七號ニ依リ隨時五分利公債ヲ發行ス

第二條 本公債ノ額面金額ハ二十五圓、五十圓、百圓、五百圓、千圓、五千圓及一萬圓ノ七種トス

第三條 本公債ノ元金ハ發行ノ年ヨリ五箇年据置キ其ノ翌年ヨリ向五十箇年以内ニ額面金額ヲ以テ之ヲ償還ス

第四條 本公債ノ利子ハ一箇年ニ付元金ノ百分ノ五トス

第五條 本公債ノ利子ハ毎年三月一日、六月一日、九月一日及十二月一日ニ於テ各其ノ日以前ニ屬スルモノヲ支拂フ

第六條 初期利子ノ金額ハ其ノ支拂期日以前三箇月分ニ相當スルモノトス

第七條 本公債ノ交付價格ハ額面金額百圓ニ付八十七圓トス但シ前條ノ初期利子ノ金額ノ内特別ノ賜金又ハ手當ノ給與發令

日前ニ屬スルモノアルトキハ之ニ相當スル金額(毛位)ヲ本文ノ金額ニ加算ス

第八條 所管各省ハ豫メ特別ノ賜金又ハ手當ノ給與ニ必要ナル公債額ヲ額面金額ノ種類毎ニ區分シ大藏省ニ通知スヘシ

第九條 特別ノ賜金又ハ手當ノ給與ヲ發令シタル官廳ハ其ノ受給者ヨリ公債交付請求書ヲ徵シ公債發行請求書(第一號書式)ヲ所管各省ヲ經由シテ大藏省ニ提出スヘシ

前項ノ公債發行請求書ニハ受給者ノ氏名別内譯書(第二號書式)及受取人印鑑ニ通ヲ添附スヘシ

第十條 大藏省前條ノ規定ニ依リ公債發行ノ請求ヲ受ケタルトキハ公債交付通知書(第三號書式)ヲ所管各省ヲ經由シテ請求

官廳ニ交付ス

第十一條 前條ノ規定ニ依リ公債交付通知書ノ交付ヲ受ケタル官廳ハ其ノ受領證欄ニ式ノ如ク記入シ日本銀行ニ提出シ之ト

引換ニ公債ヲ受領スヘシ

第十二條 前條ノ規定ニ依リ公債ヲ受領シタル官廳ハ毎月十五日迄ニ前月中受給者ニ交付ヲ了シタル公債額ヲ所管各省ヲ經由シテ大藏省ニ通知スヘシ

由シテ大藏省ニ通知スヘシ

附則

本令ハ大正十二年法律第十七號施行ノ日ヨリ之ヲ適用ス(大正十二年三月二十七日ヨリ適用)

第二類 內國債

行政整理又ハ軍備ノ制限整理ニ關スル公債發行ニ關スル件
行政整理又ハ軍備ノ制限整理ニ關シ發行スル公債ノ發行交付ニ關スル規程

書式第一號

退職特別賜金又ハ退職特別手當公債發行請求書

一 五分利公債(ゆ號)額面 圓也

大正十二年 月 日渡以降利札附屬(發令日大正 年 月 日)

公債額面ノ區別

圓券 枚

圓券 枚

公債受給者氏名別内譯書(別紙ノ通)

公債交付指定取扱店 日本銀行本店(又ハ何支店、何代理店)

右發行相成度候也

大正 年 月 日

大藏大臣宛

官職 氏

名印

書式第二號

公債受給者氏名別内譯書

受給者氏名	退職當時ノ官職名	給與發令日附	交付價格	公債額面額

書式第三號(表面)

交付通知書 領收證

賜第 號 取扱店 日本銀行 受取人

一 五分利公債(號)額面 此證券 枚

但シ大正 年 月 日渡以降利札附屬

右前記指定ノ取扱店ニテ之ヲ受取ルヘシ

大正 年 月 日

大藏省理財局長

前記ノ公債證書正ニ領收候也

大正 年 月 日

受取人

(參考)

公債交付價格試算

額面金額	給與發令日	大正十二年	同	二十八年	同	二十九年	同	三十日	同	三十一日
二十五圓券	三月二十七日	二・八三五	同	二・八三九	同	二・八四二	同	二・八四五	同	二・八四九
五十圓券	三月二十七日	四三・六七一	同	四三・六七八	同	四三・六八四	同	四三・六九一	同	四三・六九八
百圓券	三月二十七日	八七・三四二	同	八七・三五六	同	八七・三六九	同	八七・三八三	同	八七・三九七

第二類 内國債 行政整理又ハ軍備ノ制限整理ニ關シ發行スル公債ノ發行交付ニ關スル規程

五 百 圓 券	四三六・七一二	四三六・七八〇	四三六・八四九	四三六・九一七	四三六・九八六
千 圓 券	八七三・四二四	八七三・五六一	八七三・六九八	八七三・八三五	八七三・九七二
五 千 圓 券	四、三六七・二二三	四、三六七・八〇八	四、三六八・四九三	四、三六九・一七八	四、三六九・八六三
一 萬 圓 券	八、七三四・二四六	八、七三五・六一六	八、七三六・九八六	八、七三八・三五六	八、七三九・七二六

●事業ノ繰延、縮小又ハ整理ニ因リ解備セラルル職工ニ解備特別手當支給ニ關スル件

大正十三年五月十四日
勅令第百十五號

朕事業ノ繰延縮小又ハ整理ニ因リ解備セラルル職工ニ解備特別手當支給ニ關スル件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム
事業ノ繰延、縮小又ハ整理ニ因リ大正十三年五月中解備セラルル職工ニハ從來ノ例ニ依ラス所管大臣大藏大臣ト協議シテ定
ムル所ニ從ヒ解備特別手當ヲ支給スルコトヲ得
解備特別手當ハ大藏大臣ノ定ムル所ニ從ヒ國債ヲ以テ之ヲ交付スルコトヲ得

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●大正十三年勅令第百十五號ニ依リ解備特別手當ヲ國債ヲ以テ交付スル場合ニ於ケル國債ノ種類及交付價格ニ關ス

ル件

大正十三年五月十七日
大藏省令第十三號

大正十三年勅令第百十五號ニ依リ解備特別手當ヲ國債ヲ以テ交付スル場合ニ於ケル國債ノ種類及交付價格ニ關スル件左ノ通
定ム

大正十三年勅令第百十五號ニ依リ解備特別手當ヲ國債ヲ以テ交付スル場合ニ於テハ其ノ國債ハ五分利公債トシ交付價格ハ時
價ヲ參酌シテ之ヲ定ム

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●行政整理又ハ軍備整理ニ際シ退官退職シタル者等ニ交付スル公債發行ニ關スル件

大正十四年三月三十日
法律第二十四號

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル行政整理又ハ軍備整理ニ際シ退官退職シタル者等ニ交付スル公債發行ニ關スル法律ヲ裁可シ茲ニ
之ヲ公布セシム

今回ノ行政整理又ハ軍備整理ニ際シ退官若ハ退職シタル者、休職ヲ命セラレタル者、現役ヲ退カシメラレタル者、解職若ハ
解備セラレタル者等ニ特別ノ賜金又ハ手當トシテ交付スル爲政府ハ額面五千萬圓ヲ限リ公債ヲ發行スルコトヲ得

附則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第二類 內國債

事業ノ繰延等ニ因リ解備職工ニ特別手當支給ノ件 大正十三年勅令第百十五號
ニ依ル交付國債價格等 行政、軍備整理ニ際スル退職者等ニ交付公債ノ件

●行政整理又ハ軍備整理ニ際シ退官退職シタル者等ニ支給スル
特別ノ賜金又ハ手當ニ關スル件 大正十四年四月一日
勅令第四百十五號

朕行政整理又ハ軍備整理ニ際シ退官退職シタル者等ニ支給スル特別ノ賜金又ハ手當ニ關スル件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム
第一條 今回ノ行政整理又ハ軍備整理ニ際シ退官若ハ退職シ、休職ヲ命セラレ又ハ現役ヲ退カシメラレタル官吏又ハ官吏ノ
待遇ヲ受クル者ニハ特別ノ賜金ヲ支給スルコトヲ得

第二條 囑託員、雇員、傭人又ハ職工ニシテ今回ノ行政整理又ハ軍備整理ニ際シ解職又ハ解備セラレタル者ニハ通常解備ノ
場合國庫ヨリ支給スヘキ給與ノ例ニ依ラス特別ノ手當ヲ支給スルコトヲ得

第三條 前二條ノ規定ハ今回ノ行政整理又ハ軍備整理ニ際シ死亡シタル者ニシテ前二條ニ掲クル者ニ準スヘキモノニ付之ヲ
準用ス

第四條 前三條ノ規定スル特別ノ賜金又ハ手當ノ金額、其ノ支給ノ範圍及時期其ノ他支給ニ關スル事項ニ付テハ所管大臣大
藏大臣ト協議シテ之ヲ定ム

特別ノ賜金又ハ手當ハ大藏大臣ノ定ムル所ニ從ヒ國債ヲ以テ之ヲ交付スルコトヲ得

第五條 國庫ヨリ俸給ヲ受クル官吏又ハ官吏ノ待遇ヲ受クル者第一條又ハ第三條ノ規定ニ該當スル場合ニ於テ其ノ者カ大正
十三年十月二十日以後地方經濟ヨリ俸給ヲ受クル官吏又ハ官吏ノ待遇ヲ受クル者ヨリ轉任シタルモノナルトキハ之ニ支給
スル特別ノ賜金ハ當該地方經濟ノ負擔トス

第六條 地方經濟ヨリ俸給ヲ受クル官吏又ハ官吏ノ待遇ヲ受クル者第一條又ハ第三條ノ規定ニ該當スル場合ニ於テ之ニ支給

スル特別ノ賜金ハ當該地方經濟ノ負擔トス但シ其ノ者カ大正十三年十月二十日以後國庫ヨリ俸給ヲ受クル官吏又ハ官吏ノ
待遇ヲ受クル者ヨリ轉任シタルモノナルトキハ國庫ノ負擔トス

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●行政整理又ハ軍備整理ニ際シ退官退職シタル者等ニ交付スル
公債ノ發行交付ニ關スル規程 大正十四年四月四日
大藏省令第九號

大正十四年法律第二十四號ニ依ル公債ノ發行交付ニ關スル規程左ノ通定ム

行政整理又ハ軍備整理ニ際シ退官退職シタル者等ニ交付スル
公債ノ發行交付ニ關スル規程

第一條 政府ハ大正十四年法律第二十四號ニ依リ隨時五分利公債ヲ發行ス

第二條 本公債ノ額面金額ハ二十五圓、五十圓、百圓、五百圓、千圓、五千圓及一萬圓ノ七種トス

第三條 本公債ノ元金ハ發行ノ年ヨリ五年据置キ其ノ翌年ヨリ向五十年内ニ額面金額ヲ以テ之ヲ償還ス

第四條 本公債ノ利子ハ一年ニ付元金ノ百分ノ五トシ賜金又ハ手當ノ給與發令ノ日ヨリ之ヲ附ス

第五條 本公債ノ利子支拂期ハ毎年三月一日、六月一日、九月一日及十二月一日トス

第六條 本公債ノ交付價格ハ額面金額百圓ニ付八十三圓トス

第七條 所管各省ハ豫メ特別ノ賜金又ハ手當ノ給與ニ必要ナル公債額ヲ其ノ發令官廳及發令日附ノ異ナル毎ニ區分シ之ヲ大

藏省ニ通知スヘシ

第二類 內國債

行政、軍備整理ニ際シ退官退職シタル者等ニ支給スル特別手當ノ件
同上公債發行交付ニ關スル規程

第八條 特別ノ賜金又ハ手當ノ給與ヲ發令シタル官廳ハ其ノ受給者ヨリ公債交付請求書ヲ徵シ公債發行請求書(書式第一號)ヲ所管各省ヲ經由シテ大藏省ニ提出スヘシ

前項ノ公債發行請求書ハ賜金又ハ手當ノ給與發令日附ノ異ナル毎ニ別紙トシ受給者ノ氏名別内譯書(書式第二號)及取扱官吏印鑑ニ通ヲ添附スヘシ

第九條 大藏省前條ノ規定ニ依リ公債發行ノ請求ヲ受ケタルトキハ公債交付通知書(書式第三號)ヲ所管各省ヲ經由シテ請求官廳ニ交付ス

第十條 前條ノ規定ニ依リ公債交付通知書ノ交付ヲ受ケタル官廳ハ其ノ受領證欄ニ式ノ如ク記入シ日本銀行ニ提出シ之ヲ引換ニ公債ヲ受領スヘシ

附則

本令ハ大正十四年法律第二十四號施行ノ日ヨリ之ヲ適用ス(大正十四年三月三十日ヨリ施行)

書式第一號

大正十四年法律第二十四號ニ依ル公債發行請求書

一 五分利公債額面

圓也

(賜金又ハ手當ノ給與發令日大正 年 月 日)

内譯

圓券 枚

圓券 枚

右發行相成度別紙公債受給者氏名別内譯書及取扱官吏印鑑ニ通相添ヘ此段及請求候也

大正 年 月 日

官職 氏 名 印

大藏大臣宛

追テ公債ハ日本銀行 店ニ於テ交付相成度

書式第二號

公債受給者氏名別内譯書

受給者氏名	退職當時ノ官職名	給與發令日附	公債額面額

書式第三號

整理第	號	指定取扱店	日本銀行
受取人	(取扱官吏ノ官職氏名ヲ記ス)		
一五分利公債(號)額面			
但シ大正 年 月 日渡以降利札附屬及大正 年 月 日渡日割利札添附	此證券 枚		

第二類 内國債 行政、軍備整理ニ際シ退官退職シタル者等ニ交付スル公債ノ發行交付規程

右前記ノ指定取扱店ニ於テ之ヲ受取ルヘシ

大正 年 月 日

大藏省理財局長

前記ノ公債正ニ領收候也

大正 年 月 日

受取人

●昭和二年及三年ニ於ケル支那事件ニ關スル一時賜金トシテ
交付スル公債發行ニ關スル件 昭和四年四月二日
法律第四十一號

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル昭和二年及三年ニ於ケル支那事件ニ關スル一時賜金トシテ交付スル公債發行ニ關スル法律ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム
昭和二年及三年ニ於ケル支那事件ニ關スル一時賜金トシテ交付スル爲政府ハ額面五百四十萬圓ヲ限リ五分利附公債ヲ發行スルコトヲ得

附 則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●昭和二年二月ヨリ昭和三年四月迄ノ支那ノ騷亂ニ關シ功勞アル者ニ一時賜金ヲ賜與スル等ノ件 昭和四年五月九日
勅令第四百十七號

朕昭和二年二月ヨリ昭和三年四月迄ノ支那ノ騷亂ニ關シ功勞アル者ニ一時賜金ヲ賜與スル等ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

昭和二年二月ヨリ昭和三年四月迄ノ支那ノ騷亂ニ關シ功勞アル者ニハ一時賜金ヲ賜與スルコトヲ得

前項ノ一時賜金ハ公債證書ヲ以テ之ヲ交付スルコトヲ得

前項公債證書ノ交付ニ關スル事項ハ大藏大臣之ヲ定ム

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●昭和二年及三年ニ於ケル支那事件ニ關スル一時賜金公債發行
交付規程 昭和五年一月二十五日
大藏省令第二號

昭和二年及三年ニ於ケル支那事件ニ關スル一時賜金公債發行交付ニ關スル規程左ノ通定ム

第二類 内國債

昭和二、三年ニ於ケル支那事件ノ一時賜金公債發行ノ件 昭和二年二月ヨリ昭和三年四月迄ノ支那騷亂ニ關スル功勞者ニ一時賜金賜與 同上公債發行交付規程

昭和二年及三年ニ於ケル支那事件ニ關スル一時賜金公債發行交付規程

- 第一條 政府ハ昭和四年法律第四十一號ニ依リ五分利公債ヲ發行ス
- 第二條 本公債ノ元金ハ發行ノ年ヨリ五年据置キ其ノ翌年ヨリ五十年内ニ額面金額ヲ以テ之ヲ償還ス
- 第三條 本公債ノ利子ハ賜金給與發令ノ日ヨリ之ヲ附ス
- 第四條 本公債ノ交付價格ハ額面百圓ニ付九十三圓トス
- 第五條 賜金給與ノ辭令書ヲ受ケタル者ハ辭令書ト同時ニ交付ヲ受ケタル請求書用紙ニ所定ノ記入ヲ爲シ陸軍省及各省(海軍省ヲ除ク)所屬ノモノニ在リテハ陸軍省經理局主計課ニ、海軍省所屬ノモノニ在リテハ海軍省經理局ニ提出スヘシ
- 第六條 陸軍省又ハ海軍省前條ノ公債交付請求書ヲ受理シタルトキハ公債發行請求書(書式第一號)ヲ大藏省ニ提出スヘシ
前項ノ公債發行請求書ニハ受給者ノ氏名別内譯書(書式第二號)及取扱官吏ノ印鑑ヲ添附スヘシ
陸軍省又ハ海軍省ハ本公債ニ關スル取扱官吏ヲ定メ豫メ之ヲ大藏省ニ通知スヘシ
- 第七條 大藏省前條ノ規定ニ依リ公債發行ノ請求ヲ受ケタルトキハ公債交付通知書(書式第三號)ヲ請求官廳ニ交付ス
- 第八條 前條ノ規定ニ依リ公債交付通知書ノ交付ヲ受ケタル官廳ハ該公債交付通知書ノ受領證欄ニ所定ノ記入ヲ爲シ日本銀行ニ提出シ之ヲ引換ニ公債ヲ受領スヘシ
- 第九條 前條ノ規定ニ依リ公債ヲ受領シタル官廳ハ之ヲ各受給者ニ交付シ毎月末日迄ニ前月中受給者ニ交付ヲ了シタル階級別給與人員及其ノ給與額ヲ大藏省ニ通知スヘシ

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

書式第一號

昭和二年及三年ニ於ケル支那事件ニ關スル一時賜金公債發行請求書

一五分利公債(號)額面 何 圓也

内 譯

何 圓券 何 枚

何 圓券 何 枚

但シ受給者氏名別内譯別紙ノ通

公債交付指定取扱店 日本銀行本店(又ハ何支店、何代理店)

右發行相成度候也

年 月 日

官 職 氏 名 印

大藏大臣宛

書式第二號

公債受給者氏名別内譯書

受給者氏名	官職(身分)	給與發令日	賜金給與額	公債額面額

書式第三號(表面)

第二類 内國債 昭和二年及三年ニ於ケル支那事件ニ關スル一時賜金公債發行交付規程

交 付 通 知 書 領 收 證

第 一 五 分 利 公 債 (號) 額 面	指 定 日 本 銀 行	受 取 人 (取 扱 官 吏 ノ 官 職 氏 名 ヲ 記 ス)
但 シ 昭 和 年 月 日 渡 以 降 利 札 附 屬 及 日 割 利 札 添 附	取 扱 店	大 藏 大 臣
右 昭 和 四 年 法 律 第 四 十 一 號 ニ 依 リ 發 行 ス 前 記 指 定 ノ 取 扱 店 ニ テ 之 ヲ 受 取 ル ヘ シ	此 證 券 枚	
昭 和 年 月 日		
前 記 ノ 公 債 正 ニ 領 收 候 也		受 取 人
昭 和 年 月 日		

書式第三號(裏面)

(注 意)

- 一、受取人ハ表面領收證ノ部ニ年月日官廳名及官職氏名ヲ記入シ捺印ノ上公債領收ノ證トシテ之ヲ指定ノ取扱店ニ差出シ公債ノ交付ヲ受クヘシ
- 一、受取人ノ印章ハ請求書ニ添附セシ印鑑ト同一ノモノニ限ル

●「ロンドン」海軍條約實施ニ伴フ海軍職工整理ニ
關スル公債發行ニ關スル件

昭和六年四月一日
法律第四十五號

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル「ロンドン」海軍條約實施ニ伴フ海軍職工整理ニ關スル公債發行ニ關スル法律ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

昭和六年條約第一號千九百三十年「ロンドン」海軍條約ノ實施ニ伴フ艦艇建造ニ關スル經費ノ減少ニ基キ解備セラレタル海軍職工ニ特別ノ手當トシテ交付スル爲政府ハ額面六百八十萬圓ヲ限り公債ヲ發行スルコトヲ得

附 則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●「ロンドン」海軍條約ノ實施ニ伴ヒ解備セラレタル
海軍職工ニ特別手當支給ニ關スル件

昭和六年四月一日
勅令第四十四號

朕「ロンドン」海軍條約ノ實施ニ伴ヒ解備セラレタル海軍職工ニ特別手當支給ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム
昭和六年條約第一號千九百三十年「ロンドン」海軍條約ノ實施ニ伴フ艦艇建造ニ關スル經費ノ減少ニ基キ解備セラレタル海軍職工ニハ所管大臣大藏大臣ト協議シテ定ムル所ニ從ヒ特別ノ手當ヲ支給スルコトヲ得
前項ノ手當ハ大藏大臣ノ定ムル所ニ從ヒ國債ヲ以テ之ヲ交付スルコトヲ得

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第二類 內國債

「ロンドン」海軍條約實施ニ伴フ海軍職工整理公債發行ノ件
「ロンドン」海軍條約實施ニ伴ヒ解備ノ海軍職工ニ特別手當支給ノ件

● 行政整理又ハ軍備整理ニ際シ退官退職シタル者等ニ
交付スル公債発行ニ關スル件

昭和七年六月十八日
法律第七號

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル行政整理又ハ軍備整理ニ際シ退官退職シタル者等ニ交付スル公債発行ニ關スル法律ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

今回ノ行政整理又ハ軍備整理ニ際シ退官若ハ退職シタル者、休職ヲ命ゼラレタル者、現役ヲ退カシメラレタル者、解職若ハ解備セラレタル者等ニ特別ノ賜金又ハ手當トシテ交付スル爲政府ハ額面二千五百四十萬圓ヲ限り公債ヲ發行スルコトヲ得

附則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

● 行政整理又ハ軍備整理ニ際シ退官退職シタル者等ニ
支給スル特別ノ賜金又ハ手當ニ關スル件

昭和七年六月十八日
勅令第八十八號

朕行政整理又ハ軍備整理ニ際シ退官退職シタル者等ニ支給スル特別ノ賜金又ハ手當ニ關スル件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム
第一條 今回ノ行政整理又ハ軍備整理ニ際シ退官若ハ退職シ、休職ヲ命ゼラレ又ハ現役ヲ退カシメラレタル官吏又ハ官吏ノ待遇ヲ受クル者ニハ特別ノ賜金ヲ支給スルコトヲ得

第二條 囑託員、雇員、傭人又ハ職工ニシテ今回ノ行政整理又ハ軍備整理ニ際シ解職又ハ解備セラレタル者ニハ通常解備ノ場合國庫ヨリ支給スベキ給與ノ例ニ依ラズ特別ノ手當ヲ支給スルコトヲ得

第三條 前二條ノ規定ハ今回ノ行政整理又ハ軍備整理ニ際シ死亡シタル者ニシテ前二條ニ掲グル者ニ準ズベキモノニ付之ヲ準用ス

第四條 前三條ニ規定スル特別ノ賜金又ハ手當ノ金額、其ノ支給ノ範圍及時期其ノ他支給ニ關スル事項ニ付テハ所管大臣大藏大臣ト協議シテ之ヲ定ム

特別ノ賜金又ハ手當ハ大藏大臣ノ定ムル所ニ從ヒ國債ヲ以テ之ヲ交付スルコトヲ得

第五條 國庫ヨリ俸給ヲ受クル官吏又ハ官吏ノ待遇ヲ受クル者第一條又ハ第三條ノ規定ニ該當スル場合ニ於テ其ノ者ガ昭和六年十一月九日以後地方經濟ヨリ俸給ヲ受クル官吏又ハ官吏ノ待遇ヲ受クル者ヨリ轉任シタルモノナルトキハ之ニ支給スル特別ノ賜金ハ當該地方經濟ノ負擔トス

第六條 地方經濟ヨリ俸給ヲ受クル官吏又ハ官吏ノ待遇ヲ受クル者第一條又ハ第三條ノ規定ニ該當スル場合ニ於テ之ニ支給スル特別ノ賜金ハ當該地方經濟ノ負擔トス但シ其ノ者ガ昭和六年十一月九日以後國庫ヨリ俸給ヲ受クル官吏又ハ官吏ノ待遇ヲ受クル者ヨリ轉任シタルモノナルトキハ國庫ノ負擔トス

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

● 行政整理又ハ軍備整理ニ際シ退官退職シタル者等ニ
交付スル公債ノ發行交付ニ關スル規程

昭和七年六月二十日
大藏省令第九號

昭和七年法律第七號ニ依ル公債ノ發行交付ニ關スル規程左ノ通定ム

第二類 內國債

行政、軍備整理ニ際スル退官者等ニ交付スル公債發行
同上ニ對シ支給スル特別賜金手當ノ件 同上ニ對スル公債發行交付規程

行政整理又ハ軍備整理ニ際シ退官退職シタル者等ニ交付スル
公債ノ發行交付ニ關スル規程

- 第一條 政府ハ昭和七年法律第七號ニ依リ五分利公債ヲ發行ス
- 第二條 本公債ノ額面金額ハ二十五圓、五十圓、百圓、五百圓、千圓、五千圓及一萬圓ノ七種トス
- 第三條 本公債ノ元金ハ發行ノ年ヨリ五年据置キ其ノ翌年ヨリ五十年内ニ額面金額ヲ以テ之ヲ償還ス
- 第四條 本公債ノ利率ハ年五分トシ賜金又ハ手當ノ給與發令ノ日ヨリ之ヲ附ス
- 第五條 本公債ノ交付價格ハ額面金額百圓ニ付八十六圓八十錢トス
- 第六條 特別ノ賜金又ハ手當ノ給與ヲ發令シタル官廳ハ其ノ受給者ヨリ公債交付請求書ヲ徵シ公債發行請求書(書式第一號)ヲ所管各省ヲ經由シテ大藏省ニ提出スヘシ
- 前項ノ公債發行請求書ハ賜金又ハ手當ノ給與發令日附ノ異ナル毎ニ別紙トシ受給者ノ氏名別内譯書(書式第二號)及取扱官吏印鑑ニ通ヲ添附スヘシ
- 請求官廳ハ本公債ニ關スル取扱官吏ヲ定メ所管各省ヲ經由シテ豫メ之ヲ大藏省ニ通知スヘシ
- 第七條 大藏省前條ノ規定ニ依リ公債發行ノ請求ヲ受ケタルトキハ公債交付通知書(書式第三號)ヲ所管各省ヲ經由シテ請求官廳ニ交付ス
- 第八條 前條ノ規定ニ依リ公債交付通知書ノ交付ヲ受ケタル官廳ハ其ノ領收證欄ニ所定ノ記入ヲ爲シ日本銀行ニ提出シ之ト引換ニ公債ヲ受領スヘシ
- 附則
- 本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス
- 書式第一號

昭和七年法律第七號ニ依ル公債發行請求書
一五分利公債額面 圓也

(賜金又ハ手當ノ給與發令日昭和 年 月 日)
内 譯

圓券 枚
圓券 枚

但シ受給者氏名別内譯別紙ノ通
公債交付指定取扱店 日本銀行本店(又ハ何支店、何代理店)
右發行相成度取扱官吏印鑑ニ通相添ヘ此段及請求候也

昭和 年 月 日
官職 氏 名 印

大 藏 大 臣 宛

書式第二號

公債受給者氏名別内譯書

受 給 者 氏 名	退職當時ノ官職名	給與發令日附	公債額面額

第二類 内國債 行政、軍備整理ニ際スル退官者等ニ交付スル公債發行交付規程

第	號	指定	店	受取人 (取扱官吏 官職氏名)
		取扱店	日本銀行	
一五分利公債(第		回)額面	圓也	
此證券 枚				
但シ昭和 年 月 日渡以降利札附屬及日割利札添附				
右昭和七年法律第七號ニ依リ發行ス前記指定ノ取扱店ニテ之ヲ受取ルヘシ				
昭和 年 月 日			大 藏 大 臣	
前記ノ公債正ニ領收候也				
昭和 年 月 日			受取人	

書 知 通 付 交

證 收 領

書式第三號(裏面)

(注意)

- 一、受取人ハ表面領收證ノ部ニ年月日官廳名及官職氏名ヲ記入シ捺印ノ上公債領收ノ證トシテ之ヲ指定ノ取扱店ニ差出シ公債ノ交付ヲ受クヘシ
- 一、受取人ノ印章ハ請求書ニ添附セシ印鑑ト同一ノモノニ限ル

●滿洲事件ニ關スル一時賜金トシテ交付スル

公債發行ニ關スル件

昭和九年三月二十日 法律第七號

改正 (一) 昭和十一年五月二十六日 法律第六號

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル滿洲事件ニ關スル一時賜金トシテ交付スル公債發行ニ關スル法律ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム
滿洲事件ニ關スル一時賜金トシテ交付スル爲政府ハ額面五千八百四十萬圓ヲ限リ公債ヲ發行スルコトヲ得(一)

附 則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

○昭和十一年法律第六號附則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●滿洲事件ニ關スル一時賜金公債發行交付規程

昭和九年七月十日 大藏省令第二十二號

改正 (一) 昭和十一年十月二十二日 大藏省令第三十三號

(二) 昭和十三年五月十一日 大藏省令第二十七號

滿洲事件ニ關スル一時賜金公債發行交付ニ關スル規程左ノ通定ム

滿洲事件ニ關スル一時賜金公債發行交付規程

第一條 政府ハ昭和九年法律第七號ニ依リ四分利公債又ハ三分半利公債ヲ發行ス(一)

第一條ノ二 四分利公債ハ昭和十一年三月三十一日以前賜金給與ノ發令アリタルモノニ對シ之ヲ交付シ三分半利公債ハ昭和十一年四月一日以後賜金給與ノ發令アリタルモノニ對シ之ヲ交付ス(一追加)

第二類 內國債 滿洲事件ニ關スル一時賜金公債發行ノ件 同上發行交付規程

第二條 本公債ノ額面金額ハ二十五圓、五十圓、百圓、五百圓、千圓、五千圓及一萬圓ノ七種トス

第三條 本公債ノ元金ハ發行ノ年ヨリ五年据置キ其ノ翌年ヨリ三十年内ニ額面金額ヲ以テ之ヲ償還ス

第四條 本公債ノ利率ハ年四分又ハ年三分五厘トス(一)

第五條 本公債ノ利子ハ賜金給與ノ發令ノ日ヨリ之ヲ附ス但シ昭和九年四月二十八日以前賜金給與ノ發令ノモノニ在リテハ

昭和九年四月二十九日ヨリ之ヲ附ス(一)

第六條 本公債ノ利子支拂期ハ毎年六月一日及十二月一日トス

第七條 四分利公債ノ交付價格ハ額面百圓ニ付九十八圓五十錢トス

三分半利公債ノ交付價格ハ昭和十二年七月六日以前賜金給與ノ發令ノモノニ在リテハ額面百圓ニ付九十六圓四十錢、昭和

十二年七月七日賜金給與ノ發令ノモノニ在リテハ額面百圓ニ付九十六圓九十錢トス(一、二)

第八條 賜金給與ノ辭令書ヲ受ケタル者ハ辭令書ト同時ニ交付ヲ受ケタル請求書用紙ニ所定ノ記入ヲ爲シ陸軍省及各省(海

軍省ヲ除ク)所屬ノ者ニ在リテハ陸軍省經理局ニ、海軍省所屬ノ者ニ在リテハ海軍省經理局ニ提出スヘシ

第九條 陸軍省又ハ海軍省前條ノ公債交付請求書ヲ受理シタルトキハ公債發行請求書(書式第一號)ヲ大藏省ニ提出スヘシ

前項ノ公債發行請求書ニハ受給者ノ氏名別内譯書(書式第二號)及取扱官吏ノ印鑑ヲ添附スヘシ

陸軍省又ハ海軍省ハ本公債ニ關スル取扱官吏ヲ定メ豫メ之ヲ大藏省ニ通知スヘシ

第十條 大藏省前條ノ規定ニ依リ公債發行ノ請求ヲ受ケタルトキハ公債交付通知書(書式第三號)ヲ請求官廳ニ交付ス

第十一條 前條ノ規定ニ依リ公債交付通知書ノ交付ヲ受ケタル官廳ハ該公債交付通知書ノ領收證欄ニ所定ノ記入ヲ爲シ日本

銀行ニ提出シ之ト引換ニ公債ヲ受領スヘシ

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

○昭和十一年大藏省令第三十三號附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

○昭和十三年大藏省令第二十七號附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

書式第一號(一)

滿洲事件ニ關スル一時賜金公債發行請求書

一何	公債(號)	額面	何	圓也
	内譯			
何	圓券		何	枚
何	圓券		何	枚

但シ受給者氏名別内譯別紙ノ通

公債交付指定取扱店 日本銀行本店(又ハ何支店、何代理店)

右發行相成度候也

年月日

官職氏

名印

大藏大臣宛

第二類・内國債 滿洲事件ニ關スル一時賜金公債發行交付規程

公債受給者氏名別内譯書

受給者氏名	官職(身分)	給與發令日	賜金給與額	公債額面額

書式第三號(表面)(一)

第	號	指定店	日本銀行	受取人 (取扱官吏ノ官職氏名ヲ記ス)
一何公債(號)額面 圓也				
但シ昭和 年 月 日 渡以降利札附屬及日割利札添附				
右昭和九年法律第七號ニ依リ發行ス前記指定ノ取扱店ニテ之ヲ受取ルヘシ				
昭和 年 月 日				
此證券 枚				
大藏大臣				
前記ノ公債正ニ領收候也				
昭和 年 月 日				
受取人				

書 知 通 付 交

書 收 領

書式第三號(裏面)

(注意)

- 一、受取人ハ表面領收證ノ部ニ年月日官廳名及官職氏名ヲ記入シ捺印ノ上公債領收ノ證トシテ之ヲ指定ノ取扱店ニ差出シ公債ノ交付ヲ受クヘシ
- 一、受取人ノ印章ハ請求書ニ添附セシ印鑑ト同一ノモノニ限ル

●帝國ノ滿洲國ニ於ケル治外法權ノ撤廢及南滿洲鐵道
 附屬地行政權ノ調整乃至移讓ニ伴ヒ退官退職シタル
 者等ニ交付スル公債發行ニ關スル件

昭和十二年四月一日
法律第三十六號

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル帝國ノ滿洲國ニ於ケル治外法權ノ撤廢及南滿洲鐵道附屬地行政權ノ調整乃至移讓ニ伴ヒ退官退職シタル者等ニ交付スル公債發行ニ關スル法律ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

帝國ノ滿洲國ニ於ケル治外法權ノ撤廢及南滿洲鐵道附屬地行政權ノ調整乃至移讓ニ伴ヒ退官又ハ退職シタル者、休職ヲ命ゼラレタル者、解職又ハ解備セラレタル者等ニ特別ノ賜金又ハ手當トシテ交付スル爲政府ハ額面四百萬圓ヲ限リ公債ヲ發行スルコトヲ得

附 則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第二類 内國債 帝國ノ滿洲國ニ於ケル治外法權ノ撤廢等ニ伴フ退官者等ニ交付スル公債發行ノ件 二二三

●帝國ノ滿洲國ニ於ケル治外法權ノ撤廢及南滿洲鐵道附屬地行政權ノ調整乃至移讓ニ伴ヒ退官退職シタル者等ニ支給スル特別ノ賜金又ハ手當ニ關スル件

昭和十二年九月三日
勅令第四百七十五號

朕帝國ノ滿洲國ニ於ケル治外法權ノ撤廢及南滿洲鐵道附屬地行政權ノ調整乃至移讓ニ伴ヒ退官退職シタル者等ニ支給スル特別ノ賜金又ハ手當ニ關スル件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

第一條 帝國ノ滿洲國ニ於ケル治外法權ノ撤廢及南滿洲鐵道附屬地行政權ノ調整乃至移讓ニ伴ヒ退官若ハ退職シ又ハ休職ヲ命ゼラレタル官吏又ハ官吏ノ待遇ヲ受クル者ニハ特別ノ賜金ヲ支給スルコトヲ得

第二條 囑託員、雇員又ハ傭人ニシテ帝國ノ滿洲國ニ於ケル治外法權ノ撤廢及南滿洲鐵道附屬地行政權ノ調整乃至移讓ニ伴ヒ解職又ハ解備セラレタル者ニハ通常解職又ハ解備ノ場合國庫ヨリ支給スベキ給與ノ例ニ依ラズ特別ノ手當ヲ支給スルコトヲ得

第三條 前二條ノ規定ハ帝國ノ滿洲國ニ於ケル治外法權ノ撤廢及南滿洲鐵道附屬地行政權ノ調整乃至移讓ニ際シ死亡シタル者ニシテ前二條ニ掲グル者ニ準ズベキモノニ付之ヲ準用ス

第四條 前三條ニ規定スル特別ノ賜金又ハ手當ノ金額、其ノ支給ノ範圍及時期其ノ他支給ニ關スル事項ニ付テハ所管大臣大藏大臣ト協議シテ之ヲ定ム

特別ノ賜金又ハ手當ハ大藏大臣ノ定ムル所ニ從ヒ國債證券ヲ以テ之ヲ交付スルコトヲ得

第五條 國庫ヨリ俸給ヲ受クル官吏又ハ官吏ノ待遇ヲ受クル者第一條又ハ第三條ノ規定ニ該當スル場合ニ於テ其ノ者ガ昭和十二年九月一日以後地方經濟ヨリ俸給ヲ受クル官吏又ハ官吏ノ待遇ヲ受クル者ヨリ轉任シタルモノナルトキハ之ニ支給ス

ル特別ノ賜金ハ當該地方經濟ノ負擔トス

第六條 地方經濟ヨリ俸給ヲ受クル官吏又ハ官吏ノ待遇ヲ受クル者第一條又ハ第三條ノ規定ニ該當スル場合ニ於テ之ニ支給スル特別ノ賜金ハ當該地方經濟ノ負擔トス但シ其ノ者ガ昭和十二年九月一日以後國庫ヨリ俸給ヲ受クル官吏又ハ官吏ノ待遇ヲ受クル者ヨリ轉任シタルモノナルトキハ國庫ノ負擔トス

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●帝國ノ滿洲國ニ於ケル治外法權ノ撤廢及南滿洲鐵道附屬地行政權ノ調整乃至移讓ニ伴ヒ退官退職シタル者等ニ交付スル公債ノ發行交付ニ關スル件

昭和十二年十一月四日
大藏省令第四十九號

帝國ノ滿洲國ニ於ケル治外法權ノ撤廢及南滿洲鐵道附屬地行政權ノ調整乃至移讓ニ伴ヒ退官退職シタル者等ニ交付スル公債ノ發行交付ニ關スル件左ノ通定ム

第一條 政府ハ昭和十二年法律第三十六號ニ依リ三分半利公債ヲ發行ス

第二條 本公債ノ額面金額ハ二十五圓、五十圓、百圓、五百圓、千圓、五千圓及一萬圓ノ七種トス

第三條 本公債ノ元金ハ發行ノ年ヨリ五年据置キ其ノ翌年ヨリ三十年内ニ額面金額ヲ以テ之ヲ償還ス

第四條 本公債ノ利率ハ年三分五厘トス

第五條 本公債ノ利子ハ賜金又ハ手當ノ給與發令ノ日ヨリ之ヲ附ス

第六條 本公債ノ利子支拂期ハ毎年六月一日及十二月一日ノ二回トス

第二類 內國債

帝國ノ滿洲國ニ於ケル治外法權ノ撤廢等ニ伴フ退官者等ニ支給スル特別賜金等ノ件 同上公債發行交付ノ件

第七條 本公債ノ交付價格ハ額面金額百圓ニ付九十六圓九十錢トス

第八條 特別ノ賜金又ハ手當ノ給與ヲ發令シタル官廳ハ其ノ受給者ヨリ公債交付請求書ヲ徴シ公債發行請求書(第一號書式)ヲ所管各省ヲ經由シテ大藏省ニ提出スベシ

前項ノ公債發行請求書ハ賜金又ハ手當ノ給與發令日附ノ異ナル毎ニ別紙トシ受給者ノ氏名別内譯書(第二號書式)及取扱官吏ノ印鑑ニ通テ添附スベシ

請求官廳ハ本公債ニ關スル取扱官吏ヲ定メ所管各省ヲ經由シテ豫メ之ヲ大藏省ニ通知スベシ

第九條 大藏省前條ノ規定ニ依リ公債發行ノ請求ヲ受ケタルトキハ公債交付通知書(第三號書式)ヲ所管各省ヲ經由シテ請求官廳ニ交付ス

第十條 前條ノ規定ニ依リ公債交付通知書ノ交付ヲ受ケタル官廳ハ該公債交付通知書ノ領收證欄ニ所定ノ記入ヲ爲シ日本銀行ニ提出シ之ヲ引換ニ公債ヲ受領スベシ

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第一號書式

昭和十二年法律第三十六號ニ依ル公債發行請求書

一 三分半利公債額面

圓也

(賜金又ハ手當ノ給與發令日昭和 年 月 日)

内 譯

圓券 枚

圓券 枚

但シ受給者氏名別内譯別紙ノ通

公債交付指定取扱店 日本銀行本店(又ハ何支店、何代理店)

右發行相成度取扱官吏ノ印鑑ニ通相添へ此段及請求候也

昭和 年 月 日

官職 氏 名印

大藏大臣宛

第二號書式

公債受給者氏名別内譯書

受給者氏名	退職當時ノ官職名	給與發令日附	公債額面額

第二類 内國債

帝國ノ滿洲國ニ於ケル治外法權ノ撤廢等ニ伴フ退官者等ニ交付スル公債發行交付ノ件

交 付 通 知 書 領 收 證

第	號	指 定 取 扱 店	日 本 銀 行	店	受 取 人 (取 扱 官 吏 官 職 氏 名)
一三分半利公債(號)額面		圓也		此證券 枚	
但シ昭和 年 月 日渡以降利札附屬及日割利札添附					
右昭和十二年法律第三十六號ニ依リ發行ス前記指定ノ取扱店ニテ之ヲ受取ルベシ					
昭和 年 月 日					
前記ノ公債正ニ領收候也					
昭和 年 月 日					
受 取 人					
大 藏 大 臣					

第三號書式(裏面)

(注 意)

- 一、受取人ハ表面領收證ノ部ニ年月日官廳名及官職氏名ヲ記入シ捺印ノ上公債領收ノ證トシテ之ヲ指定ノ取扱店ニ差出シ公債ノ交付ヲ受クベシ
- 一、受取人ノ印章ハ請求書ニ添附セシ印鑑ト同一ノモノニ限ル

● 日本銀行ノ手形割引ニ因ル損失ノ補償ニ

關スル件

大正十二年九月二十七日
勅令第四百二十四號

朕樞密顧問ノ諮詢ヲ經テ帝國憲法第七十條第一項ニ依リ日本銀行ノ手形ノ割引ニ因ル損失ノ補償ニ關スル財政上必要處分ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

政府ハ日本銀行カ左ノ各號ノ一ニ該當スル手形ニシテ大正十四年九月三十日以前ノ滿期日ヲ有スルモノノ割引ヲ爲シ之ニ因リテ損失ヲ受ケタル場合ニ於テ壹億圓ヲ限り同行ニ對シ其ノ損失ヲ補償スルノ契約ヲ爲スコトヲ得但シ第一號乃至第三號ニ規定スル手形ノ割引ハ大正十三年三月三十一日迄ニ爲シタルモノニ限ル

一 震災地(東京府、神奈川縣、埼玉縣、千葉縣及靜岡縣ヲ謂フ以下同シ)ヲ支拂地トスル手形又ハ震災地ニ震災ノ當時營業所ヲ有シタル者ノ振出シタル手形若ハ之ヲ支拂人トスル手形ニシテ大正十二年九月一日以前ニ銀行ノ割引シタルモノ

二 前號ニ規定スル手形ノ書換ノ爲ニ振出シタル手形

三 前二號ニ規定スル手形又ハ震災地ニ營業所ヲ有スル銀行カ他ノ銀行ニ對シ大正十二年九月一日以前ニ發行シタル預金證書若ハ「コールローン」ノ證書ヲ擔保トシテ銀行ノ振出シタル手形

四 前三號ニ規定スル手形ニシテ日本銀行ノ割引シタルモノノ書換ノ爲ニ振出シタル手形

日本銀行ハ本令ニ依リテ爲ス手形ノ割引ニ付政府ノ監督ヲ受クヘシ

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第二類 内國債 日本銀行ノ手形割引ニ因ル損失ノ補償ニ關スル件

●日本銀行ノ手形割引ニ因ル損失ノ補償ニ 關スル件

大正十四年三月三十日
法律第三十五號

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル日本銀行ノ手形割引ニ因ル損失ノ補償ニ關スル法律ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム
政府ハ日本銀行カ大正十二年勅令第四百二十四號第一項第四號ニ該當スル手形ニシテ大正十四年十月一日ヨリ大正十五年九
月三十日迄ノ間ニ於ケル満期日ヲ有スルモノノ割引ヲ爲シ之ニ因リテ損失ヲ受ケタル場合ニ於テ同行ニ對シ其ノ損失ヲ補償
スルノ契約ヲ爲スコトヲ得

前項補償金額ハ大正十二年勅令第四百二十四號ニ依ル補償金額ト合シテ一億圓ヲ超ユルコトヲ得ス
日本銀行ハ本法ニ依リテ爲ス手形ノ割引ニ付政府ノ監督ヲ受クヘシ

●震災手形損失補償公債法

昭和二年三月三十日
法律第十九號

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル震災手形損失補償公債法ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

震災手形損失補償公債法

- 第一條 大正十二年勅令第四百二十四號及大正十四年法律第三十五號ニ依ル契約ニ基キ政府カ日本銀行ニ對シテ支拂フヘキ
損失補償金ハ五分利附國債證券ヲ以テ之ヲ交付ス
- 第二條 政府ハ前條ノ規定ニ依リ交付スル爲一億圓ヲ限リ公債ヲ發行スルコトヲ得
- 第三條 前條ノ規定ニ依リ發行スル公債ノ交付價額カ一億圓ニ達セサルトキハ其ノ差額ヲ補填スル爲前條ノ制限以外ニ公債
ヲ發行スルコトヲ得
- 第四條 本法ニ依リ交付スル國債證券ノ交付價格ハ時價ヲ參酌シテ大藏大臣之ヲ定ム

●震災手形善後處理法

昭和二年三月三十日
法律第二十號

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル震災手形善後處理法ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

震災手形善後處理法

- 第一條 本法ニ於テ震災手形ト稱スルハ大正十二年勅令第四百二十四號第一項第四號ニ該當スル手形ヲ謂フ
- 第二條 政府ハ昭和二年九月三十日ニ於テ日本銀行ヨリ震災手形ノ割引ヲ受ケ居ル銀行(以下震災手形所持銀行ト稱ス)ニ對
シ該震災手形ノ整理ヲ爲サシムル爲本法ノ定ムル所ニ依リ貸付金ヲ爲スコトヲ得
- 前項ノ貸付金ハ五分利附國債證券ヲ以テ之ヲ交付ス
- 第三條 政府ハ前條ノ規定ニ依リ交付スル爲必要ナル額ヲ限度トシ公債ヲ發行スルコトヲ得但シ其ノ總額ハ震災手形損失補
償公債法ニ依リ發行スル公債ト通シテ二億七百萬圓ヲ超ユルコトヲ得ス
- 第四條 前條並震災手形損失補償公債法第二條及第三條ノ規定ニ依リ發行スル公債ノ交付價額カ通シテ二億七百萬圓ニ達セ
サルトキハ其ノ差額ヲ補填スル爲前條ノ制限以外ニ公債ヲ發行スルコトヲ得
- 第五條 本法ニ依リ交付スル國債證券ノ交付價格ハ時價ヲ參酌シテ大藏大臣之ヲ定ム
- 第六條 第二條ノ貸付ハ震災手形所持銀行カ其ノ震災手形債務者トノ間ニ其ノ手形債務ヲ更改スル爲十年以内ノ年賦償還貸
付契約ヲ締結シタル場合ニ非サレハ之ヲ爲サス
- 第七條 第二條ノ貸付ノ期限ハ十年以内トシ其ノ利率ハ年五分以上トス
- 前項ノ外貸付金ニ關シテハ大藏大臣之ヲ定ム
- 第八條 第二條ノ貸付ノ辨濟金ニ相當スル金額ハ國債整理基金特別會計法第二條ノ規定ニ依ル繰入ノ外本法ニ依リ發行シタ
ル公債ノ償還ニ充ツル爲之ヲ一般會計ヨリ國債整理基金特別會計ニ繰入ルヘシ但シ本法ニ依リ發行シタル公債ノ前年度首

第二類 內國債

日本銀行ノ手形割引ニ因ル損失補償 震災手形損失補償公債法
震災手形善後處理法

ニ於ケル未償還額ノ萬分ノ百十六ニ相當スル金額ニ付テハ此ノ限リニ在ラス

第九條 第二條ノ貸付ニ關スル事務ハ日本銀行ヲシテ之ヲ取扱ハシム

前項ノ事務ノ取扱ニ要スル經費ハ日本銀行ノ負擔トス

第十條 震災手形所持銀行ニ對シ第二條ノ貸付確定前ニ於テ日本銀行カ昭和二年十月一日ヨリ同年十一月三十日迄ノ間ニ於ケル満期日ヲ有スル震災手形ヲ割引キタルトキハ該震災手形ニ關シテハ大正十四年法律第三十五號ヲ準用ス

前項ノ規定ニ依ル契約ニ基キ政府カ日本銀行ニ對シテ爲スヘキ損失補償ニ關シテハ第三條及第四條ノ規定竝震災手形損失補償公債法ヲ準用ス

●日本銀行特別融通及損失補償法

昭和二年五月九日
法律第五十五號

改正(一)昭和九年三月二十九日

(二)昭和十一年五月二十六日

法律第八號

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル日本銀行特別融通及損失補償法ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

日本銀行特別融通及損失補償法

第一條 日本銀行ハ現ニ預金ノ拂戻停止中ニ非ザル銀行ヨリ其ノ預金(定期積金ヲ含ム)ノ支拂準備ニ充ツル爲資金融通ノ請求アリタル場合ニ於テ財界ノ安定ヲ圖ル爲必要アリト認ムルトキハ之ニ對シ手形割引ノ方法ニ依リ大藏大臣ノ定ムル特別融通ヲ爲スコトヲ得

現ニ預金ノ拂戻停止中ノ銀行ニシテ將來營業繼續ノ見込アルモノニ付テハ前項ノ規定ヲ適用ス

日本銀行ガ前二項ノ特別融通ヲ爲スニ付テハ特別融通審査會ノ議ヲ經ルコトヲ要ス

特別融通審査會ノ組織及權限ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第二條 日本銀行ガ前條ノ特別融通ノ爲ニスル手形割引ヲ爲スコトヲ得ル期間ハ本法施行ノ日ヨリ一年トス

第三條 第一條ノ特別融通ノ爲ニスル手形ノ書換ノ爲ニ振出シタル手形ノ割引ニ依ル特別融通ノ期限ハ本法施行ノ日ヨリ二十年ヲ超ユルコトヲ得ズ(二)

第四條 政府ハ本法ニ依ル特別融通ニ因リテ日本銀行ガ損失ヲ受ケタルトキハ同行ニ對シ五億圓ヲ限リ其ノ損失ヲ補償スルノ契約ヲ爲スコトヲ得

前項ノ損失ヲ決定スル基準ハ大藏大臣之ヲ定ム

第五條 本法ニ依ル特別融通ニ因リテ日本銀行ノ受ケタル損失及其ノ額ハ特別融通損失審査會之ヲ決定ス

特別融通損失審査會ノ組織及權限ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第六條 第四條第一項ノ契約ニ基キ政府ガ日本銀行ニ對シテ支拂フベキ損失補償金ハ國債證券ヲ以テ之ヲ交付スルコトヲ得(一)

第七條 政府ハ前條ノ規定ニ依リ交付スル爲必要ナル額ヲ限度トシ公債ヲ發行スルコトヲ得

第八條 本法ニ依リ交付スル國債證券ノ交付價格ハ時價ヲ參酌シテ大藏大臣之ヲ定ム

附則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

昭和二年四月二十二日ヨリ本法施行ノ日ノ前日迄ニ日本銀行ノ爲シタル手形割引ニ依ル融通ニシテ第一條ノ特別融通ニ相當スルモノハ之ヲ第一條ノ特別融通ト看做ス

○昭和九年法律第三十四號附則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●臺灣ノ金融機關ニ對スル資金融通ニ關スル件

昭和二年五月九日
法律第五十六號

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル臺灣ノ金融機關ニ對スル資金融通ニ關スル法律ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

第一條 政府ハ臺灣統治ノ必要上臺灣ニ於ケル金融機關ヲシテ其ノ機能ヲ維持セシムル爲又ハ海外ニ於ケル帝國ノ信用ヲ維持スル爲必要アリト認ムルトキハ日本銀行ヲシテ臺灣ニ於ケル金融機關ニ對シ手形割引ノ方法ニ依リ二億圓ヲ限り資金ノ融通ヲ爲サシムルコトヲ得

第二條 日本銀行ヲシテ前條ノ融通ノ爲ニスル手形割引ヲ爲サシムル期間ハ本法施行ノ日ヨリ一年トス

第三條 政府ハ本法ニ依ル融通ニ因リテ日本銀行ガ損失ヲ受ケタルトキハ同行ニ對シ二億圓ヲ限り其ノ損失ヲ補償スルノ契約ヲ爲スコトヲ得

第四條 本法ニ依ル融通ニ因リテ日本銀行ノ受ケタル損失及其ノ額ハ日本銀行特別融通及損失補償法第五條ノ特別融通損失審査會之ヲ決定ス

第五條 日本銀行特別融通及損失補償法第三條、第四條第二項及第六條乃至第八條ノ規定ハ本法ニ依ル融通、之ニ因ル日本銀行ノ損失及其ノ補償ニ關シ之ヲ準用ス

附則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●日本銀行特別融通及損失補償法第一條ニ依ル特別融通

ニ關スル規程

昭和二年五月九日
大藏省令第十二號

改正(一) 昭和二年十二月八日
大藏省令第三十六號

日本銀行特別融通及損失補償法第一條ニ依ル特別融通ニ關スル規程左ノ通定ム

日本銀行特別融通及損失補償法第一條ニ依ル特別融通ニ關スル規程

第一條 日本銀行カ特別融通ヲ爲ス場合ニ於テハ本令ノ定ムル所ニ依リ特別融通審査會ノ議ヲ經ルモノトス

第二條 日本銀行カ特別融通ノ爲手形割引ヲ爲ス場合ニ於テハ有價證券、不動産及法律ノ規定ニ依リ設定シタル財團ヲ擔保トスル債權ヲ見返ト爲スコトヲ得

特別ノ必要アル場合ニ於テハ日本銀行ハ大藏大臣ノ承認ヲ受ケ前項ニ定ムル以外ノモノヲ見返ト爲シ手形割引ヲ爲スコトヲ得

第三條 日本銀行カ特別融通ヲ爲ス場合ニ於ケル割引歩合ハ國債擔保ノ貸付利率ニ依ルモノトス

特別ノ必要アル場合ニ於テハ日本銀行ハ大藏大臣ノ承認ヲ受ケ前項ノ利率ニ依ラス特別融通ヲ爲スコトヲ得(一追加)

日本銀行ハ特別融通ヲ爲シタル銀行ノ狀況ニ依リ特別融通資金ノ回收ヲ促進スル爲必要アリト認ムルトキハ特別融通手形書換ノ場合ニ於テ其ノ割引歩合ヲ高ムルコトヲ得

第四條 日本銀行ハ特別融通ノ爲割引ヲ爲シタル手形ニ關シ必要ナル事項ヲ大藏大臣ニ報告スヘシ

第五條 日本銀行ハ特別融通ヲ爲シタル銀行ニ對シ必要アリト認ムルトキハ何時ニテモ其ノ資産負債及營業ノ状態ヲ調査スルコトヲ得ヘキ旨契約ヲ締結スヘシ

日本銀行カ前項ノ契約ニ依リ調査ヲ爲シタルトキハ其ノ結果ヲ大藏大臣ニ報告スヘシ

第六條 日本銀行ハ特別融通ヲ爲シタル銀行ト契約ヲ締結シ少クトモ毎月一回日計表其ノ他必要ト認ムル書類各二通ヲ提出セシムヘシ

第二類 內國債

臺灣金融機關ニ資金融通ノ件 日本銀行特別融通及損失補償法ニ依ル特別融通規程

二四五

日本銀行ハ前項ノ契約ニ依リ徵シタル書類各一通ヲ大藏大臣ニ提出スヘシ

第七條 不動産又ハ法律ノ規定ニ依リ設定シタル財團ヲ擔保トスル債權ヲ見返トスル特別融通ニ付テハ日本銀行ハ株式會社日本勸業銀行、農工銀行、株式會社北海道拓殖銀行又ハ株式會社日本興業銀行ヲシテ日本銀行ノ爲其ノ事務ヲ取扱ハシムルコトヲ得

朝鮮、關東州及南滿洲鐵道附屬地ニ於ケル朝鮮銀行以外ノ銀行ニ對スル特別融通ニ付テハ日本銀行ハ朝鮮銀行ヲシテ日本銀行ノ爲其ノ業務ヲ代理セシムルコトヲ得

臺灣ニ於ケル株式會社臺灣銀行以外ノ銀行ニ對スル特別融通ニ付テハ日本銀行ハ株式會社臺灣銀行ヲシテ日本銀行ノ爲其ノ業務ヲ代理セシムルコトヲ得

樺太ニ於ケル株式會社北海道拓殖銀行以外ノ銀行ニ對スル特別融通ニ付テハ日本銀行ハ株式會社北海道拓殖銀行ヲシテ日本銀行ノ爲其ノ業務ヲ代理セシムルコトヲ得

第八條 特別融通ニ關シテハ本令ニ依ルモノノ外大藏大臣之ヲ定ム

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

○昭和二年大藏省令第三十六號附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

● 絲價安定融資補償法

昭和四年三月二十八日
法律第十四號

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル絲價安定融資補償法ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム
絲價安定融資補償法

第一條 生絲ノ價格ガ一般經濟狀況ニ照シ異常ナル低落ヲ爲シ蠶絲業ノ基礎ヲ危クスル虞アル場合ニ於テ其ノ價格ノ安定ヲ圖ル爲必要アルト認ムルトキハ政府ハ銀行ガ生絲ノ製造又ハ加工ヲ爲ス者ニ對シ主務大臣ノ定ムル條件ニ從ヒ生絲ヲ擔保トシ手形割引ノ方法ニ依リ資金ノ融通ヲ爲ス場合ニ於テ之ニ因リ損失ヲ受クルトキ銀行ニ對シ其ノ損失ニ付補償スルノ契約ヲ爲スコトヲ得

前項ノ規定ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ガ命令ノ定ムル所ニ依リ生絲ノ製造又ハ加工ヲ爲ス者ニ對シ資金ノ融通ヲ爲ス場合ニ於テ其ノ者ニ對シ銀行ガ前項ノ條件ニ從ヒ生絲ヲ擔保トシ手形割引ノ方法ニ依リ資金ノ融通ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

一 生絲ノ問屋

二 主務大臣ガ絲價委員會ノ議ヲ經テ適當ト認ムル者

前二項ノ規定ニ依リ政府ガ損失補償ノ契約ヲ爲スニ付テハ絲價委員會ノ議ヲ經ルコトヲ要ス

絲價委員會ノ組織及權限ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第二條 損失補償ノ契約ヲ爲スコトヲ得ル期間ハ本法施行ノ日ヨリ五年トス

第三條 損失補償ノ契約ニ基キ政府ノ支拂フベキ損失補償金ノ總額ハ三千萬圓ヲ超ユルコトヲ得ズ

第四條 第一條ノ損失ハ銀行ガ擔保トシテ受取リタル生絲ニ付債權ノ辨濟ヲ受ケ尙不足アルトキ其ノ不足分トス

前項ノ損失ニ付政府ノ補償スベキ額ハ損失補償ノ契約ニ定ムル金額ノ制限其ノ他ノ條件ニ從ヒ絲價安定融資補償審査會之ヲ決定ス

絲價安定融資補償審査會ノ組織及權限ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第五條 銀行ガ擔保トシテ受取リタル生絲ヲ債權ノ辨濟ヲ受クル爲處分セントスルトキハ主務大臣ノ認可ヲ受クベシ

主務大臣前項ノ認可ヲ爲サントスルトキハ絲價委員會ノ議ヲ經ルコトヲ要ス

第六條 政府ガ銀行ニ對シテ支拂フベキ損失補償金ハ五分利附國債證券ヲ以テ之ヲ交付スルコトヲ得

第二類 內國債 絲價安定融資補償法

二四七

二四六

第七條 政府ハ前條ノ規定ニ依リ交付スル爲必要ナル額ヲ限度トシ公債ヲ發行スルコトヲ得

第八條 本法ニ依リ交付スル國債證券ノ交付價格ハ時價ヲ參酌シテ主務大臣之ヲ定ム

第九條 損失ノ補償ヲ受ケタル銀行ハ命令ノ定ムル所ニ依リ債權ノ取立ヲ爲シ其ノ取立金ヲ政府ニ納付スベシ

銀行ハ命令ノ定ムル所ニ依リ生絲ノ問屋其ノ他生絲ノ製造又ハ加工ヲ爲ス者ノ爲ニ生絲ノ販賣ヲ爲ス者ヲシテ其ノ取扱ニ

係ル生絲ノ販賣代金中ヨリ前項ノ債權ノ取立ヲ爲サシムルコトヲ得

第十條 損失ノ補償ヲ受クルノ契約ヲ爲シタル銀行ガ本法ニ基キテ發スル命令又ハ損失補償ノ契約ニ違反シタル

トキハ政府ハ契約ヲ解除シ、損失ノ全部若ハ一部ニ付補償ヲ爲サズ又ハ損失補償金ノ全部若ハ一部ノ償還ヲ命ズルコトヲ

得

第十一條 主務大臣本法施行ノ爲必要アリト認ムルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ生絲ノ製造又ハ加工ヲ爲ス者及第一條第二

項各號ノ一ニ該當スル者ニ對シ其ノ事業又ハ財産ニ關スル報告ヲ爲サシメ、其ノ事業又ハ財産ノ狀況ヲ検査シ其ノ他必要

ナル命令又ハ處分ヲ爲スコトヲ得

第十二條 本法ノ適用ニ付テハ産業組合中央金庫ハ之ヲ銀行ト看做ス

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム(昭和四年勅令第二百五十六號ヲ以テ同年九月一日ヨリ施行)

● 絲價安定融資補償法ニ依ル損失補償ノ契約要項

昭和五年三月十一日
農林省告示第百一號

改正(一) 昭和五年十月三日
農林省告示第四百九號

絲價安定融資補償法ニ依リ左記要項ニ基キ損失補償ノ契約ヲ爲ス

一 損失補償ノ條件

(一) 損失補償ハ昭和五年六月十日迄ニ融通シタル資金ニ付之ヲ爲スコト

(二) 補償金額ハ擔保生絲一荷口ニ付三千五百十六圓ヲ限度トスルコト(一)

二 銀行(産業組合中央金庫ヲ含ム)ノ爲ス資金融通ノ條件

(一) 擔保生絲一荷口ニ對シ融通スル金額ハ一萬二千五百圓トスルコト

(二) 資金ノ融通ニハ生絲ノ製造又ハ加工ヲ爲ス者ノ振出シタル一覽拂約束手形ヲ用フルコト

(三) 擔保タル生絲ハ資金ノ融通ヲ受クル者ガ昭和四年產繭ヲ以テ製造又ハ加工シタル輸出器械生絲ニシテ最優等格以上
倉入目一千三十斤以上ノ品質量目ヲ具フルモノ一荷口タルコト

(四) 擔保生絲ハ農林大臣ノ承認ヲ受ケタル方法ニ依ル検査ニ合格シ農林大臣ノ指定スル倉庫ニ保管スルモノトシ之ニ對シ
其ノ倉庫ノ發行シタル倉荷證券ヲ用ヒテ質權ヲ設定セシムベキコト

三 損失補償ノ契約ノ相手方タルコトヲ得ル者

横濱正金銀行、産業組合中央金庫其ノ他横濱又ハ神戸ニ於テ現ニ生絲ヲ擔保トシテ資金ノ融通ヲ爲ス銀行ニシテ農林大臣
ノ指定スルモノタルコト

前記各號ノ外必要ナル事項ハ追テ一週間以内ニ告示ノ見込ナリ

● 絲價安定融資補償法ニ依ル損失補償ノ契約ニ

關スル要項

昭和五年三月二十日
農林省告示第百九號

昭和五年三月農林省告示第百一號ノ絲價安定融資補償法ニ依ル損失補償ノ契約ニ關スル要項各號ノ外必要ナル事項左ノ通定ム

一 損失補償ノ條件

(一) 損失補償金ハ五分利附國債證券ヲ以テ之ヲ交付スルコト

第二類 內國債

絲價安定融資補償法ニ依ル損失補償ノ契約要項 同上ニ關スル要項

- (二) 政府ガ銀行(産業組合中央金庫ヲ含ム以下同ジ)ニ對シ補償スベキ額ノ内額面二十五圓ノ國債證券ノ交付價格ニ滿タザル分ハ後ニ補償スベキ金額ニ之ヲ加算シ最終ノ補償ノ時ニ於テ額面二十五圓ノ國債證券ノ交付價格ニ滿タザル金額アルトキハ政府ハ之ニ對シ補償ヲ爲サザルコト
- (三) 銀行擔保生絲ニ付債權ノ辨濟ヲ受ケ尙餘剩アル場合ニ於テ同一債務者ノ提供シタル他ノ擔保生絲ニ付生ジタル損失ニシテ未ダ補償ヲ請求セザルモノアルトキハ之ヲ以テ其ノ填補ニ充ツルコト
前項ノ場合ニ於テ銀行ガ補償ヲ受ケ得ザル損失アルトキハ前項ノ損失ノ填補ハ補償ヲ受ケ得ル額ト之ヲ受ケ得ザル額トノ割合ニ應ジ之ヲ爲スコト
- (四) 前號ノ場合ニ於テ未ダ補償ヲ請求セザル損失ナキトキ又ハ前號ニ依リ損失ノ填補ヲ爲シ尙餘剩アルトキハ之ヲ以テ同一債務者ニ對スル債權ニシテ政府ヨリ補償ヲ受ケタル者ノ取立金ニ充ツルコト
前項ノ場合ニ於テ銀行ガ補償ヲ受ケザル損失アルトキハ前項ノ取立金中政府ニ納付スベキ額ハ補償ヲ受ケタル額ト之ヲ受ケザル額トノ割合ニ應ジ之ヲ定ムルコト
- (五) 損失補償ノ請求ハ遲滞ナク之ヲ爲スベキコト
- (六) 銀行ガ故意又ハ過失ニ因リテ受ケタル損失ニ付テハ政府ハ其ノ全部又ハ一部ニ付補償ノ責ニ任ゼザルコト
- (七) 補償金額ノ決定アリタルトキハ政府ハ銀行ニ對シ速ニ損失補償金ノ交付ヲ爲スコト
- (八) 農林大臣必要アリト認ムルトキハ何時タリトモ銀行ニ對シ損失補償ノ契約ニ依ル資金融通ノ停止、融通資金ノ回收又ハ融通期限ノ延長ヲ命ズルコトアルベキコト
- (九) 銀行融通資金ニ付前項ノ融通期限ニ先チ辨濟ヲ求メ又ハ之ヲ延長セントスルトキハ農林大臣ノ承認ヲ受クベキコト
- (十) 農林大臣必要アリト認ムルトキハ何時タリトモ銀行ニ對シ擔保生絲ノ保存又ハ處分ニ付命令スルコトアルベキコト
- (十一) 銀行ハ資金融通ノ契約案ニ付豫メ農林大臣ノ承認ヲ受クベキコト之ヲ變更セントスルトキ亦同ジ

二 銀行ノ爲ス資金融通ノ條件

- (一) 債權ノ擔保トシテハ擔保生絲ノ外之ヲ徵セザルコト
市價ノ變動又ハ品質ノ低下ニ因リ擔保生絲ノ價額ガ減少シタルトキト雖増擔保又ハ代擔保ヲ徵セザルコト
- (二) 債務者ガ債務ノ辨濟ヲ遲滞シタルトキハ銀行ハ其ノ定ムル時期及方法ニ依リ擔保生絲ヲ處分シ債權ノ辨濟ニ充當シ得ルモノトスルコト
前項ニ依リ銀行ガ辨濟ヲ受ケ尙不足アル場合ニ於テハ債務者ハ其ノ不足分ニ付辨濟ノ責ニ任ズベキモノトスルコト
- (三) 銀行ガ生絲ノ問屋其ノ他債務者ノ爲ニ生絲ノ販賣ヲ爲ス者ヲシテ其ノ取扱ニ係ル生絲ノ販賣代金中ヨリ債權ノ取立ヲ爲サシムル場合ニ於テハ其ノ債權ノ取立ニ付テハ債務者ノ承諾ヲ要セザルモノトスルコト
- (四) 銀行債權ノ取立ヲ爲シタル場合ニ於テ農林大臣ノ認可ヲ受ケテ支拂ヒタル手数料其ノ他ノ費用ハ債務者ノ負擔トスルコト
- (五) 銀行ハ農林大臣ノ承認ヲ受ケ又ハ其ノ指示ニ從ヒ資金融通ノ條件ノ變更ヲ爲スコトアルベキモノトスルコト

● 絲價安定融資擔保生絲買收法

昭和七年七月一日
法律第十八號

改正 (一) 昭和九年三月二十九日
法律第三十五號 (二) 昭和十二年三月三十日
法律第十七號

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル絲價安定融資擔保生絲買收法ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム
絲價安定融資擔保生絲買收法

第一條 政府ハ生絲ノ價格ノ安定ヲ圖ル爲左ニ掲グル生絲ヲ一括シテ買入ルコトヲ得

- 一 銀行ガ絲價安定融資擔保法第一條ノ規定ニ依リ本法施行前ニ政府ト爲シタル損失補償ノ契約ニ基キ生絲ノ製造又ハ加工ヲ爲ス者ニ對シテ爲シタル資金融通ノ擔保タル生絲七千四百四十一荷口

二 銀行ガ帝國蠶絲株式會社ニ對シ同社ガ絲價安定ノ爲昭和四年十一月ヨリ昭和五年六月迄ノ間ニ於テ行ヒタル生絲共同保管事業ノ資金トシテ爲シタル資金融通ノ擔保タル生絲二千三百九十荷口

第二條 生絲ノ買入代價ハ一荷口四千五百二十二圓二十五錢トス

政府ノ買入レタル生絲中検査ノ結果品質著シク不良ナリト認ムルモノアルトキハ政府ハ命令ノ定ムル所ニ依リ買入代價ノ一部ヲ返還セシム

第三條 政府ハ其ノ買入レタル生絲ヲ命令ノ定ムル所ニ依リ第一條ノ銀行ヲシテ保管セシムルコトヲ得

前項ノ保管ニ要スル經費ハ銀行ノ負擔トス

第四條 生絲ノ買入代價ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ買入ノ日ヨリ五年間ニ之ヲ分割シテ支拂フコトヲ得

第二條第二項ノ返還金ハ前項ノ支拂金額ヨリ之ヲ控除スルコトヲ得

第五條 生絲ノ買入代價ハ國債證券ヲ以テ之ヲ交付スルコトヲ得(一)

第六條 政府ハ前條ノ規定ニ依リ交付スル爲必要ナル額ヲ限度トシ公債ヲ發行スルコトヲ得

第七條 本法ニ依リ交付スル國債證券ノ交付價格ハ時價ヲ參酌シテ主務大臣之ヲ定ム

第八條 (ニ削除)

第九條 本法ニ依リ政府ノ買入レタル生絲ノ處分ニ依ル收入金ニ相當スル金額ハ國債整理基金特別會計法第二條ノ規定ニ依ル繰入ノ外國債ノ元金償還ニ充ツル爲之ヲ一般會計ヨリ國債整理基金特別會計ニ繰入ルベシ但シ本法ニ依リ發行シタル公債ノ前年度首ニ於ケル未償還額ノ萬分ノ百十六ニ相當スル金額ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ(二)

第十條 本法ノ適用ニ付テハ産業組合中央金庫ハ之ヲ銀行ト看做ス

附則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第九條但書ノ規定ニ依リ繰入ヲ要セザル金額ハ當分ノ内本法ニ依リ發行シタル公債ノ前年度首ニ於ケル未償還額ノ萬分ノ百十六ニ相當スル金額ノ三分ノ一トス

昭和九年度以降當分ノ内第九條ノ規定ニ依ル繰入ハ之ヲ爲サザルコトヲ得(一追加)

○昭和九年法律第三十五號附則

本法ハ昭和九年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

○昭和十二年法律第十七號附則

本法ハ昭和十二年度ヨリ之ヲ施行ス

●絲價安定融資損失善後處理法

昭和七年七月一日
法律第十九號

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル絲價安定融資損失善後處理法ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

絲價安定融資損失善後處理法

第一條 政府ハ銀行ニ對シ左ノ各號ノ一ニ相當スル銀行ノ損失ニ付千五百八十七萬圓ヲ限り之ヲ補填スルノ契約ヲ爲スコトヲ得

一 銀行ガ絲價安定融資補償法第一條ノ規定ニ依リ本法施行前ニ政府ト爲シタル損失補償ノ契約ニ基キ損失ノ補償ヲ受ケタル場合ニ於テ尙補償ヲ受ケザル損失アルトキハ其ノ損失

二 銀行ガ帝國蠶絲株式會社ニ對シ同社ガ絲價安定ノ爲昭和四年十一月ヨリ昭和五年六月迄ノ間ニ於テ行ヒタル生絲共同保管事業ノ資金トシテ生絲ヲ擔保トシテ爲シタル資金ノ融通ニ付受ケタル損失

前項第二號ノ損失ハ銀行ガ擔保トシテ受取リタル生絲ニ付債權ノ辨濟ヲ受ケ尙不足アルトキ其ノ不足分トス

第二條 政府ノ補填スベキ額ハ損失補填ノ契約ニ定ムル條件ニ從ヒ絲價安定融資補償法ニ依ル絲價安定融資補償審査會之ヲ

第二類 內國債

絲價安定融資損失善後處理法

決定ス

第三條 政府ガ銀行ニ對シテ交付スベキ損失補填金ハ五分利附國債證券ヲ以テ之ヲ交付スルコトヲ得

第四條 政府ハ前條ノ規定ニ依リ交付スル爲必要ナル額ヲ限度トシ公債ヲ發行スルコトヲ得

第五條 本法ニ依リ交付スル國債證券ノ交付價格ハ時價ヲ參酌シテ主務大臣之ヲ定ム

第六條 絲價安定融資補償法第九條ノ規定ハ同法第一條ノ規定ニ依リ本法施行前銀行ガ政府ト爲シタル損失補償ノ契約ニ付テハ之ヲ適用セズ

第七條 損失ノ補填ヲ受クルノ契約ヲ爲シタル銀行ガ本法ニ基キテ發スル命令又ハ損失補填ノ契約ニ違反シタルトキハ政府

ハ契約ヲ解除シ、損失ノ全部若ハ一部ニ付補填ヲ爲サズ又ハ損失補填金ノ全部若ハ一部ノ償還ヲ命ズルコトヲ得

第八條 本法ノ適用ニ付テハ産業組合中央金庫ハ之ヲ銀行ト看做ス

附則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

● 不動産融資及損失補償法

昭和七年九月六日
法律第二十四號

改正 (一) 昭和十年三月二十八日
法律第十六號 (二) 昭和十三年四月一日
法律第六十五號

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル不動産融資及損失補償法ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

不動産融資及損失補償法

第一條 日本勸業銀行、農工銀行又ハ北海道拓殖銀行(以下融資銀行ト稱ス)ハ銀行ヨリ左ノ方法ニ依ル不動産資金融通ノ請求アリタル場合ニ於テ金融ノ疏通ヲ圖ル爲必要アリト認ムルトキハ大藏大臣ノ定ムル所ニ依リ當該銀行又ハ其ノ債務者ニ對シ資金ノ融通ヲ爲スコトヲ得

一 當該銀行ノ不動産又ハ不動産抵當附債權(抵當證券ヲ含ム)ヲ擔保トスル貸付

二 當該銀行ニ對スル不動産ヲ抵當トスル債務ノ辨濟ノ爲ニ當該不動産ヲ抵當トスル貸付

第二條 融資銀行ガ前條ノ規定ニ依ル融通ヲ爲スハ本法施行ノ日ヨリ九年トシ其ノ融通ノ期限ハ本法施行ノ日ヨリ十八年ヲ超ユルコトヲ得ズ(一、二)

第三條 融資銀行ガ第一條ノ規定ニ依ル融通ヲ爲ス場合ニ於ケル貸付金額ハ日本勸業銀行法第十八條及第三十一條ノ第二項中第十八條ヲ準用シタル規定又ハ農工銀行法第十條及第七條ノ第三項中第十條ヲ準用シタル規定ニ拘ラズ其ノ擔保タル不動産又ハ其ノ擔保タル債權ニ附隨スル抵當權ノ目的タル不動産ニ付鑑定シタル價格以內トス

第四條 日本勸業銀行法第十四條第三項及第十四條ノ二ノ規定、同法第十四條第二項及第三十一條ノ二第一項ノ規定中貸付年限及償還方法ニ關スルモノ、農工銀行法第六條ノ二及第七條ノ規定、同法第六條第二號及第七條ノ三第一項ノ規定中貸付金額貸付年限及償還方法ニ關スルモノ並ニ北海道拓殖銀行法第七條第一項第二號及第七條ノ二ノ規定中貸付年限及償還方法ニ關スルモノハ第一條ノ規定ニ依ル融通ニハ之ヲ適用セズ

融資銀行ガ第一條ノ規定ニ依ル融通以外ノ融通ヲ爲ス場合ニ於テ第一條ノ規定ニ依ル融通ノ額ハ日本勸業銀行法又ハ農工銀行法ニ規定スル貸付金額ノ制限ノ計算上之ヲ算入セズ

第五條 融資銀行ハ第一條ノ規定ニ依ル融通ヲ爲ス爲必要アルトキハ日本勸業銀行法第三十四條第一項、農工銀行法第二十六條第一項又ハ北海道拓殖銀行法第十二條第一項ノ制限ニ拘ラズ債券ヲ發行スルコトヲ得

融資銀行ガ第一條ノ規定ニ依ル融通以外ノ融通ヲ爲ス爲債券ヲ發行スル場合ニ於テ第一條ノ規定ニ依ル融通ヲ爲ス爲發行スル債券ノ額ハ日本勸業銀行法、農工銀行法又ハ北海道拓殖銀行法ニ規定スル債券發行額ノ制限ノ計算上之ヲ算入セズ

第六條 政府ハ第一條ノ規定ニ依ル融通ヲ爲シタルニ因リテ融資銀行ガ損失ヲ受ケタルトキハ融資銀行ニ對シ一億圓ヲ限リ其ノ損失ヲ補償スルノ契約ヲ爲スコトヲ得

第二類 内國債 不動産融資及損失補償法

前項ノ損失ヲ決定スル基準ハ大藏大臣之ヲ定ム

第七條 第一條ノ規定ニ依ル融通ヲ爲シタルニ因リテ融資銀行ノ受ケタル損失及其ノ額ハ不動産融資損失審査會之ヲ決定ス
不動産融資損失審査會ノ組織及權限ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第八條 第六條第一項ノ契約ニ基キ政府ガ融資銀行ニ對シテ支拂フベキ損失補償金ハ國債證券ヲ以テ之ヲ交付スルコトヲ得
第九條 政府ハ前條ノ規定ニ依リ交付スル爲必要ナル額ヲ限度トシ公債ヲ發行スルコトヲ得

第十條 本法ニ依リ交付スル國債證券ノ交付價格ハ時價ヲ參酌シテ大藏大臣之ヲ定ム

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム(昭和七年勅令第二百七十號ヲ以テ同年十月一日ヨリ施行)

本法施行前大藏省預金部ノ引受ニ係ル債券資金ヲ以テ融資銀行ノ爲シタル資金ノ融通ニシテ第一條ノ規定ニ依ル融通ニ相當
スルモノハ之ヲ第一條ノ規定ニ依ル融通ト看做ス

○昭和十年法律第十六號附則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

○昭和十三年法律第六十五號附則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●産業組合中央金庫特別融通及損失補償法

昭和七年九月七日
法律第三十二號

改正(一)昭和十年三月二十八日
法律第十七號

(二)昭和十三年四月一日
法律第六十六號

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル産業組合中央金庫特別融通及損失補償法ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

産業組合中央金庫特別融通及損失補償法

第一條 産業組合中央金庫ハ所屬信用組合聯合會又ハ所屬信用組合ニ對シ其ノ固定セル債權ヲ資金化シテ金融ノ疎通ヲ圖ル
爲必要アリト認ムルトキハ主務大臣ノ定ムル所ニ依リ特別融通ヲ爲スコトヲ得

第二條 産業組合中央金庫ガ前條ノ規定ニ依ル特別融通ヲ爲スハ本法施行ノ日ヨリ九年トシ其ノ融通ノ期限ハ本法施行ノ日
ヨリ十八年ヲ超ユルコトヲ得ズ(一、二)

第三條 産業組合中央金庫法第十四條ニ規定スル第十三條第一號ノ規定中貸付年限及償還方法ニ關スルモノ竝ニ同法第十四
條ニ規定スル第十三條第二號但書ノ規定ハ第一條ノ規定ニ依ル特別融通ニハ之ヲ適用セズ

産業組合中央金庫ガ第一條ノ規定ニ依ル特別融通以外ノ融通ヲ爲ス場合ニ於テ第一條ノ規定ニ依ル特別融通ノ額及之ヲ爲
ス爲發行スル産業債券ノ額ハ産業組合中央金庫法第十三條第二號但書ノ制限ノ計算上之ヲ算入セズ

第四條 産業組合中央金庫ハ第一條ノ規定ニ依ル特別融通ヲ爲ス爲必要アルトキハ産業組合中央金庫法第十七條第一項ノ制
限ニ拘ラズ産業債券ヲ發行スルコトヲ得

産業組合中央金庫ガ第一條ノ規定ニ依ル特別融通以外ノ融通ヲ爲ス爲産業債券ヲ發行スル場合ニ於テ第一條ノ規定ニ依ル
特別融通ヲ爲ス爲發行スル産業債券ノ額ハ産業組合中央金庫法第十七條第一項ノ制限ノ計算上之ヲ算入セズ

第五條 政府ハ第一條ノ規定ニ依ル特別融通ヲ爲シタルニ因リテ産業組合中央金庫ガ損失ヲ受ケタルトキハ之ニ對シ三千萬
圓ヲ限リ其ノ損失ヲ補償スルノ契約ヲ爲スコトヲ得

前項ノ損失ヲ決定スル基準ハ主務大臣大藏大臣ニ協議シテ之ヲ定ム
第六條 第一條ノ規定ニ依ル特別融通ヲ爲シタルニ因リテ産業組合中央金庫ノ受ケタル損失及其ノ額ハ産業組合中央金庫特
別融通損失審査會之ヲ決定ス

産業組合中央金庫特別融通損失審査會ノ組織及權限ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム
第七條 第五條第一項ノ契約ニ基キ政府ガ産業組合中央金庫ニ對シテ支拂フベキ損失補償金ハ國債證券ヲ以テ之ヲ交付スル

第二類 内國債 産業組合中央金庫特別融通及損失補償法

コトヲ得

第八條 政府ハ前條ノ規定ニ依リ交付スル爲必要ナル額ヲ限度トシ公債ヲ發行スルコトヲ得

第九條 本法ニ依リ交付スル國債證券ノ交付價格ハ時價ヲ參酌シテ大藏大臣之ヲ定ム

第十條 本法中主務大臣トアルハ農林大臣及大藏大臣トス

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム(昭和七年勅令第二百七十八號ヲ以テ同年十月一日ヨリ施行)

○昭和十年法律第十七號附則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

○昭和十三年法律第六十六號附則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●農村負債整理資金特別融通及損失補償法

昭和十二年八月十四日
法律第七十七號

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル農村負債整理資金特別融通及損失補償法ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

農村負債整理資金特別融通及損失補償法

第一條 市町村又ハ産業組合中央金庫ハ負債整理事業ヲ助成スル爲必要アリト認ムルトキハ負債整理組合又ハ農村負債整理組合第八條ノ規定ニ依リ負債整理事業ヲ行フ法人ニ對シ主務大臣ノ定ムル所ニ依リ特別融通ヲ爲スコトヲ得

産業組合中央金庫ノ爲ス前項ノ特別融通ハ所屬信用組合ガ農村負債整理組合第八條ノ規定ニ依リ負債整理事業ヲ行フ場合又ハ所屬信用組合ガ其ノ組合員タル負債整理組合若ハ農村負債整理組合第八條ノ規定ニ依リ負債整理事業ヲ行フ法人ニ對シ負債整理資金ヲ融通スル場合ニ於テ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ信用組合ニ對シ之ヲ爲スモノトス

日本勸業銀行、農工銀行又ハ北海道拓殖銀行(以下融資銀行ト稱ス)ハ負債整理組合ノ組合員、農村負債整理組合第八條ノ規定ニ依リ負債整理事業ヲ行フ法人ノ組織者又ハ命令ノ定ムル所ニ依リ負債ノ整理ヲ爲ス者ニ對シ主務大臣ノ定ムル所ニ依リ特別融通ヲ爲スコトヲ得

第二條 市町村、産業組合中央金庫又ハ融資銀行ガ前條ノ規定ニ依リ特別融通ヲ爲スコトヲ得ル期間ハ本法施行ノ日ヨリ十年間トシ其ノ融通ノ期限ハ本法施行ノ日ヨリ二十五年ヲ超ユルコトヲ得ズ

第三條 融資銀行ガ第一條ノ規定ニ依ル特別融通ヲ爲ス場合ニ於ケル貸付金額ハ日本勸業銀行法第十八條又ハ農工銀行法第十條ノ規定ニ拘ラズ其ノ擔保タル不動産ニ付鑑定シタル價格以內トス

第四條 産業組合中央金庫特別融通及損失補償法第三條及第四條ノ規定ハ産業組合中央金庫ガ第一條ノ規定ニ依ル特別融通ヲ爲ス場合ニ、不動産融資及損失補償法第四條及第五條ノ規定ハ融資銀行ガ第一條ノ規定ニ依ル特別融通ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第五條 北海道府縣ハ第一條ノ規定ニ依ル特別融通ヲ爲スニ因リ市町村ガ損失ヲ受ケタルトキ之ニ對シ其ノ特別融通總額ノ十分ノ三以內ノ金額(市町村ニ對スル損失補償金)ヲ補償スルノ契約ヲ爲スコトヲ得

政府ハ前項ノ損失補償ノ契約ニ基キ北海道府縣ガ損失補償ヲ爲シタルトキ之ニ對シ其ノ市町村ニ對スル損失補償金ノ三分ノ二ニ相當スル金額ヲ補給スルノ契約ヲ爲スコトヲ得

第一項ノ規定ニ依リ北海道府縣ガ市町村ニ對シテ爲ス損失補償ノ契約ニ於テハ北海道府縣ノ市町村ニ對スル損失補償金中其ノ六分ノ一ニ相當スル金額ヲ當該市町村ニ於テ負擔スベキ旨ヲ定ムベシ但シ特別ノ事由アルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ市町村ノ負擔スベキ金額ノ割合ニ付別段ノ定ヲ爲シ又ハ市町村ヲシテ負擔ヲ爲サシメザルコトヲ得

第六條 政府ハ第一條ノ規定ニ依ル特別融通ヲ爲スニ因リ産業組合中央金庫又ハ融資銀行ガ損失ヲ受ケタルトキハ産業組合中央金庫ニ對シテハ其ノ特別融通總額ノ十分ノ三以內、融資銀行ニ對シテハ其ノ特別融通總額ノ十分ノ二以內ノ金額ヲ補

第二類 內國債 農村負債整理資金特別融通及損失補償法

償スルノ契約ヲ爲スコトヲ得

第七條 第五條第一項及前條ノ損失ヲ決定スル基準ハ主務大臣大藏大臣ニ協議シテ之ヲ定ム

第八條 第五條第二項及第六條ノ規定ニ依ル政府ノ補給金及補償金ノ總額ハ一億二千萬圓ヲ超ユルコトヲ得ズ

第九條 第一條ノ規定ニ依ル特別融通ヲ爲シタルニ因リ市町村、産業組合中央金庫又ハ融資銀行ノ受ケタル損失及其ノ額ハ

負債整理資金特別融通損失審査會之ヲ決定ス

負債整理資金特別融通損失審査會ニ關スル規程ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第十條 第五條第二項及第六條ノ契約ニ基キ政府ガ北海道府縣、産業組合中央金庫及融資銀行ニ對シ支拂フベキ補給金又ハ

補償金ハ國債證券ヲ以テ之ヲ交付スルコトヲ得

第十一條 政府ハ前條ノ規定ニ依リ交付スル爲必要ナル額ヲ限度トシ公債ヲ發行スルコトヲ得

第十二條 本法ニ依リ交付スル國債證券ノ交付價格ハ時價ヲ參酌シテ大藏大臣之ヲ定ム

第十三條 本法中町村トアルハ町村制ヲ施行セザル地ニ於テハ之ニ準ズベキモノトス

附則

第十四條 本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム(昭和十二年勅令第六百七十七號ヲ以テ同年十二月一日ヨリ施行)

第十五條 農村負債整理組合法第三章ヲ削ル

從前ノ農村負債整理組合法第二十六條ノ規定ニ依ル特別融通ニ關シテハ仍從前ノ例ニ依ル但シ同法第三十一條第一項ノ規定ニ依ル決定ハ本法第九條ノ負債整理資金特別融通損失審査會之ヲ行フ

(略)

●臨時農村負債處理法

昭和十三年四月二日
法律第六十九號

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル臨時農村負債處理法ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

臨時農村負債處理法

第一條 本法ハ支那事變又ハ支那事變ニ際シテノ滿洲ニ於ケル軍事行動ニ關シ戰鬪其ノ他ノ公務ニ從事シ爲ニ死歿シタル者ノ遺族又ハ之ガ爲傷痍ヲ受ケ若ハ疾病ニ罹リタル者若ハ其ノ家族ニシテ農山漁村ニ居住スルモノ(以下戰死傷者遺家族ト稱ス)ノ經濟更生ヲ圖ル爲其ノ負債ヲ處理スルコトヲ目的トス

戰死傷者遺家族ノ範圍ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第二條 本法ニ於テ負債トハ戰死傷者遺家族ノ負擔スル私法上ノ金錢債務ヲ謂フ

前項ノ債務ノ範圍ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第三條 戰死傷者遺家族本法ニ依リ負債ヲ處理セントスルトキハ本人又ハ市町村長其ノ他命令ヲ以テ定ムル者ハ道府縣臨時負債處理委員會(以下委員會ト稱ス)ニ對シ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ旨ヲ申出ヅルコトヲ得

委員會前項ノ申出ヲ受理シタルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ戰死傷者遺家族及債權者間ニ於ケル負債ノ金額、利率、償還期限、償還方法其ノ他ノ條件ノ緩和ニ關スル協定ニ付斡旋ヲ爲シ其ノ者ノ負債處理計畫ヲ樹立スベシ

委員會ノ組織、權限其ノ他必要ナル事項ハ本法ニ定ムルモノヲ除クノ外勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第四條 戰死傷者遺家族前條第二項ノ規定ニ依ル斡旋ノ終了前同條第一項ノ申出ノ受理アリタル負債ノ全部又ハ一部ニ付辨濟、相殺又ハ更改ヲ爲サントスルトキハ命令ヲ以テ定ムル場合ヲ除クノ外命令ノ定ムル所ニ依リ委員會ノ承認ヲ受クベシ但シ債務者ハ之ガ爲ニ遲延ニ因ル損害賠償ノ責任ヲ免ルルコトヲ得ズ

戰死傷者遺家族前項ノ承認ヲ受ケズシテ其ノ負債ノ全部又ハ一部ニ付辨濟、相殺又ハ更改ヲ爲シタルトキハ委員會ハ其ノ者ノ負債處理ノ申出ニ付取消アリタルモノト看做スコトヲ得

第五條 委員會必要アリト認ムルトキハ第三條第一項ノ申出ヲ受理シタル負債ニ付金錢債務臨時調停法ニ依ル調停ノ開始ヲ

第二類 內國債 臨時農村負債處理法

求ムルコトヲ得

第六條 第三條第一項ノ申出ノ受理アリタル負債ニ付金錢債務臨時調停法ニ依ル調停事件繫屬スルトキハ裁判所又ハ調停委員會ハ同條第二項ノ規定ニ依ル斡旋ノ終了ニ至ル迄其ノ調停手續ヲ中止スルコトヲ得

第七條 負債整理組合又ハ市町村負債整理委員會ハ第三條第一項ノ申出ノ受理アリタル負債ニ付テハ命令ノ定ムル所ニ依リ同條第二項ノ規定ニ依ル斡旋ノ終了ニ至ル迄負債ノ條件ノ緩和ニ關スル協定ノ斡旋ヲ休止スベシ

第八條 委員會必要アリト認ムルトキハ期日及場所ヲ定メ當事者ヲ呼出スコトヲ得
委員會ハ斡旋ノ結果ニ付利害關係ヲ有スル者ノ参加ヲ求ムルコトヲ得

第九條 當事者及利害關係人ハ自身出頭スルコトヲ要ス但シ已ムコトヲ得ザル事由アルトキハ委員會ノ許可ヲ受ケ代理人ヲシテ出頭セシメ又ハ輔佐人ヲ同伴スルコトヲ得

第十條 市町村負債整理委員會其ノ他命令ヲ以テ定ムルモノハ委員會ノ請求アリタルトキハ本法ニ依ル負債ノ處理ニ關シ意見ヲ具申シ又ハ調査ヲ爲スベシ

第十一條 市町村又ハ産業組合中央金庫ハ本法ニ依ル負債處理ヲ助成スル爲必要アリト認ムルトキハ戰死傷者遺家族又ハ負債整理組合ニ對シ主務大臣ノ定ムル所ニ依リ特別融通ヲ爲スコトヲ得

産業組合中央金庫ノ爲ス前項ノ特別融通ハ所屬信用組合ガ農村負債整理組合法第八條ノ規定ニ依リ負債整理事業ヲ行フ場合又ハ所屬信用組合ガ其ノ組合員タル戰死傷者遺家族又ハ負債整理組合ニ對シ負債處理資金ヲ融通スル場合ニ於テ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ信用組合ニ對シ之ヲ爲スモノトス

日本勸業銀行、農工銀行又ハ北海道拓殖銀行(以下融資銀行ト稱ス)ハ戰死傷者遺家族ニ對シ主務大臣ノ定ムル所ニ依リ特別融通ヲ爲スコトヲ得

第十二條 市町村、産業組合中央金庫又ハ融資銀行ガ前條ノ規定ニ依リ特別融通ヲ爲スコトヲ得ル期間ハ本法施行ノ日ヨリ勅令ヲ以テ定ムル日迄トシ其ノ融通ノ期限ハ本法施行ノ日ヨリ二十五年ヲ超ユルコトヲ得ズ

第十三條 産業組合中央金庫特別融通及損失補償法第三條及第四條ノ規定ハ産業組合中央金庫ガ第十一條ノ規定ニ依ル特別融通ヲ爲ス場合ニ、農村負債整理資金特別融通及損失補償法第三條並ニ不動産融資及損失補償法第四條及第五條ノ規定ハ融資銀行ガ第十一條ノ規定ニ依ル特別融通ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第十四條 北海道府縣ハ第十一條ノ規定ニ依ル特別融通ヲ爲スニ因リ市町村ガ損失ヲ受ケタルトキ之ニ對シ其ノ特別融通總額ノ十分ノ六以内ノ金額(市町村ニ對スル損失補償金)ヲ補償スルノ契約ヲ爲スコトヲ得

政府ハ前項ノ損失補償ノ契約ニ基キ北海道府縣ガ損失補償ヲ爲シタルトキ之ニ對シ其ノ市町村ニ對スル損失補償金ノ三分ノ二ニ相當スル金額ヲ補給スルノ契約ヲ爲スコトヲ得

第一項ノ規定ニ依リ北海道府縣ガ市町村ニ對シテ爲ス損失補償ノ契約ニ於テハ北海道府縣ノ市町村ニ對スル損失補償金中其ノ六分ノ一ニ相當スル金額ヲ當該市町村ニ於テ負擔スベキ旨ヲ定ムベシ但シ特別ノ事由アルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ市町村ノ負擔スベキ金額ノ割合ニ付別段ノ定ヲ爲シ又ハ市町村ヲシテ負擔ヲ爲サシメザルコトヲ得

第十五條 政府ハ第十一條ノ規定ニ依ル特別融通ヲ爲スニ因リ産業組合中央金庫又ハ融資銀行ガ損失ヲ受ケタルトキハ産業組合中央金庫ニ對シテハ其ノ特別融通總額ノ十分ノ六以内、融資銀行ニ對シテハ其ノ特別融通總額ノ十分ノ四以内ノ金額ヲ補償スルノ契約ヲ爲スコトヲ得

第十六條 第十四條第一項及前條ノ損失ヲ決定スル基準ハ主務大臣大藏大臣ニ協議シテ之ヲ定ム

第十七條 第十四條第二項及第十五條ノ規定ニ依ル政府ノ補給金及補償金ト農村負債整理資金特別融通及損失補償法第五條第二項及第六條ノ規定ニ依ル政府ノ補給金及補償金トノ合計額ハ同法第八條ノ規定ニ依ル補給金及補償金ノ總額ノ限度ヲ超エザルモノトス

第二類 内國債 臨時農村負債處理法

第二類 内國債 臨時農村負債處理法

第二類 内國債 臨時農村負債處理法

第二類 内國債 臨時農村負債處理法

第十八條 第十一條ノ規定ニ依ル特別融通ヲ爲シタルニ因リ市町村、産業組合中央金庫又ハ融資銀行ノ受ケタル損失及其ノ額ハ農村負債整理資金特別融通及損失補償法第九條ノ負債整理資金特別融通損失審査會之ヲ決定ス

第十九條 第十四條第二項及第十五條ノ契約ニ基キ政府ガ北海道府縣、産業組合中央金庫及融資銀行ニ對シ支拂フベキ補給金又ハ補償金ハ國債證券ヲ以テ之ヲ交付スルコトヲ得

第二十條 政府ハ前條ノ規定ニ依リ交付スル爲必要ナル額ヲ限度トシ公債ヲ發行スルコトヲ得

第二十一條 本法ニ依リ交付スル國債證券ノ交付價格ハ時價ヲ參酌シテ大藏大臣之ヲ定ム

第二十二條 農村負債整理組合法第八條ノ規定ニ依リ負債整理事業ヲ行フ法人ハ本法ノ適用ニ關シテハ之ヲ負債整理組合ト看做ス

第二十三條 本法中町村トアルハ町村制ヲ施行セザル地ニ於テハ之ニ準ズベキモノトス

附則

●製鹽地整理ニ關スル件

明治四十三年四月七日
法律第四十八號

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル製鹽地整理ニ關スル法律ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

第一條 鹽專賣法第六條及第四十條ノ二ニ依リ鹽又ハ鹹水ノ製造區域ヲ制限スル場合ニ於テハ政府ハ鹽又ハ鹹水ノ種類、製造方法ヲ區別シテ之ヲ制限スルコトヲ得

鹽又ハ鹹水製造區域ノ制限ニ依リ鹽又ハ鹹水ノ製造ヲ禁止シタルトキハ政府ハ禁止ノ際ニ於ケル鹽又ハ鹹水ノ製造者、製鹽地ノ所有者、現ニ鹽又ハ鹹水ノ製造ニ専用スル建物設備器具器械ノ所有者ニ對シ其ノ請求ニ依リ命令ノ定ムル所ニ從ヒ交付金ヲ下付ス

前項ノ鹽又ハ鹹水ノ製造者ハ明治四十二年十二月以前ニ於テ鹽又ハ鹹水製造ノ許可ヲ受ケ製造禁止ノ際現ニ其ノ製造ヲ爲ス者ニ限ル但シ相續ニ因リ鹽又ハ鹹水ノ製造ヲ承繼シタル場合ニ於テハ被相續人ノ受ケタル製造ノ許可ハ相續人ニ於テ之ヲ受ケタルモノト看做ス

明治四十二年十二月ニ於ケル現狀ニ依リ鹽又ハ鹹水ノ製造ヲ廢止シタルモノト認ムヘキ製鹽地及之ニ附屬スル建物設備器具器械ニ付テハ第二項ノ交付金ヲ下付セス

明治四十二年十二月以前ニ於テ鹽又ハ鹹水ノ製造ニ著手セザル製鹽地及之ニ附屬スル建物設備器具器械ニ付亦前項ニ同シ但シ明治四十二年十二月以前ニ於テ工事ニ著手シタル製鹽地又ハ製鹽地ニ附屬シタル建物設備器具器械ニ付テハ此ノ限ニ在ラス交付金ヲ下付スヘキ建物設備器具器械ノ種類數量ハ政府之ヲ決定ス

第二條 交付金ハ左ノ各號ニ依リ之ヲ定ム

- 一 鹽製造者ニ對シテハ其ノ一年間納付鹽賠償金額ノ二割ニ相當スル金額
- 二 鹹水製造者ニ對シテハ其ノ一年間鹹水賣渡代金ノ二割ニ相當スル金額
- 三 製鹽地所有者ニ對シテハ製鹽地ノ價額ヨリ鹽又ハ鹹水製造禁止後ニ於ケル其ノ見込價額ヲ控除シタル金額
- 四 鹽又ハ鹹水製造専用ノ建物設備器具器械ノ所有者ニ對シテハ其ノ建物設備器具器械ノ價額ヨリ鹽又ハ鹹水製造禁止後ニ於ケル其ノ見込價額ヲ控除シタル金額

第三條 前條製鹽地ノ價額ハ其ノ製鹽地納付鹽賠償金額ノ百分ノ十一ノ二十倍ニ相當スル金額トス

第四條 前二條ノ納付鹽賠償金額ハ明治四十一年及明治四十二年ノ納付鹽賠償金額ノ平均ニ依リ之ヲ定ム但シ明治四十一年二月以後鹽ノ製造ニ著手シタル場合ニ於テハ明治四十二年ノ納付鹽賠償金額ニ依ル

明治四十一年中又ハ明治四十二年中鹽ノ製造ヲ繼續セザルトキハ前條ノ納付鹽賠償金額ハ兩年ノ中鹽ノ製造ヲ繼續シタル年ノ納付鹽賠償金額ニ依ル

製鹽地所有者又ハ鹽ノ製造者ニ異動ヲ生シ製鹽地ニ對スル明治四十一年分又ハ明治四十二年分納付鹽ノ數量ヲ區分シ難キトキハ前條ノ納付鹽賠償金額ハ兩年ノ中納付鹽ノ數量ヲ區分シ得ヘキ年ノ納付鹽賠償金額ニ依ル
鹹水賣渡代金ハ第一項ノ規定ニ準シ之ヲ定ム

第五條 左ノ場合ニ於テハ製鹽地ノ價額ハ前二條ノ規定ニ拘ラス鑑定人ノ意見ヲ徵シ政府之ヲ決定ス

一 鹽田ニ依ラスシテ鹽ヲ製造スルトキ

二 明治四十一年中及明治四十二年中共ニ鹽ノ製造ヲ繼續セヌ又ハ前條第一項但書ノ場合ニ於テ明治四十二年中鹽ノ製造ヲ繼續セサルトキ

三 明治四十二年二月以後ニ於テ鹽ノ製造ニ著手シタルトキ

四 製鹽地ノ所有者又ハ鹽ノ製造者ニ異動ヲ生シ製鹽地ニ對スル明治四十一年分及明治四十二年分納付鹽ノ數量ヲ共ニ區分シ難キトキ

五 所有者ヲ異ニスル製鹽地ノ間又ハ前四號ノ一ニ該當スル製鹽地ト他ノ製鹽地トノ間ニ納付鹽ノ數量ヲ區分シ難キトキ

六 第一條第五項但書ノ規定ニ該當スルトキ

第六條 鹽又ハ鹹水製造禁止後ニ於ケル製鹽地ノ見込價額ハ鑑定人ノ意見ヲ徵シ政府之ヲ決定ス

鹽又ハ鹹水製造専用ノ建物設備器具器械ノ價額ヨリ鹽又ハ鹹水製造禁止後ニ於ケル其ノ見込價額ヲ控除シタル金額ハ協議ニ依リ之ヲ定ム協議調ハサルトキハ鑑定人ノ意見ヲ徵シ政府之ヲ決定ス

第七條 前二條ノ決定ニ對シ不服アル者ハ十日以内ニ其ノ申立ヲ爲スコトヲ得此ノ場合ニ於テハ政府ハ更ニ鑑定人ヲ選定シ其ノ意見ヲ徵シ之ヲ裁定ス其ノ裁定ニ不服アルトキハ行政訴訟ヲ爲スコトヲ得

第八條 交付金ノ總額ハ三百二十萬圓以内トス

交付金ハ額面金額ニ依リ五分利付國債證券ヲ以テ之ヲ給付ス但シ國債證券ノ最小額面金額ニ滿タサル端數ハ現金ヲ以テ之

ヲ給付ス

第九條 政府ハ前條ノ給付ニ必要ナル國債證券ヲ發行スルコトヲ得

第十條 鹽又ハ鹹水ノ製造ヲ禁止シタル區域内ニ於ケル鹽又ハ鹹水製造専用ノ建物設備器具器械ニ對シテハ政府ハ監督上必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

●製鹽地整理公債規程

明治四十三年十月十日
大藏省令第五十號

製鹽地整理公債規程左ノ通之ヲ定ム

製鹽地整理公債規程

第一條 政府ハ明治四十三年法律第四十八號第九條ニ依リ公債ヲ發行ス

第二條 本公債ノ證券ハ大日本帝國政府五分利公債證書トス

第三條 本公債ノ元金ハ發行ノ年ヨリ五箇年据置キ其ノ翌年ヨリ向五十箇年以内ニ之ヲ償還ス

第四條 本公債初期ノ利子ハ鹽及鹹水製造禁止ノ月ヨリ之ヲ附シ元金償還ノトキハ其ノ償還ノ月迄之ヲ附ス

第五條 本公債ノ利子ハ毎年三月及九月ニ於テ其ノ月以前六箇月間ニ屬スルモノヲ仕拂フ

●製鹽地整理ニ關スル件

昭和四年四月五日
法律第五十二號

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル製鹽地整理ニ關スル法律ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

第一條 鹽專賣法第六條ノ規定ニ依リ製鹽地ノ區域ヲ制限スル場合ニ於テハ政府ハ鹽ノ種類、製造方法ヲ區別シテ之ヲ制限

スルコトヲ得製鹽地ノ區域ノ制限ニ依リ鹽ノ製造ヲ禁止シタルトキハ政府ハ禁止ノ際ニ於ケル鹽製造者、製鹽地ノ所有者、

現ニ鹽ノ製造ニ専用スル建物設備器具器械ノ所有者ニ對シ其ノ請求ニ依リ命令ノ定ムル所ニ從ヒ交付金ヲ交付ス

第二類 內國債

製鹽地整理公債規程 製鹽地整理ニ關スル件

前項ノ鹽製造者ハ昭和四年三月以前ニ於テ鹽製造ノ許可ヲ受ケ製造禁止ノ際現ニ其ノ製造ヲ爲ス者ニ限ル但シ昭和四年四月以後相續ニ因リ鹽ノ製造ヲ承繼シタル場合ニ於テハ被相續人ノ受ケタル製造ノ許可ハ相續人ニ於テ之ヲ受ケタルモノト看做ス
昭和四年三月ニ於ケル實況ニ依リ鹽ノ製造ヲ廢止シタルモノト認ムベキ鹽製造地ニ付テハ鹽製造者、製鹽地及之ニ附屬スル建物設備器具器械ノ所有者ニ對シ第二項ノ交付金ヲ交付セズ

交付金ヲ交付スベキ建物設備器具器械ノ種類數量ハ政府之ヲ決定ス

第二條 交付金ハ左ノ各號ニ依リ之ヲ定ム

- 一 鹽製造者ニ對シテハ製鹽地一年間納付鹽賠償金額（鹹水ヲ買受ケ鹽ノ製造ヲ爲ス者ニ付テハ其ノ買受代金ヲ控除シタル金額）ノ三割五分ニ相當スル金額鹹水ヲ賣渡シタルモノアルトキハ其ノ賣渡代金ハ之ヲ納付鹽賠償金ト看做ス
- 二 製鹽地所有者ニ對シテハ製鹽地ノ價額ヨリ鹽製造禁止後ニ於ケル其ノ見込價額ヲ控除シタル金額
- 三 鹽製造専用ノ建物設備器具器械ノ所有者ニ對シテハ建物設備器具器械ノ價額ヨリ鹽製造禁止後ニ於ケル其ノ見込價額ヲ控除シタル金額

第三條 前條ノ納付鹽賠償金額ハ大正十四年ヨリ昭和二年ニ至ル三年ノ納付鹽賠償金額ノ平均ニ依リ之ヲ定ム但シ三年中鹽ノ製造ヲ繼續セザル年、製鹽地ノ納付鹽若ハ鹹水ノ數量ヲ區分シ難キ年又ハ納付鹽及賣渡鹹水ナキ年アルトキハ之ヲ除キタル年ノ納付鹽賠償金額ノ平均ニ依リ平均ナキトキハ其ノ除クベキ事故ナキ年ノ納付鹽賠償金額ニ依ル
大正十四年ヨリ昭和二年ニ至ル三年共ニ前項但書ニ規定スル事故アル製鹽地ノ納付鹽賠償金額ハ政府之ヲ決定ス

第四條 製鹽地ノ價額及鹽製造禁止後ニ於ケル製鹽地ノ見込價額ハ鑑定人ノ意見ヲ徵シ政府之ヲ決定ス

鹽製造専用ノ建物設備器具器械ノ價額ヨリ鹽製造禁止後ニ於ケル其ノ見込價額ヲ控除シタル金額ハ協議ニ依リ之ヲ定ム協議調ハザルトキハ鑑定人ノ意見ヲ徵シ政府之ヲ決定ス

第五條 前條ノ決定ニ對シ不服アル者ハ十日内ニ其ノ申立ヲ爲スコトヲ得此ノ場合ニ於テハ政府ハ更ニ鑑定人ヲ選定シ其ノ

意見ヲ徵シ之ヲ裁定ス其ノ裁定ニ不服アルトキハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第六條 交付金ノ總額ハ千三百萬圓以內トス

交付金ハ額面金額ニ依リ五分利附國債證券ヲ以テ之ヲ交付ス但シ鹽製造者ニ對スル交付金ノ一部及國債證券ノ最小額面金額ニ滿タザル端數ハ現金ヲ以テ之ヲ交付ス

第七條 政府ハ前條ノ交付金額中同條但書ノ規定ニ依リ現金ヲ以テ交付スル額ヲ除キタル金額ノ限度ニ於テ公債ヲ發行スルコトヲ得

第八條 鹽ノ製造ヲ禁止シタル區域内ニ於ケル鹽製造専用ノ建物設備器具器械ニ對シテハ政府ハ監督上必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

（參照）

明治三十八年一月一號法律第十一號鹽專賣法抄錄

第六條 政府ハ製鹽地ノ區域又ハ鹽ノ製造期間若ハ生産高ヲ制限スルコトヲ得

前項ニ依リ制限ハ鹽ノ試製ニ之ヲ適用セス

●製鹽地整理ニ關スル件施行規則

昭和四年五月十四日
大藏省令第六號

昭和四年法律第五十二號施行規則左ノ通定ム

昭和四年法律第五十二號施行規則

第一條 鹽製造ヲ禁止スベキ地域内ニ於ケル製鹽地及鹽製造ニ専用スル建物設備器具器械ノ所有者ハ禁止告示後三十日内ニ別記様式第一號乃至第三號ニ依リ其ノ物件ノ目錄ヲ所轄專賣官署ニ提出スベシ
前項ノ目錄提出後其ノ記載事項ニ増減變更アリタルトキハ其ノ都度申告スベシ

第二條 昭和四年法律第五十二號ニ依リ交付金ノ交付ヲ請求セムトスル者ハ鹽製造禁止後三十日内ニ別記様式第四號乃至第

第二類 內國債 製鹽地整理ニ關スル件施行規則

七號ニ依リ交付金交付申請書ヲ所轄專賣官署ニ提出スベシ

前項ノ申請書ニハ計算ノ基礎及必要ナル説明ヲ附記シ且別記様式第四號ノ申請書ニハ鹽製造許可書又ハ鹽製造承繼許可書ヲ、第五號ノ申請書ニハ土地臺帳謄本ヲ、第六號ノ申請書ニハ建物ノ配置圖面ヲ添付スベシ

第三條 昭和四年法律第五十二號中製鹽地ト稱スルハ左ノ各號ノモノヲ謂フ但シ鹽製造者ノ住居ニ供用スル土地ハ此ノ限ニ在ラズ

- 一 採鹹地(玉土手、濱溝、水間、沼井ヲ含ム)
- 二 鹹水貯藏場敷地(鹹水溜ヲ含ム)
- 三 煎熬場敷地

- 四 煎熬場ト同一構内ニ於テ現ニ鹽ノ製造ニ供用スル土地
- 五 以上各號ノ土地ニ近接スル場所ニ於テ現ニ鹽ノ製造ニ供用スル土地

第四條 交付金ヲ交付スベキ建物ハ前條ノ製鹽地ニ於テ現ニ鹽ノ製造ニ供用スル左ノ各號ノモノニ限ル但シ製鹽期間中鹽製造以外ノ用途ニ兼用スルモノハ之ヲ除ク

- 一 煎熬場及其ノ附屬建物
 - 二 鹽、製鹽原料、製鹽材料、製鹽副産物又ハ製鹽用設備器具器械ノ藏置場
 - 三 鹽製造者ノ事務所、濱子部屋、修理場、製鹽検査場
 - 一棟ノ建物ヲ区分シ其ノ一部分ヲ前項各號ノ一ニ供用スルモノハ其ノ部分ニ限り交付金ヲ交付ス
- 第五條 左ニ掲グル種類ニ屬スル製鹽用設備器具器械ニ付テハ交付金ヲ交付ス但シ其ノ數量ハ專賣局長官之ヲ決定ス
- 一 海水、鹹水、苦汁ノ濃縮裝置及之ト聯接スル裝置
 - 二 原動機關(附屬唧筒共)、溶解槽、沈澱槽、結晶槽及其ノ据付裝置、傳動裝置、汽管、水管

- 三 淡水、海水、鹹水、苦汁ノ汲揚、排除又ハ輸送裝置(水車ヲ含ム)
- 四 海水、鹹砂、鹹水、鹽、苦汁ノ貯藏用容器及其ノ据付裝置
- 五 海水、鹹水、苦汁ノ濾過裝置
- 六 鐵釜、石釜
- 七 竈、煙道、煙突、蒸氣拔
- 八 厩先場、居出場、貯鹽設備
- 九 鹽、鹽土、製鹽材料又ハ製鹽副産物ノ運搬裝置

第六條 左ニ掲グル種類ニ屬スル製鹽用器具ニシテ交付金ヲ交付スベキ品目及其ノ數量ハ專賣局長官之ヲ決定ス

- 一 鹽田地盤、沼井、鹹水溜ノ修理ニ用フルモノ
- 二 鹽田面ノ爬起ニ用フルモノ
- 三 撒砂ノ撒布、搔均シニ用フルモノ
- 四 撒潮ニ用フルモノ
- 五 鹹砂ヲ集ムルニ用フルモノ
- 六 鹹砂ノ掬込ミニ用フルモノ
- 七 鹹砂ヲ均スニ用フルモノ
- 八 鹹水ノ浸出ニ用フルモノ
- 九 鹹水ヲ集ムルニ用フルモノ
- 十 鹹砂ノ掘出シニ用フルモノ
- 十一 鹹水、苦汁ノ注入ニ用フルモノ

- 十二 釜中ノ泡、石灰ノ除去ニ用フルモノ
 - 十三 釜中ノ鹽ノ掻集メ、掻出シニ用フルモノ
 - 十四 鹽揚又ハ苦汁ノ除去ニ用フルモノ
 - 十五 鹽刳、鹽切ニ用フルモノ
 - 十六 鹽ヲ運ブニ用フルモノ
 - 十七 鹽ノ秤量、包裝ニ用フルモノ
 - 十八 燃料ヲ焚クニ用フルモノ
 - 十九 濾過材料ノ篩別、取替ニ用フルモノ
 - 二十 釜掃除ニ用フルモノ
 - 二十一 製鹽用設備器具器械ノ修理ニ用フルモノ
 - 二十二 製鹽検査ニ用フルモノ
- 第七條 建物設備器械ノ所有者ニシテ交付金ノ交付ヲ請求セムトスル者鹽製造禁止告示後建物設備器械ヲ修繕、改造又ハ増設セムトスルトキハ所轄專賣官署ノ承認ヲ受クベシ此ノ場合ニ於テ其ノ價額ヲ増加シタルトキハ其ノ部分ニ對シ交付金ヲ交付セズ
- 第八條 製鹽地建物設備器具器械ノ所有者ニシテ交付金ノ交付ヲ請求セムトスル者鹽製造禁止後其ノ物件ヲ讓渡シ又ハ其ノ位置、形狀ヲ變更セムトスルトキハ所轄專賣官署ノ承認ヲ受クベシ其ノ請求ヲ爲シタル者亦同ジ
- 相續ニ因リ前項ノ物件ヲ取得シタル者ハ直ニ其ノ旨ヲ所轄專賣官署ニ申告スベシ
- 相續ニ因リ昭和四年法律第五十二號第二條第一號ノ交付金ノ請求又ハ受領ヲ爲サムトスル者亦前項ニ同ジ
- 第九條 左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ當該物件ニ付テハ交付金ヲ交付セズ

- 一 第七條又ハ第八條第一項若ハ第二項ノ規定ニ違反シタルトキ
 - 二 交付金ヲ交付スベキ物件ガ之ニ對スル交付金額決定前ニ滅失シタルトキ又ハ甚シク毀損シテ其ノ效用ヲ失ヒタルトキ
- 前項ノ規定ハ正當ノ事由ナクシテ第二條ニ定メタル期間ニ交付金交付申請書ヲ提出セザル場合ニ之ヲ準用ス
- 第十條 昭和四年法律第五十二號第二條第一號ノ鹹水買受又ハ賣渡代金及第三條第二項ノ納付鹽賠償金額ハ專賣局長官之ヲ決定ス
- 第十一條 昭和四年法律第五十二號第四條ノ鑑定人ハ二人以上トシ專賣局長官之ヲ選定ス
- 前項ノ鑑定人ハ少クトモ其ノ半數ヲ專賣官吏以外ノ者ヨリ選定スベシ
- 第十二條 所轄專賣官署ハ製鹽地ニ關スル左ノ事項ヲ鑑定資料トシテ鑑定人ニ提示スベシ
- 一 昭和四年法律第五十二號第三條ニ依ル納付鹽賠償金額
 - 二 土地賃貸價格調査法ニ依リ決定シタル製鹽地ノ賃貸價額
 - 三 製鹽地ノ實際ノ賃貸價額
 - 四 附近ニ於ケル類地賣買ノ實例
- 鑑定人昭和四年法律第五十二號第四條ノ製鹽地ノ價額ヲ鑑定シタルトキハ其ノ計算ノ基礎ヲ明ニスベシ
- 第十三條 鹽製造禁止後利用ノ爲加工ヲ要スル製鹽地ニ在リテハ成工後ノ見込價格ヨリ見込工費及成工後ノ見込價額ヨリ見込工費ヲ減ジタル金額ニ對スル成工見込期間ニ於ケル年五分ノ利子ヲ減ジタル金額ヲ以テ製造禁止後ニ於ケル製鹽地ノ見込價額トシテ鑑定スベシ
- 第十四條 昭和四年法律第五十二號第四條ノ決定ハ專賣局長官之ヲ爲ス
- 前項ノ決定ヲ爲シタルトキハ其ノ決定書ヲ作り之ヲ申請者ニ交付スベシ
- 第十五條 前條ノ決定ニ對シ不服ノ申立ヲ爲サムトスル者ハ決定書受領ノ日ノ翌日ヨリ起算シ十日内ニ不服ノ事由ヲ具シ專

賣局長官ヲ經テ大藏大臣ニ裁定ノ請求ヲ爲スベシ

第十六條 大藏大臣前條ノ請求ヲ受ケタルトキハ第十一條ニ依リ選定シタル鑑定人以外ノ者ヨリ二人以上ノ鑑定人ヲ選定シ再鑑定ヲ爲サシム

前項ノ鑑定人ハ少クトモ其ノ半數ヲ專賣官吏以外ノ者ヨリ選定ス

大藏大臣前條ノ請求ニ對シ裁定ヲ爲シタルトキハ其ノ裁定書ヲ作り之ヲ申請者ニ交付ス

第十七條 鑑定人ノ意見一致セザルトキハ各鑑定人ノ鑑定シタル價額ノ平均ヲ以テ鑑定價額トス

第十八條 政府ハ鑑定人ヲシテ自己、親族又ハ後見僱傭同居其ノ他利害關係アル者ノ利害關係ヲ有スル物件ニ付鑑定ヲ爲サシメザルコトヲ得

第十九條 昭和四年法律第五十二號第六條但書ニ依リ鹽製造者ニ對シ現金ヲ以テ交付スル額ハ總交付金額ノ七分ノ六トス

第二十條 交付金ノ交付請求者ニ對シ交付金ヲ交付セムトスルトキハ專賣局長官ハ別記様式第八號ニ依リ交付金交付通知書ヲ發スベシ

第二十一條 鹽製造ヲ禁止シタル際鹽製造者ノ所有スル鹹水ハ所轄專賣官署ノ認可ヲ受ケ其ノ指定シタル期間ニ限り之ヲ製

鹽スルコトヲ得此ノ場合ニ於テ鹽製造者ハ遲滯ナク其ノ數量、焚上期間及鹽製造見込高ヲ申告スベシ

鹽製造ヲ禁止シタル際現存スル未納付鹽ハ禁止後二日內ニ、前項ニ依リ製造シタル鹽ハ製造後五日內ニ所轄專賣官署ニ其ノ數量ヲ申告シ其ノ指定シタル期日內ニ之ヲ納付スベシ

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

別記

第一號様式

製鹽地目錄		昭和何年何月何日	何府何郡何町何市何村何字何何番地				何	某
鹽製造者氏名	製造方法	種	類	製鹽地場所	地	番地	目段	
								町

備考

- 一 種類欄ニハ煎熬場敷地、鹽貯藏場敷地、鹹水貯藏場敷地、採鹹地等ノ區分ヲ記入スベシ但シ同一地番內ニ在ルモノハ其ノ種類ヲ併記スルモ妨ナシ
- 二 製造者及煎熬場ヲ異ニスル毎ニ煎熬場敷地、鹽貯藏場敷地、鹹水貯藏場敷地、採鹹地等ヲ區分スベシ
- 三 製鹽地場所欄ニハ市町村大字及釜屋名ヲ記入スベシ
- 四 二人以上ノ專賣官署ノ所屬區域ニ涉リ製鹽地ヲ有スル者ニ在リテハ本目錄末尾ニ他ノ目錄提出官署名ヲ朱記スベシ

第二號様式

鹽製造専用建物目錄										
昭 and 何年何月何日										
何府何郡何町何字何番地										
專賣局長官宛										
鹽製造者氏名	製造方法	建物場所	種類	構造	棟數	坪數	建設費	建設年月		

備考

- 一 建物場所欄ニハ市町村大字字地番及釜屋名ヲ記入スベシ
- 二 種類欄ニハ煎熱場、鹽貯藏場、塩水貯藏場等ノ區分ヲ記入スベシ
- 三 構造欄ニハ階數(平屋建、二階建)、屋根(瓦葺、板葺、柿葺、杉皮葺、草葺、鐵板葺等)、骨組(木造瓦張、木造板張、木造塗屋、煉瓦造、コンクリート造、石造、土造、簀ノ子張造^{板、酸、葉、竹ノ類}ヲ以テ編メルモノ、伏小屋造^{骨組及屋等})ノ區分ヲ記入スベシ
- 四 坪數欄ニハ右傍ニ建坪數ヲ、左傍ニ延坪數ヲ記入スベシ
- 五 二以上ノ專賣官署ノ所屬區域ニ涉リ建物ヲ有スル者ニ在リテハ本目錄末尾ニ他ノ目錄提出官署名ヲ朱記スベシ

第三號様式

鹽製造専用設備器具器械目錄										
昭和何年何月何日										
何府何郡何町何字何番地										
專賣局長官宛										
鹽製造者氏名	製造方法	煎熱場所	種類	品目	箇數	現在場所	新調又ハ購入費	新調又ハ購入年月		

備考

- 一 煎熱場所欄ニハ市町村大字字及釜屋名ヲ記入スベシ
- 二 種類欄ニハ第五條及第六條各號ノ區分ニ依リ其ノ條、號ヲ記入スベシ
- 三 現在場所欄ニハ其ノ所屬製鹽地以外ノ場所ニ現在スルモノニ限リ第一號ニ準ジ記入スベシ
- 四 二以上ノ專賣官署ノ所屬區域ニ涉リ設備器具器械ヲ有スル者ニ在リテハ本目錄末尾ニ他ノ目錄提出官署名ヲ朱記スベシ

第二類 内國債

製鹽地整理ニ關スル件施行規則

昭和四年法律第五十二號第二條第一號交付金交付申請書

(何通ノ内第何號何枚)

昭和四年法律第五十二號第二條第一號ノ交付金交付相成度同年大藏省令第六號第二條ニ依リ申請候也
 昭和何年何月何日

何府何郡何町何大字何字何番地
 何縣何市何村何大字何字何番地

某

專賣局長官宛

鹽製造者住所氏名

何府何郡何町何大字何字何番地 何 某

煎熬場所

何府何郡何町何大字何字何番地

製造許可年月日

何年何月何日

昭和四年三月以前製造承

何年何月何日

繼年月日

何年何月何日

昭和四年四月以後相續ニ

昭和何年何月何日

因ル承繼年月日

昭和何年何月何日

製造方法

入濱(揚濱)鹽田臺取(採取)直接火力使用(餘熱利用)又ハ海水直煮製鹽

自作小作區分

甲 某

納付鹽(賣買) 年 月	當該製鹽地ニ於ケル製造者氏名	納付鹽		賣渡鹹水		買受鹹水		差引金額
		數量	賠償金額	數量	賣渡代金	數量	買受代金	
大正十四年 至 何何 月 月	甲 某	斤	圓	石	圓	石	圓	圓

製鹽地段別異動其ノ他事故欄	計	昭和二年			大正十五年			計
		至	自	何何 月 月	至	自	何何 月 月	
		至	自	何何 月 月	至	自	何何 月 月	乙 某
		至	自	何何 月 月	至	自	何何 月 月	丙 某
		至	自	何何 月 月	至	自	何何 月 月	丁 某
		至	自	何何 月 月	至	自	何何 月 月	戊 某
		至	自	何何 月 月	至	自	何何 月 月	己 某
		至	自	何何 月 月	至	自	何何 月 月	申請者 人

備考

- 一 本申請書ハ煎熬場毎ニ調製シ二通以上ノ申請書ヲ提出スベキトキハ提出官署毎ニ各種申請書ヲ通ジタル總通數及番號ヲ附記スベシ
- 二 法定代理人又ハ委任ニ因ル代理人ニ依リ本申請ヲ爲ストキハ其ノ權限ヲ證スベキ書類ヲ添附スベシ
- 三 相續ニ因リ本申請ヲ爲ストキハ相續ノ事實ヲ證スベキ書類ヲ添附スベシ
- 四 本申請書ニハ其ノ紙數ヲ附記シ二枚以上ニ涉ルトキハ其ノ綴目ニ契印スベシ
- 五 本申請書ニハ鹽製造又ハ承繼許可書類ヲ添附スベシ
- 六 鹽製造者住所氏名欄ニハ製造禁止ノ際ニ於ケル製造者ノ住所氏名ヲ記入スベシ但シ申請者ト同一人ナルトキハ之ヲ省略スルコトヲ得
- 七 煎熬場所欄ニハ釜屋名ヲ附記スベシ

第二類 内國債 製鹽地整理ニ關スル件施行規則

- 八 自作小作區分欄ニハ探藏地ノ自小作區分ニ依リ記入スベシ
- 九 賣渡鹹水及買受鹹水ニ付テハ其ノ賣渡先又ハ買受先毎ニ年月日數量代金ヲ區分シタル明細書ヲ添付スベシ
- 十 差引金額欄ニハ納付鹽賠償金額ト鹹水賣渡代金トノ合計金額ヨリ鹹水買受代金ヲ控除シタル殘額ヲ記入スベシ
- 十一 製鹽地段別異動其ノ他事故欄ニハ大正十四年ヨリ昭和二年ニ至ル間ノ製造禁止當時ニ對比シタル製鹽地ノ異動、製鹽不繼續其ノ他當該製鹽地ノ納付鹽若ハ鹹水ノ數量ノ區分シ難キニ至リタル事故等ヲ記入説明スベシ
- 十二 本申請書ニハ製造禁止ノ際ニ於ケル從業者ノ氏名、稱呼、雇傭區分、雇入年月、給額及交付金分與見込額ヲ記載シタル書類ヲ添付スベシ
- 十三 二以上ノ專賣官署ノ所屬區域ニ涉リ製鹽スル者ニ在リテハ本申請書末尾ニ他ノ申請書提出官署名ヲ朱記スベシ
- 十四 本申請書ヲ郵便ニテ差出ス場合ニ於テハ書留郵便ト爲スヲ要ス
- 十五 本申請書ニハ申請者、法定代理人、委任者及受任者ノ印鑑證明ヲ添付スベシ但シ同一官署ニ提出シタル他ノ申請書ニ添付シタルトキハ之ヲ略シ其ノ旨ヲ附記スベシ

第五號様式

昭和四年法律第五十二號第二條第二號製鹽地交付金交付申請書

(何通ノ内第何號何枚)

昭和四年法律第五十二號ニ依リ製鹽地ニ對スル交付金交付相成度同年大藏省令第六號第二條ニ依リ申請候也

昭和何年何月何日

何府何郡何町何字何番地

何

某

專賣局長官宛

所有者住所氏名

何府何郡何町何字何番地

何

某

煎熱場所

何府何郡何町何字何番地

何

某

種 類	製鹽地 場所	地番	地目	段別	製鹽地 見積價 額	禁止後 (加工後) 見込用途	禁止後 (加工後) 見込價額	加工ヲ要スルモノノ			
								成 工 間	見 込 工 費	成 工 後 見 込 價 額	
				町	圓		圓			圓	

備考

- 一 本申請書ハ煎熱場毎ニ調製シ二通以上ノ申請書ヲ提出スベキトキハ提出官署毎ニ各種申請書ヲ通ジタル總通數及番號ヲ附記スベシ
- 二 法定代理人又ハ委任ニ因ル代理人ニ依リ本申請ヲ爲ストキハ其ノ權限ヲ證スベキ書類ヲ添付スベシ
- 三 相續ニ因リ本申請ヲ爲ストキハ相續ノ事實ヲ證スベキ書類ヲ添付スベシ
- 四 本申請書ニハ其ノ紙數ヲ附記シ二枚以上ニ涉ルトキハ其ノ綴目ニ契印スベシ
- 五 本申請書ニハ土地臺帳謄本ヲ添付スベシ
- 六 所有者住所氏名欄ニハ製造禁止ノ際ニ於ケル所有者ノ住所氏名ヲ記入スベシ但シ申請者ト同一ナルトキハ之ヲ省略スルコトヲ得
- 七 煎熱場所欄ニハ釜屋名ヲ附記スベシ
- 八 自作小作區分欄ニハ探藏地ノ自小作區分ニ依リ記入スベシ
- 九 種類欄ニハ煎熱場數地、鹽貯藏場數地、鹹水貯藏場數地、探藏地等ノ區分ヲ記入スベシ但シ同一地番内ニ在ルモノハ其ノ種類ヲ併記スルモ妨ナシ
- 十 一筆中交付金ヲ交付スベカラザル部分アルトキハ其ノ交付スベキ部分ノ段別ヲ内書朱記スベシ
- 十一 製鹽地見積價額欄ニハ製造禁止ノ際ニ於ケル其ノ見積價額ヲ、禁止後(加工後)見込價額欄ニハ禁止後製鹽地ヲ其ノ儘利用シ得ルモノニ付テハ其ノ見込價額ヲ、加工ノ上利用スルモノニ付テハ第十三條ノ規定ニ依リ計算シタル禁止後ノ見込價額ヲ、成工見込期間欄ニハ加工著手後成熟ニ至ルマデノ年月數ヲ、成工後見込價額欄ニハ成熟シタルトキノ見込價額ヲ記入スベシ

第二類 内國債

製鹽地整理ニ關スル件施行規則

- 十二 製鹽地見積價額以下ノ各欄ハ一括シテ記入スルモ妨ナシ
- 十三 二以上ノ專賣官署ノ所屬區域ニ涉リ製鹽地ヲ有スル者ニ在リテハ本申請書末尾ニ他ノ申請書提出官署名ヲ朱記スベシ
- 十四 本申請書ヲ郵便ニテ差出ス場合ニ於テハ書留郵便ト爲スヲ要ス
- 十五 本申請書ニハ申請者、法定代理人、委任者及受任者ノ印鑑證明ヲ添附スベシ但シ同一官署ニ提出シタル他ノ申請書ニ添附シタルトキハ之ヲ略シ其ノ旨ヲ附記スベシ

第六號様式

昭和四年法律第五十二號第二條第三號建物交付金交付申請書

(何通ノ内第何號何枚)

昭和四年法律第五十二號ニ依リ建物ニ對スル交付金交付相成度同年大藏省令第六號第二條ニ依リ申請候也

昭和何年何月何日

何府何郡何町何字何番地

何

某

專賣局長官宛

所有者住所氏名	何府何郡何町何字何番地	何	某
煎熬場所	何府何郡何町何字何番地	何	某
製造方法			
建物場所種類	構造	棟數	坪數
年	月	日	
建設費及(一坪當)	見積價額及(一坪當)	禁止後用途	禁止後見込價額及(一坪當)
差額			

備考

- 一 本申請書ハ煎熬場毎ニ調製シ二通以上ノ申請書ヲ提出スベキトキハ提出官署毎ニ各種申請書ヲ通ジタル總通數及番號ヲ附記スベシ
- 二 法定代理人又ハ委任ニ因ル代理人ニ依リ本申請ヲ爲ストキハ其ノ權限ヲ證スベキ書類ヲ添附スベシ
- 三 相續ニ因リ本申請ヲ爲ストキハ相續ノ事實ヲ證スベキ書類ヲ添附スベシ
- 四 本申請書ニハ其ノ紙數ヲ附記シ二枚以上ニ涉ルトキハ其ノ綴目ニ契印スベシ
- 五 本申請書ニハ建物配置平面圖(建物毎ニ桁行、梁間ノ間數及坪數ノ記入ヲ要ス)ヲ添附スベシ
- 六 所有者住所氏名欄ニハ製造禁止ノ際ニ於ケル所有者ノ住所氏名ヲ記入スベシ但シ申請者ト同一人ナルトキハ之ヲ省略スルコトヲ得
- 七 煎熬場所欄ニハ釜屋名ヲ附記スベシ
- 八 建物場所欄ニハ市町村大字字及地番ヲ記入スベシ
- 九 種類欄ニハ煎熬場、鹽貯藏場、鹹水貯藏場等ノ區分ヲ記入スベシ
- 十 構造欄ニハ階數(平屋建、二階建)、屋根(瓦葺、板葺、柿葺、杉皮葺、草葺、鐵板葺等)、骨組(木造瓦張、木造板張、木造塗屋、煉瓦造、コンクリート造、石造、土造、簀ノ子張造、竹ノ類、伏小屋造、骨組及屋根ヲ含ム等)ノ區分ヲ記入スベシ
- 十一 坪數欄ニハ右傍ニ建坪數ヲ、左傍ニ延坪數ヲ記入スベシ
- 十二 建設費、見積價額、禁止後見込價額ノ各欄ニハ左傍ニ延坪一坪當價額ヲ記入シ括弧ヲ附スベシ
- 十三 差額欄ニハ見積價額ヨリ禁止後見込價額ヲ控除シタル殘額ヲ記入スベシ
- 十四 二以上ノ專賣官署ノ所屬區域ニ涉リ建物ヲ有スル者ニ在リテハ本申請書末尾ニ他ノ申請書提出官署名ヲ朱記スベシ
- 十五 本申請書ヲ郵便ニテ差出ス場合ニハ書留郵便ト爲スヲ要ス
- 十六 本申請書ニハ申請者、法定代理人、委任者及受任者ノ印鑑證明ヲ添附スベシ但シ同一官署ニ提出シタル他ノ申請書ニ添附シタルトキハ之ヲ略シ其ノ旨ヲ附記スベシ

第七號様式

昭和四年法律第五十二號第二條第三號設備器具器械交付金交付申請書

(何通ノ内第何號何枚)

第二類 内國債

製鹽地整理ニ關スル件施行規則

昭和四年法律第五十二號ニ依リ設備器具器械ニ對スル交付金交付相成度同年大藏省令第六號第二條ニ依リ申請候也
昭和何年何月何日

專賣局長官宛

何府何郡何町何村何字何番地
何

何 某

所有者住所氏名 何府何郡何町何村何字何番地 何
煎 煎 場 場 所 何府何郡何町何村何字何番地
製 造 方 法

種類品目	箇數	現在場所	新調又ハ購入		保 存 期 間	見積價額		禁止後見込		差 額
			年月	價額		價額	單價	用途	價額	

備考
一 本申請書ハ第五條、第六條ノ區分ニ依リ各別ニ調製スベシ
二 本申請書ハ煎煎場毎ニ調製シ二通以上ノ申請書ヲ提出スベキトキハ提出官署毎ニ各種申請書ヲ通ジタル總通數及番號ヲ附記スベシ

三 法定代理人又ハ委任ニ因ル代理人ニ依リ本申請ヲ爲ストキハ其ノ權限ヲ證スベキ書類ヲ添附スベシ
四 相續ニ因リ本申請ヲ爲ストキハ相續ノ事實ヲ證スベキ書類ヲ添附スベシ

五 本申請書ニハ其ノ紙數ヲ附記シ二枚以上ニ渉ルトキハ其ノ綴目ニ契印スベシ
六 所有者住所氏名欄ニハ製造禁止ノ際ニ於ケル所有者ノ住所氏名ヲ記入スベシ但シ申請者ト同一人ナルトキハ之ヲ省略スルコトヲ得

七 煎煎場所欄ニハ釜屋名ヲ附記スベシ
八 種類欄ニハ第五條及第六條各號ノ區分ニ依リ其ノ條、號ヲ記入スベシ
九 現在場所欄ニハ其ノ所屬製鹽地以外ノ場所ニ現在スルモノニ限り第七號ニ準ジ記入スベシ
十 第六條ノ品目ハ專賣局長官ノ定ムル所ニ依リ記入スベシ
十一 同一種類、品目ノ物件ニシテ價格ニ相異アルモノハ區分記入スベシ
十二 差額欄ニハ見積價額ヨリ禁止後見込價額ヲ控除シタル殘額ヲ記入スベシ
十三 二以上ノ專賣官署ノ所屬區域ニ涉リ設備器具器械ヲ有スル者ニ在リテハ本申請書末尾ニ他ノ申請書提出官署名ヲ朱記スベシ

十四 本申請書ヲ郵便ニテ差出す場合ニ於テハ書留郵便ト爲スヲ要ス
十五 本申請書ニハ申請者、法定代理人、委任者及受任者ノ印鑑證明ヲ添附スベシ但シ同一官署ニ提出シタル他ノ申請書ニ添附シタルトキハ之ヲ略シ其ノ旨ヲ附記スベシ

第二類 内國債 製鹽地整理ニ關スル件施行規則

交付金交付通知書

領收書

第 (何) 號 指定取扱店 日本銀行 (何支店) (何代理店) 受取人 (住所氏名)

一金(何)百(何)拾(何)圓(何)拾(何)錢也
昭和四年法律第五十二號ニ依ル交付金
内譯
金(何)百(何)拾(何)圓也 五分利公債(何)號此證券(何)枚
但シ昭和(何)年(何)月(何)日渡以降利札附屬及日割利札添附
金(何)拾(何)圓(何)拾(何)錢也 現金

右ノ通交付ス
公債ハ前記指定ノ取扱店ニテ之ヲ受取ルベシ
現金ハ支出官ヨリ別ニ歳出金支拂通知書ヲ送付ス
昭和 年 月 日

專賣局長官 (氏) 名(印)

前記ノ公債正ニ領收候也
昭和 年 月 日
受取人 (住所氏) 名(印)

(裏) (面)

(注意)

- 一 受取人ハ表面領收證ノ部ニ年月日及住所ヲ記入シ記名捺印シ公債領收ノ證トシテ之ヲ指定ノ取扱店ニ差出シ公債ノ交付ヲ受クベシ
- 一 受取人ガ代人ヲ以テ公債ノ交付ヲ受ケムトスルキハ本人ニ於テ本書委任欄内ニ適宜ノ事項ヲ記載シ記名捺印スルカ又ハ別ニ委任狀ヲ差出スベシ此ノ場合ニ於テ代人ハ本書ニ代人タル肩書ヲ附シ記名捺印スベシ
- 一 受取人ノ印章ハ交付金交付申請書ニ添附シタル印鑑ト同一ノモノニ限ル

印紙 委任狀

表記公債ノ受取方ヲ 昭和 年 月 日 ニ委任候也

(住所氏) 名(印)

●製鹽地整理公債規程

昭和四年十月二十四日 大藏省令第二十二號

製鹽地整理公債規程左ノ通定ム

製鹽地整理公債規程

- 第一條 政府ハ昭和四年法律第五十二號第七條ノ規定ニ依リ五分利公債ヲ發行ス
- 第二條 本公債ノ元金ハ發行ノ年ヨリ五年据置キ其ノ翌年ヨリ五十年内ニ額面金額ヲ以テ之ヲ償還ス
- 第三條 本公債ノ利子ハ鹽製造禁止ノ日ヨリ之ヲ附ス

第二類 内國債 製鹽地整理公債規程

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

● 臘虎臘肭獸獵業者等ニ對スル交付金下付ニ

關スル件

明治四十五年四月二十二日
法律第二十二號

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル臘虎臘肭獸獵業者等ニ對スル交付金下付ニ關スル法律ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

第一條 政府ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ニ對シ其ノ請求ニ依リ命令ノ定ムル所ニ從ヒ交付金ヲ下付ス

一 明治四十四年十二月十五日ニ於ケル臘虎臘肭獸獵業者

二 前號ノ獵業者ノ免許證ニ記載シタル明治四十四年十二月十五日現在ノ獵船及其ノ附屬物ノ所有者

三 明治四十四年ニ於テ免許ニ依ル臘虎臘肭獸獵船ニ乗組ミタル船員

四 明治四十三年ニ於テ免許ニ依ル臘虎臘肭獸獵船ニ乗組ミタル船員ニシテ疾病傷痍其ノ他已ムヲ得サル事由ニ因リ休業

シタル者

前項ノ規定ハ臘虎臘肭獸ノ獵獲ヲ爲スコトヲ得ル「アイノ」人ニ付テハ之ヲ適用セス

第二條 交付金ハ左ノ各號ニ依リ之ヲ定ム

一 前條第一項第一號ニ該當スル者ニ對シテハ一年ノ認定獵獲物賣拂代金ノ五割

二 前條第一項第二號ニ該當スル者ニ對シテハ明治四十四年十二月十五日以前ニ於ケル該所有物ノ認定價額ノ七割

三 前條第一項第三號又ハ第四號ニ該當スル者ニ對シテハ各其ノ一年ノ認定收入額ニ依リ船長及測量士ニ在リテハ其ノ十

割、銃手ニ在リテハ其ノ二十割、其ノ他ノ船員ニ在リテハ其ノ七割以內

前項ノ獵獲物賣拂代金、所有物價額及船員收入額並交付金ヲ下付スヘキ獵船ノ附屬物ノ種類及數量ハ査定委員會ノ議決ニ依ル

査定委員會ニ關スル規程ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第三條 交付金ノ總額ハ百十二萬圓ヲ以テ限度トス若此ノ金額ヲ超過スルトキハ其ノ超過額ヲ各自ニ按分シテ之ヲ減少ス

第四條 交付金ハ額面金額ニ依リ五分利付國債證券ヲ以テ之ヲ給付ス但シ五十圓未滿ノ端數ハ現金ヲ以テ之ヲ給付ス

第五條 政府ハ前條ノ給付ニ必要ナル國債證券ヲ發行スルコトヲ得

第六條 主務大臣ハ第一條第一項第二號ニ該當スル者ニ對シ期日及場所ヲ指定シ其ノ獵船及附屬物ノ廻送ヲ命スルコトヲ

得

前項ノ廻送ヲ爲ササル者ハ交付金ヲ受クルコトヲ得ス但シ主務大臣ニ於テ已ムヲ得サル事由アリト認メタルトキハ此ノ限
ニ在ラス

第七條 交付金下付ノ請求ハ明治四十五年五月三十一日迄ニ之ヲ爲スヘシ

本法施行ノ際帝國内ニ在ラサル者ハ明治四十五年八月三十一日迄ニ前項ノ請求ヲ爲スコトヲ得

附則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

● 禁獵公債規程

大正元年十二月十三日
大藏省令第八號

禁獵公債規程左ノ通之ヲ定ム

禁獵公債規程

第一條 政府ハ明治四十五年法律第二十二號第五條ニ依リ公債ヲ發行ス

第二條 本公債ノ證券ハ大日本帝國政府五分利公債證書トス

第三條 本公債ノ元金ハ發行ノ年ヨリ五箇年据置キ其ノ翌年ヨリ向五十箇年以內ニ之ヲ償還ス

第二類 內國債

臘虎臘肭獸獵業者等ニ對スル交付金下付ニ關スル件 禁獵公債規程

第四條 本公債ノ利子ハ明治四十五年農商務省令第十二號第十四條ニ依ル交付金額通知ノ日ヨリ之ヲ附ス
第五條 本公債利子ノ仕拂期日ハ毎年三月一日及九月一日トス

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●臘虎臘肭獸獵業者等ニ對スル交付金下付ニ關

スル手續

大正元年十二月十三日
大藏省令第九號

明治四十五年法律第二十二號第四條ニ依ル交付金下付ニ關スル手續左ノ通之ヲ定ム

第一條 明治四十五年農商務省令第十二號第十四條ニ依ル交付金額ノ通知ニ基キ公債證書又ハ現金ヲ受領セムトスル者ハ第一號書式ノ請求書ヲ大藏省ニ提出スヘシ但シ外國、朝鮮又ハ樺太ニシテ國債事務取扱店ノ設置ナキ地ニ在リテハ公債證書ノ郵送ヲ、外國ニシテ金庫ノ設置ナキ地ニ在リテハ現金ノ郵送ヲ受クルコトヲ得此ノ場合ニ於ケル請求書ハ第二號書式ニ依ル

前項但書ノ場合ニ於ケル郵送途中ノ危險ハ請求者ノ負擔トス

第一項但書ノ場合ヲ除ク外公債證書及現金下付ノ請求書ニハ各別ニ受取人ノ印鑑ヲ添附スヘシ

第二條 國債規則第二十五條ニ依リ國債登錄ノ請求ヲ爲サムトスル者ハ公債證書ノ給付又ハ郵送ノ請求書ニ代フルニ取扱店宛ノ登錄請求書ヲ以テシ之ヲ大藏省ニ提出スヘシ

第三條 交付金受給者ノ承繼人カ前二條ノ請求ヲ爲サムトスルトキハ其ノ承繼ヲ證スルニ足ルヘキ戶籍ノ謄本又ハ抄本其ノ他ノ證據書類ヲ請求書ニ添附スヘシ

二人以上ノ連名ニテ第一條ノ請求ヲ爲サムトスルトキハ其ノ一人ヲ以テ受領總代人トシ其ノ旨ヲ請求書ニ附記スヘシ

受給者カ豫メ公債證書又ハ現金ヲ受領スヘキ代理人ヲ定メタルトキハ其ノ旨及代理人ノ住所氏名ヲ請求書ニ附記スヘシ

受給者ノ代理人カ前二條ノ請求ヲ爲サムトスルトキハ其ノ權限ヲ證スルニ足ルヘキ書面ヲ提出スルコトヲ要ス前項ノ規程ニ依ラサル請求者ノ代理人カ公債證書又ハ現金ヲ受領セムトスルトキ亦同シ

第四條 公債證書ヲ給付スルトキハ第三號書式ノ給付通知書ヲ發シ之ヲ受取人ニ交付ス

受取人ハ前項ノ通知書領收欄内ニ式ノ如ク署名捺印シ指定ノ取扱店ニ差出シ之ト引換ニ公債證書ヲ受取ルヘシ但シ第一條第一項但書ノ場合ニ於テハ公債證書ヲ受取リタルトキ直ニ通知書領收欄内ニ式ノ如ク署名捺印シ之ヲ日本銀行ニ提出スヘシ

第五條 現金ノ支給ニ付テハ會計法規ノ定ムル所ニ從ヒ仕拂命令又ハ仕拂通知書ヲ受取人ニ交付シ指定ノ金庫ヨリ之ヲ受領セシム但シ第一條第一項但書ノ場合ニ於テハ仕拂命令ヲ中央金庫ニ交付シ其ノ旨ヲ受取人ニ通知ス

第六條 請求者ハ第一條第一項但書ノ場合ヲ除ク外公債證書ノ給付ヲ受クヘキ取扱店又ハ現金ノ仕拂ヲ受クヘキ金庫ヲ選擇スルコトヲ得前二條ニ依ル給付通知書、仕拂通知書又ハ前條但書ニ依ル通知ヲ受クヘキ場所ニ付テ亦同シ
前項ノ場合ニ於テハ其ノ旨ヲ請求書ニ附記スヘシ

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第一號書式

一 公債證書ト現金トハ各々別紙ニ調製スヘシ

第二類 內國債

臘虎臘肭獸獵業者等ニ對スル交付金下付ニ關スル手續

二 公債證書給付額ノ一部ニ付テ國債登錄ノ請求ヲ爲シタルトキハ公債證書額面高ノ傍ニ「外ニ登錄請求額何圓」ト記載ス
ヘシ

請求書

一 公債證書額面何圓(又ハ金何圓)

右明治四十五年法律第二十二號ニ依リ下付可相成分御渡有之度別紙印鑑相添此段請求候也

本籍地

住所

年月日

又ハ本籍地
住所氏名代人

氏

名印

住所

氏

名印

大藏大臣氏名宛

第二號書式

一 公債證書ト現金トハ各々別紙ニ調製スヘシ

二 公債證書給付額ノ一部ニ付テ國債登錄ノ請求ヲ爲シタルトキハ公債證書額面高ノ傍ニ「外ニ登錄請求額何圓」ト記載ス
ヘシ

三 送付先地名ハ詳細ニ記載スヘシ但シ外國ノ地名ヲ記載スルニハ當該國ノ文字ヲ用フルコトヲ要ス

請求書

一 公債證書額面何圓(又ハ金何圓)

右明治四十五年法律第二十二號ニ依リ下付可相成分前記ノ箇所へ御郵送有之度此段請求候也

送付先 何國何地

本籍地

住所

氏

名印

又ハ本籍地
住所氏名代人

住所

氏

名印

大藏大臣氏名宛

第三號書式甲

第 何 號 取扱店 日本銀行本店(又ハ何地支店) 受取人 氏 名(又ハ氏名代人)

一 大日本帝國政府五分利公債證書額面 何 圓也

但シ大正何年何月何日渡以降利札附屬(一期ニ滿タサル端數利札アルトキハ)及何
年何月何日渡利札添附ヲ加フ以下同シ

年月日

割印

第二類 内國債 臘虎臘豚獸獵業者等ニ對スル交付金下付ニ關スル手續

給付通知書

領收證書記入式

給付命令書

第 何 號	取扱店 日本銀行本店 (又ハ何地支店)	受取人 氏 名 (又ハ氏名代人)
一大日本帝國政府五分利公債證書額面 何 圓也 但シ大正何年何月何日渡以降利札附屬 右禁獵交付金下付ノ爲メ發行ス前記指定ノ取扱店ヨリ之ヲ受取ルヘシ 年 月 日 大藏大臣 氏 名印		
前記ノ公債證書正ニ領收候也 年 月 日 住所 受取人 氏 名印 又ハ住所氏名代人 氏 名印 住所 氏 名印		

第 何 號	受 取 人	氏 名 (又ハ氏名代人)
一大日本帝國政府五分利公債證書額面 何 圓也 但シ大正何年何月何日渡以降利札附屬 右前記ノ者へ給付通知書ト引換ニ給付可有之候也 年 月 日 日本銀行 (又ハ何地支店) (又ハ何地代理店) 大藏大臣 氏 名印		

第三號書式乙

符 原

第 何 號	送付先 何 國 何 地	受取人 氏 名 (又ハ氏名代人)
一大日本帝國政府五分利公債證書額面 何 圓也 但シ大正何年何月何日渡以降利札附屬 年 月 日		

給付通知書 領收證書記入式

第 何 號	送付先 何 國 何 地	受取人 氏 名 (又ハ氏名代人)
一大日本帝國政府五分利公債證書額面 何 圓也 但シ大正何年何月何日渡以降利札附屬 右禁獵交付金下付ノ爲メ發行ス 年 月 日 大藏大臣 氏 名印		
前記ノ公債證書正ニ領收候也 年 月 日 住所 受取人 氏 名印 又ハ住所氏名代人 氏 名印 住所 氏 名印		

第二類 内國債 臘虎臘獸獵業者等ニ對スル交付金下付ニ關スル手續

給付命令書

第 何 號	送付先 何 國 何 地	受取人 氏 名 (又ハ氏名代人)
一大日本帝國政府五分利公債證書額面 何 圓也 但シ大正何年何月何日渡以降利札附屬 右前記ノ者へ給付可有之候也		
年 月 日	大藏大臣 氏	名印
日 本 銀 行		

●日本興業銀行外二銀行ノ對支借款關係債務ノ整理

二關スル件

大正十五年三月三十日
法律第四十一號

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル日本興業銀行外二銀行ノ對支借款關係債務ノ整理ニ關スル法律ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム
第一條 政府ハ日本興業銀行、臺灣銀行及朝鮮銀行(以下三銀行ト稱ス)ヲシテ左ノ各號ノ借款前貸及借款ニ關シ其ノ負擔スル債務ノ整理ヲ爲サシムル爲三銀行ニ對シ本法ノ定ムル所ニ依リ國債證券及現金ヲ交付ス

- 一 三銀行ノ中華民國政府ニ對スル大正七年六月十八日契約ノ吉會鐵道借款前貸一千萬圓、大正七年九月二十八日契約ノ滿蒙四鐵道借款前貸二千萬圓及山東二鐵道借款前貸二千萬圓
- 二 中華匯業銀行ノ中華民國政府ニ對スル大正七年四月三十日契約ノ有線電信借款二千萬圓及大正七年八月二日契約ノ黑吉兩省金鑛森林借款三千萬圓ノ資金調達ノ爲ニ爲シタル三銀行ノ同行ニ對スル借款

第二條 本法ニ依リ三銀行ノ整理スヘキ債務及其ノ金額ハ左ノ各號ニ定ムルモノトス

- 一 第三回政府保證興業債券二千萬圓、第四回政府保證興業債券三千萬圓、第五回政府保證興業債券米貨二千二百萬弗及第八十一回興業債券四百六十七萬圓ノ元利支拂ニ必要ナル金額
- 二 前號ノ外第一條ノ借款前貸及借款ニ關シ三銀行ノ負擔シタル金額四千萬二千五百三十五圓
- 第三條 政府ハ三銀行カ第四回政府保證興業債券及第八十一回興業債券ヲ直ニ買入償還スル爲必要ナル金額ニ相當スル價額ノ五分利附國債證券ヲ三銀行ニ對シ其ノ負擔額ニ應シ交付ス
- 第四條 政府ハ三銀行カ第三回及第五回政府保證興業債券ヲ其ノ償還期ニ於テ償還スル爲必要ナル金額ニ相當スル價額ノ五分利附國債證券ヲ三銀行ニ對シ其ノ負擔額ニ應シ交付ス
- 前項ノ規定ニ依リ國債證券ヲ交付スル迄政府ハ前項ノ興業債券ノ利子支拂ニ必要ナル金額ヲ其ノ支拂期ニ於テ三銀行ニ對シ其ノ負擔額ニ應シ現金ヲ以テ交付ス
- 第五條 政府ハ三銀行カ第二條第二號ニ規定スル債務ヲ直ニ整理スル爲必要ナル價額ノ五分利附國債證券ヲ三銀行ニ對シ其ノ負擔額ニ應シ交付ス
- 第六條 政府ハ本法ニ依リ三銀行ニ交付スル爲一億四千四百萬圓ヲ限度トシ公債ヲ發行スルコトヲ得
- 前項ノ規定ニ依ル公債ノ發行價格差減額ヲ補填スル爲必要アル場合ニ於テハ前項ノ制限以外ニ公債ヲ發行スルコトヲ得
- 第七條 本法施行後三銀行カ中華民國政府又ハ中華匯業銀行ヨリ第一條ノ借款前貸及借款並左ノ各號ノ借款ニ關シ元利金ノ支拂ヲ受ケタルトキハ直ニ之ヲ政府ニ納付スヘシ
- 一 第一條ノ借款前貸ニ關シ三銀行ト中華民國政府トノ間ニ成立シタル大正十二年六月二十八日ノ利拂借款七百九十九萬七千八百一圓八十錢、大正十三年九月十三日ノ利拂借款五百二十八萬六千八百二十圓五十一錢及大正十四年七月十五日ノ利拂借款五百三十萬圓

第二類 內國債

日本興業銀行外二銀行ノ對支借款關係債務ノ整理ニ關スル件

二 第一條ノ借款ニ關シ三銀行ト中華匯業銀行トノ間ニ成立シタル大正十一年一月十五日ノ利拂借款百十萬二千五百圓、大正十二年十月二十四日ノ利拂借款五百五萬三千九百九十五圓九十八錢、大正十三年九月十三日ノ利拂借款六百六十八萬二千九百十六圓七十一錢及大正十四年四月十六日ノ利拂借款二百八十八萬四千九百五十五圓二十九錢

三 第一條ノ借款前貸及借款並前二號ノ借款ニ關シ本法施行後成立スルコトアルヘキ借款
政府ハ必要アリト認ムルトキハ三銀行ヲシテ前項ノ元利金ノ納付ニ代ヘ借款前貸又ハ借款ニ關スル權利ヲ無償ニテ政府ニ讓渡セシムルコトヲ得

第八條 三銀行ハ第一條各號及前條各號ノ借款前貸及借款ニ關スル一切ノ事項ニ付政府ノ指揮命令ヲ受クヘシ
第九條 本法ニ依リ交付スル國債證券ノ交付價格ハ時價ヲ參酌シテ大藏大臣之ヲ定ム

附則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●海軍軍備制限ニ關スル條約ノ實施ニ伴フ損害ノ補償

ニ關スル件

大正十五年四月六日
法律第五十一號

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル海軍軍備制限ニ關スル條約ノ實施ニ伴フ損害ノ補償ニ關スル法律ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

第一條 海軍軍備補充計畫遂行ノ爲政府ノ爲シタル勸告ニ基キ軍艦、兵器又ハ其ノ材料ノ製造ニ必要ナル施設ヲ爲シタル會社カ大正十二年條約第二號海軍軍備制限ニ關スル條約ノ實施ニ伴フ軍艦及兵器製造計畫ノ變更ノ爲被リタル損害ニ對シテハ本法ニ依リ之ヲ補償スルコトヲ得

第二條 前條ニ規定スル補償金ノ總額ハ二千萬圓以內トス

第三條 補償金ハ主務大臣補償審査會ノ審査ヲ經テ之ヲ決定シ額面金額ニ依リ五分利附國債證券ヲ以テ之ヲ交付ス

補償審査會ニ關スル規程ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第四條 政府ハ前條ノ規定ニ依リ交付ニ必要ナル額ヲ限度トシ國債證券ヲ發行スルコトヲ得

第五條 本法ニ依リ補償金ヲ交付スル場合ニ於テハ政府ハ相手方ニ對シ補償ノ目的タル設備ノ無償讓渡其ノ他必要ナル條件ヲ附スルコトヲ得

附則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●大正十五年法律第五十一號ニ依ル補償金ノ交付

ニ關スル件

大正十五年五月四日
勅令第九十三號

朕大正十五年法律第五十一號ニ依ル補償金ノ交付ニ關スル件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

第一條 補償審査會ハ海軍大臣ノ監督ニ屬シ大正十五年法律第五十一號ニ規定スル補償金ノ審査ニ關スル事務ヲ掌ル

第二條 審査會ハ會長一人審査員若干人ヲ以テ之ヲ組織ス

第三條 會長ハ海軍大臣ヲ以テ之ニ充ツ

審査員ハ海軍大臣ノ奏請ニ依リ關係各廳高等官其ノ他審査ニ必要ナル學識經驗ヲ有スル者ノ中ヨリ內閣ニ於テ之ヲ命ス

第四條 會長ハ會務ヲ總理シ會議ノ議長ト爲ル

會長事故アルトキハ海軍大臣ノ指定スル審査員其ノ職務ヲ代理ス

第五條 審査會ニ幹事若干人ヲ置ク海軍大臣ノ奏請ニ依リ關係各廳高等官ノ中ヨリ內閣ニ於テ之ヲ命ス

幹事ハ會長ノ指揮ヲ承ケ庶務ヲ整理ス

第六條 審査會ニ書記若干人ヲ置ク海軍大臣之ヲ命ス

第二類 內國債

海軍軍備制限ニ關スル條約實施ニ伴フ損害補償 大正十五年法律第五十一號
ニ依ル補償金ノ交付ノ件

書記ハ上司ノ指揮ヲ承ケ庶務ニ従事ス

第七條 補償金ノ交付ハ海軍大臣之ヲ決定ス

第八條 補償金ハ大藏大臣之ヲ交付ス

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●舊韓國起業資金貸付ノ爲發行シタル英貨興業債券ノ元利支拂

爲替差損金補給ニ關スル件

昭和八年三月二十八日
法律第十六號

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル舊韓國起業資金貸付ノ爲發行シタル英貨興業債券ノ元利支拂爲替差損金補給ニ關スル法律ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

第一條 政府ハ日本興業銀行ガ舊韓國起業資金貸付ノ爲發行シタル政府保證第十三回英貨興業債券ノ未償還額百三萬五千三百磅ノ償還又ハ其ノ昭和七年十二月二日以後ノ利子支拂ヲ爲ス場合ニ於テ之ニ要スル邦貨金額ガ其ノ償還社債ノ額面金額又ハ支拂利札ノ券面金額ヲ英貨一磅ニ付九圓七十六錢三厘ノ割合ヲ以テ換算シタル金額ニ比シ多額ナルトキハ其ノ超過額ニ相當スル金額ヲ限度トシ同行ニ對シ補給金ヲ交付スルコトヲ得

前項ノ補給金額ハ朝鮮總督之ヲ定ム

第二條 前條ノ補給金ハ國債證券ヲ以テ之ヲ交付スルコトヲ得

第三條 政府ハ前條ノ規定ニ依リ交付スル爲必要ナル額ヲ限度トシ公債ヲ發行スルコトヲ得

第四條 本法ニ依リ交付スル國債證券ノ交付價格ハ時價ヲ參酌シテ大藏大臣之ヲ定ム

附則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●庶民金庫法(抜抄)

昭和十三年四月一日
法律第五十八號

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル庶民金庫法ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

庶民金庫法

第五條 政府ハ千萬圓ヲ庶民金庫ニ出資スベシ

前項ノ出資ハ國債證券ヲ交付シテ之ヲ爲スコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ交付スル國債證券ノ交付價格ハ大藏大臣之ヲ定ム

第十八條 庶民金庫ハ左ノ方法ニ依ルノ外業務上ノ餘裕金ヲ運用スルコトヲ得ズ

一 國債、地方債又ハ主務大臣ノ認可ヲ受ケタル有價證券ノ取得ヲ爲スコト

二 大藏省預金部若ハ銀行ヘノ預金又ハ郵便貯金ト爲スコト

附則

第四十二條 本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム(昭和十三年勅令第三百五十九號ヲ以テ同年五月二十日ヨリ施行)

第四十七條 政府ハ第五條ノ規定ニ依リ交付スル爲昭和十三年度ニ於テ額面千萬圓ヲ限リ三分半利附公債ヲ發行スルコトヲ得

●第一回四分利公債規程

明治四十三年二月五日
大藏省令第三號

第一回四分利公債規程左ノ通之ヲ定ム

第一回四分利公債規程

第二類 內國債

舊韓國起業資金貸付ノ爲發行シタル英貨興業債券ノ元利支拂爲替差損補給 庶民金庫法 第一回四分利公債規程

第一條 政府ハ國債整理基金特別會計法第五條第一項ニ依リ公債一億圓ヲ募集ス

第二條 本公債ノ利率ハ一箇年百分ノ四トス

第三條 本公債ノ證券ハ大日本帝國政府四分利公債證書トシ其ノ額面金額ハ五十圓、百圓、五百圓、千圓、五千圓及一萬圓ノ六種トス

第四條 本公債ノ元金ハ明治四十三年ヨリ十箇年据置キ其ノ翌年ヨリ向五十箇年間ニ之ヲ償還ス

第五條 本公債ノ利子仕拂期ハ毎年六月一日及十二月一日トス

第六條 本公債初期ノ利子ハ全半箇年分ヲ附ス

第七條 本公債ノ發行價格ハ額面金額百圓ニ付其ノ最低ヲ九十五圓トス

第八條 本公債ノ應募申込期間ハ明治四十三年二月十九日ヨリ同月二十五日迄トス但シ取扱銀行ハ應募者ノ便宜ニ由リ二月十九日前ト雖申込ヲ受クルコトヲ得

第九條 本公債ノ應募者ハ應募高、應募價格及住所氏名ヲ詳記シタル申込書ニ申込高百圓ニ付五圓ノ保證金ヲ添ヘ之ヲ取扱銀行ニ提出スヘシ

前項ノ應募價格ニハ十錢位ニ滿タサル端數ヲ附スルコトヲ得ス

第十條 從前發行ノ五分利付國債證券又ハ五分利付登錄國債ハ左ニ掲クル代用價格ヲ以テ計算シ本公債應募拂込ノ現金ニ代用スルコトヲ得

一 六月、十二月及五月、十一月利拂ノモノ 額面金額又ハ登錄金額百圓ニ付 百二圓

二 三月、九月利拂ノモノ 同上 百圓七十五錢

無記名國債證券ノ附屬利札中明治四十三年五月以降ノ利拂期ニ屬スルモノ欠缺セルトキハ前項各號ノ代用價格中其ノ欠缺利札ニ於ケル利子相當ノ金額ヲ控除ス

第一項ノ國債ニシテ既ニ當籤又ハ滿期等ニ因リ元金償還期日ノ到來シタルモノハ應募拂込ノ現金ニ代用スルコトヲ得ス

第十一條 國債證券又ハ登錄國債ヲ以テ本公債應募拂込ノ現金ニ代用セムトスル者ハ應募申込ノ際國債證券ニ在リテハ其ノ名稱、額面金額種類及枚數ヲ登錄國債ニ在リテハ其ノ種別、金額、記號、番號及記名ヲ豫告シ又ハ該國債證券ヲ取扱銀行ニ預託シ置クコトヲ要ス

前項ニ依リ甲種國債登錄簿ノ登錄國債代用ノ豫告ヲ爲シ又ハ代用證券ヲ預託スル場合ニ於テハ保證金ヲ納ムルコトヲ要セス

第十二條 本公債ノ應募高、募集豫定額ヲ超過スルトキハ其ノ應募價格ノ高キモノヨリ順次之ヲ採リ募集豫定額ニ滿ツルニ至リテ止ム

第十三條 國債證券又ハ登錄國債ヲ以テ本公債應募拂込ノ現金ニ代用スル者ノ應募高ハ優先ニ募入セララルモノトス

第十四條 本公債ノ應募申込ニ對スル募入ノ決定ハ明治四十三年三月五日迄ニ之ヲ爲シ取扱銀行ヨリ其ノ旨ヲ應募者ニ通知ス

第十五條 前條ニ依リ募入決定ノ通知ヲ受ケタル者ハ左ノ區別ニ從ヒ募入高ニ對スル現金ヲ取扱銀行ニ拂込ムヘシ但シ第一期拂込ハ保證金ヲ以テ之ニ充ツ

第一期 明治四十三年三月五日 金五圓(募入高百圓ニ付)

第二期 同 年同月十五日 金二十圓(同上)

第三期 同 年四月一日 金二十圓(同上)

第四期 同 年五月二日 金五十圓(同上)

最低發行價格ヨリモ高キ價格ヲ以テ申込ヲ爲シタル者ハ第二期拂込ト共ニ其ノ差額ヲ拂込ムヘシ

第十六條 取扱銀行ハ應募者ノ便宜ニ由リ前條第一項ノ各拂込期日前ト雖其拂込ヲ受クルコトヲ得

應募者ハ第二期以後ニ於テ後ノ一期又ハ數期分ヲ前期ニ繰上ケ拂込ヲ爲スコトヲ得

第十七條 無記名國債證券又ハ乙種國債登錄簿ノ登錄國債代用ノ豫告ヲ爲シタル者ハ募入決定ノ通知ヲ受ケタルトキ直ニ其ノ證券ヲ取扱銀行ニ提供スヘシ此ノ場合ニ於テハ第十五條第一項但書ノ規定ニ拘ラス保證金ヲ還付ス

代用ノ豫告ヲ爲シタル甲種國債登錄簿ノ登錄國債及預託シタル國債證券ハ第一期ニ於テ現金ノ拂込ニ代用納付シタルモノト看做ス

第十八條 本公債應募拂込ノ現金ニ代用スル國債證券又ハ登錄國債ノ代用價額カ拂込ムヘキ現金ノ額ヲ超過スルトキハ前條第一項ニ該當スルモノニ在リテハ國債證券提供ノ時ニ於テ、同條第二項ニ該當スルモノニ在リテハ第二期ニ於テ該超過額ニ相當スル現金ヲ拂戻スモノトス但シ現金ノ拂戻ハ五十圓ヲ限度トス

第十九條 本公債應募金ノ拂込ヲ延滞シタル者ハ拂込期限ノ翌日ヨリ現拂込ノ日マテ拂込金百圓ニ付日歩四錢ノ割合ヲ以テ利子ヲ納ムヘシ

前項拂込ヲ延滞シタル者カ拂込期限後三箇月以内ニ拂込ヲ爲ササルトキハ之ニ對スル應募ノ申込ヲ無効トシ既ニ拂込ミタル金額ハ之ヲ政府ノ所得トス

國債證券代用ノ豫告ヲ爲シタル者ニ付テハ第二期ヲ以テ拂込期限ト看做シ前二項ヲ準用ス

第二十條 代用ノ豫告ヲ爲シ又ハ預託ヲ爲シタル國債證券又ハ登錄國債ニ付テハ新規登錄、登錄變更、登錄簿移記、登錄除却及所管店轉換ノ取扱ヲ爲サス但シ相續、遺贈、強制執行又ハ氏名變更ノ場合ハ此ノ限ニ在ラス

第二十一條 本公債ノ應募者第二期ノ拂込ヲ爲シタルトキハ假證券ヲ交付シ拂込完了ノ上之ト引換ニ本證券ヲ交付ス但シ國債規則第二十五條ニ依リ甲種國債登錄簿ニ登錄ノ請求ヲ爲シタル者ニ對シテハ假證券ト引換ニ登錄濟證書ヲ交付ス

前項ノ規定ハ第二期以前ニ拂込ヲ完了シタル場合ニ之ヲ準用ス但シ國債規則第二十五條ニ依リ甲種國債登錄簿ニ登錄ノ請求ヲ爲シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●第二回四分利公債規程

明治四十三年三月十五日
大藏省令第七號

第二回四分利公債規程左ノ通之ヲ定ム

第二回四分利公債規程

第一條 政府ハ國債整理基金特別會計法第五條第一項ニ依リ公債一億圓ヲ募集ス

第二條 本公債ノ利率ハ一箇年百分ノ四トス

第三條 本公債ノ證券ハ大日本帝國政府四分利公債證書トシ其ノ額面金額ハ五十圓、百圓、五百圓、千圓、五千圓及一萬圓ノ六種トス

第四條 本公債ノ元金ハ明治四十三年ヨリ十箇年据置キ其ノ翌年ヨリ向五十箇年間ニ之ヲ償還ス

第五條 本公債ノ利子仕拂期ハ毎年三月一日及九月一日トス

第六條 本公債初期ノ利子ハ全半箇年分ヲ附ス

第七條 本公債ノ發行價格ハ額面金額百圓ニ付其ノ最低ヲ九十五圓トス

第八條 本公債ノ應募申込期間ハ明治四十三年四月四日ヨリ同月十一日迄トス但シ取扱銀行ハ應募者ノ便宜ニ由リ四月四日

前ト雖申込ヲ受クルコトヲ得

第九條 本公債ノ應募者ハ應募高、應募價格及住所氏名ヲ詳記シタル申込書ニ申込高百圓ニ付五圓ノ保證金ヲ添ヘ之ヲ取扱

銀行ニ提出スヘシ但シ官廳及公共團體ノ申込ニ付テハ保證金ヲ要セス

前項ノ應募價格ニ八十錢位ニ滿タサル端數ヲ附スルコトヲ得ス

第十條 從前發行ノ五分利付國債證券又ハ五分利付登錄國債ハ左ニ掲クル代用價格ヲ以テ計算シ本公債應募拂込ノ現金ニ代用スルコトヲ得但シ本令施行前ニ元金償還期日ノ既ニ到來シ又ハ確定シタルモノノ代用價格ハ其ノ元金額ニ利子ノ未拂金額ヲ加ヘタルモノニ依ル

- 一 六月、十二月利拂ノモノ 額面金額又ハ登錄金額百圓ニ付 百二圓九十錢
- 二 三月、九月利拂ノモノ 同 上 百一圓六十五錢

無記名國債證券ノ附屬利札中明治四十三年六月以降又ハ元金償還期日以後ノ利拂期ニ屬スルモノ欠缺セルトキハ前項ノ代用價格中其ノ欠缺利札ニ於ケル利子相當ノ金額ヲ控除ス

第十一條 國債證券又ハ登錄國債ヲ以テ本公債應募拂込ノ現金ニ代用セムトスル者ハ應募申込ノ際國債證券ニ在リテハ其ノ名稱、額面金額種類及枚數ヲ、登錄國債ニ在リテハ其ノ種別、金額、記號、番號及記名ヲ豫告シ又ハ該國債證券ヲ取扱銀行ニ預託シ置クコトヲ要ス

前項ニ依リ甲種國債登錄簿ノ登錄國債代用ノ豫告ヲ爲シ又ハ代用證券ヲ預託スル場合ニ於テハ保證金ヲ納ムルコトヲ要セス

第十二條 本公債ノ應募高、募集豫定額ヲ超過スルトキハ其ノ應募價格ノ高キモノヨリ順次之ヲ採リ募集豫定額ニ滿ツルニ至リテ止ム

第十三條 國債證券又ハ登錄國債ヲ以テ本公債應募拂込ノ現金ニ代用スル者ノ應募高ハ同一價格ニ於テ現金拂込ノモノニ對シ優先ニ募入セラルルモノトス

第十四條 本公債ノ應募申込ニ對スル募入ノ決定ハ明治四十三年四月十九日迄ニ之ヲ爲シ取扱銀行ヨリ其ノ旨ヲ應募者ニ通知ス

第十五條 前條ニ依リ募入決定ノ通知ヲ受ケタル者ハ左ノ區別ニ從ヒ募入高ニ對スル現金ヲ取扱銀行ニ拂込ムヘシ但シ第一

期拂込ハ保證金ヲ以テ之ニ充ツ

- 第一期 明治四十三年四月十九日 金五圓(募入高百圓ニ付)
- 第二期 同 年五月三十日 金二十圓(同上)
- 第三期 同 年六月三十日 金二十圓(同上)
- 第四期 同 年八月十日 金五十圓(同上)

最低發行價格ヨリモ高キ價格ヲ以テ申込ヲ爲シタル者ハ第二期拂込ト共ニ其ノ差額ヲ拂込ムヘシ

第十六條 取扱銀行ハ應募者ノ便宜ニ由リ前條第一項ノ各拂込期日前ト雖其ノ拂込ヲ受クルコトヲ得 應募者ハ第二期以後ニ於テ後ノ一期又ハ數期分ヲ繰上ケ拂込ヲ爲スコトヲ得

第十七條 無記名國債證券又ハ乙種國債登錄簿ノ登錄國債代用ノ豫告ヲ爲シタル者ハ募入決定ノ通知ヲ受ケタルトキ直ニ其ノ證券ヲ取扱銀行ニ提供スヘシ此ノ場合ニ於テハ第十五條第一項但書ノ規定ニ拘ラス保證金ヲ還付ス

代用ノ豫告ヲ爲シタル甲種國債登錄簿ノ登錄國債及預託シタル國債證券ハ第一期ニ於テ現金ノ拂込ニ代用納付シタルモノト看做ス

第十八條 本公債應募拂込ノ現金ニ代用スル國債證券又ハ登錄國債ノ代用價額カ拂込ムヘキ現金ノ額ヲ超過スルトキハ前條第一項ニ該當スルモノニ在リテハ國債證券提供ノ時、同條第二項ニ該當スルモノニ在リテハ募入決定後該超過額ニ相當スル現金ヲ拂戻スモノトス但シ現金ノ拂戻ハ五十圓ヲ限度トス

第十九條 本公債應募金ノ拂込ヲ延滞シタル者ハ拂込期限ノ翌日ヨリ現拂込ノ日マテ拂込金百圓ニ付日歩三錢ノ割合ヲ以テ利子ヲ納ムヘシ

前項拂込ヲ延滞シタル者カ拂込期限後三箇月以内ニ拂込ヲ爲ササルトキハ之ニ對スル應募ノ申込ヲ無効トシ既ニ拂込ミタル金額ハ之ヲ政府ノ所得トス

國債證券代用ノ豫告ヲ爲シタル者ニ付テハ第二期ヲ以テ拂込期限ト看做シ前二項ヲ準用ス

第二十條 代用ノ豫告ヲ爲シ又ハ預託ヲ爲シタル國債證券又ハ登録國債ニ付テハ新規登録、登録變更、登録簿移記、登録除却及所管店轉換ノ取扱ヲ爲サス但シ相續、遺贈、強制執行又ハ氏名變更ノ場合ハ此ノ限ニ在ラス

第二十一條 本公債ノ應募者第二期ノ拂込ヲ爲シタルトキハ假證券ヲ交付シ拂込完了ノ上之ト引換ニ本證券ヲ交付ス但シ國債規則第二十五條ニ依リ甲種國債登録簿ニ登録ノ請求ヲ爲シタル者ニ對シテハ假證券ト引換ニ登録濟證書ヲ交付ス

前項ノ規定ハ第二期以前ニ拂込ヲ完了シタル場合ニ之ヲ準用ス但シ國債規則第二十五條ニ依リ甲種國債登録簿ニ登録ノ請求ヲ爲シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●四分利公債交付規程

明治四十三年五月六日
大藏省令第二十三號

第一條 五分利付國債償還ノ場合ニ於テ債權者ノ望アルトキハ政府ハ償還元金ノ代リトシテ額面百圓ニ付九十五圓ノ割合ヲ以テ國債整理基金特別會計法第五條ニ依リ四分利公債ヲ交付ス

前項ニ依リ交付スル公債ハ第一回四分利公債トス

第二條 前條ニ依リ四分利公債ノ交付ヲ受ケムトスル者ハ五分利付國債ニ對スル元金ノ償還ヲ請求スルト同時ニ其ノ旨ヲ取扱銀行ニ申込ムヘシ

前項ノ請求ハ償還期日ノ到來セサル國債ニ付テモ之ヲ爲スコトヲ得此ノ場合ニ於テハ其ノ請求ノ時ヲ以テ償還期日ト看做ス

第三條 本公債ノ利子ハ申込ノ日ノ屬スル月ノ一日ヨリ之ヲ起算ス

明治四十三年六月一日渡利子ニ限り領收證書ト引換ニ之ヲ其ノ引受人ニ仕拂フ

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●三分半利國庫債券(は號)發行規程

昭和十一年六月四日
大藏省令第十八號

三分半利國庫債券(は號)發行規程左ノ通定ム

三分半利國庫債券(は號)發行規程

第一條 政府ハ國債整理基金特別會計法第五條ニ依リ昭和十一年七月十五日三分半利國庫債券(は號)額面三億六千五百五十九萬圓ヲ發行ス

第二條 本國庫債券ノ額面金額ハ五十圓、百圓、五百圓、千圓、五千圓、一萬圓及十萬圓ノ七種トス

第三條 本國庫債券ノ發行價格ハ左ノ區別ニ依ル

一 現金拂込ヲ爲スモノ

額面金額百圓ニ付九十八圓

二 第九條ノ規定ニ依リ國債代用拂込ヲ爲スモノ

額面金額百圓ニ付九十七圓五十錢

第四條 本國庫債券ノ元金ハ昭和二十五年三月一日迄ニ額面金額ヲ以テ之ヲ償還ス

第五條 本國庫債券ノ利率ハ年三分五厘トス

第六條 本國庫債券ノ利子支拂期ハ毎年三月一日及九月一日ノ二回トス

第七條 本國庫債券ノ昭和十一年九月一日以前ニ屬スル利子ハ額面金額百圓ニ付四十六錢トス

第八條 第三條第一號ノ現金拂込ニ依ル應募ノ申込ハ日本銀行ニ限り之ヲ爲スコトヲ得

第九條 五分利國庫債券(第四十一回、第四十二回、第五十回、第五十一回、第五十二回、第五十三回)ハ額面金額百圓ニ付

第二類 內國債

四分利公債交付規程 三分半利國庫債券(は號)發行規程

百圓六十錢ノ割合ヲ以テ本國庫債券拂込ノ現金ニ代用スルコトヲ得但シ昭和十一年九月一日渡以降ノ利札中欠缺セルモノアルトキハ之ニ相當スル金額ヲ控除ス

第十條 本國庫債券ノ應募申込ハ日本銀行本店又ハ支店ニ爲スコトヲ要ス但シ大正十一年五月大藏省令第四十二號寄託又供託セル國債ノ國債應募拂込現金代用ニ關スル特別取扱規程ニ依リ日本銀行代理店ニ應募申込ヲ爲スヘキ場合ハ此ノ限ニ在ラス

第十一條 本國庫債券ノ應募申込期間ハ昭和十一年七月一日ヨリ同月六日迄トス但シ取扱銀行ハ應募者ノ便宜ニ依リ昭和十一年七月一日前ト雖應募申込ヲ受クルコトヲ得

第十二條 本國庫債券ノ應募申込ハ之ヲ取消スコトヲ得ス

第十三條 本國庫債券ノ應募者ハ左記事項ヲ記載シタル應募申込書ニ記名捺印シ之ヲ取扱銀行ニ提出スヘシ證券ヲ以テ代用拂込ヲ爲スモノハ該證券ヲモ提出スルコトヲ要ス

一 應募額

二 證券ヲ以テ代用拂込ヲ爲スモノハ其ノ國債ノ名稱、記號、記名無記名ノ區別及各其ノ額面總額

甲種登錄國債ヲ以テ代用拂込ヲ爲スモノハ其ノ國債ノ名稱、記號、登錄番號及登錄金額

三 應募者ノ住所

第十四條 本國庫債券ノ應募總額カ發行額ヲ超過スルトキハ各應募申込ニ對シ適宜募入額ヲ定ム

第十五條 本國庫債券ノ應募申込ニ對スル募入額ハ昭和十一年七月十一日迄ニ之ヲ決定シ應募者ニ通知ス

第十六條 本國庫債券ノ應募申込其ノ他ノ事項ニ關シテハ前八條ノ規定ニ依ルノ外左記各號ノ規定ニ依ル

一 登錄國債代用拂込ノ應募申込アリタルトキハ其ノ登錄國債ニ對シ質權設定ノ登錄請求アリタルモノト看做ス

二 募入決定ノ代用國債ハ昭和十一年七月十五日ニ於テ之ヲ拂込ミタルモノト看做ス

三 全部募入外ト爲リタル應募申込ニ付引渡ヲ爲シタル代用證券ハ引渡ヲ爲シタル者ノ請求ニ依リ之ヲ還付ス

四 全部募入外ト爲リタル代用登錄國債ノ質權ノ登錄ハ募入決定ノ日ニ於テ之ヲ抹消ス

五 代用國債ノ代用價額カ拂込金額ニ超過スルトキハ其ノ超過額ハ昭和十一年七月十五日以後領收證書ト引換ニ之ヲ支拂フ

第十七條 本國庫債券ノ應募者證券ヲ以テ代用申込ヲ爲シタルトキハ領收證書ヲ交付シ募入決定ノモノニ對シテハ追テ之ト引換ニ無記名國債證券ヲ交付ス但シ國債規則第二十七條ノ規定ニ依リ登錄ノ請求ヲ爲シタルモノニ對シテハ領收證書ト引換ニ登錄濟通知書又ハ記名國債證券ヲ交付ス

甲種登錄國債ヲ以テ代用申込ヲ爲シタルモノニシテ募入決定ノモノニ對シテハ其ノ登錄ヲ除却シタル後前項ノ規定ニ準シ證券又ハ登錄濟通知書ヲ交付ス

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

代用拂込甲種登錄國債ハ應募申込書ニ依リ又代用拂込乙種登錄國債ハ應募申込書及證券ニ依リ其ノ登錄ヲ除却ス

●三分半利國庫債券(に號)發行規程

昭和十一年七月十三日
大藏省令第二十四號

三分半利國庫債券(に號)發行規程左ノ通定ム

三分半利國庫債券(に號)發行規程

第一條 政府ハ國債整理基金特別會計法第五條ニ依リ昭和十一年八月十五日三分半利國庫債券(に號)額面五億九千七百萬圓ヲ發行ス

第二條 本國庫債券ノ額面金額ハ五十圓、百圓、五百圓、千圓、五千圓、一萬圓及十萬圓ノ七種トス

第二類 內國債 三分半利國庫債券(に號)發行規程

第三條 本國庫債券ノ發行價格ハ左ノ區別ニ依ル

一 現金拂込ヲ爲スモノ

額面金額百圓ニ付九十八圓

二 第九條ノ規定ニ依リ國債代用拂込ヲ爲スモノ

額面金額百圓ニ付九十七圓五十錢

第四條 本國庫債券ノ元金ハ昭和二十五年十二月一日迄ニ額面金額ヲ以テ之ヲ償還ス

第五條 本國庫債券ノ利率ハ年三分五厘トス

第六條 本國庫債券ノ利子支拂期ハ毎年六月一日及十二月一日ノ二回トス

第七條 本國庫債券ノ昭和十一年十二月一日以前ニ屬スル利子ハ額面金額百圓ニ付一圓四錢トス

第八條 第三條第一號ノ現金拂込ニ依ル應募ノ申込ハ日本銀行ニ限り之ヲ爲スコトヲ得

第九條 五分利國庫債券(第五十四回、第五十五回、第五十六回、第六十一回、第四十三回、第四十五回、第四十六回、第四十七回)ノ元金ハ額面金額ヲ以テ本國庫債券拂込ノ現金ニ代用スルコトヲ得但シ昭和十一年九月一日渡以降ノ利札中欠缺セルモノアルトキハ之ニ相當スル金額ヲ控除ス

前項代用國債ノ昭和十一年六月二日ヨリ八月十五日迄ノ利子ハ昭和十一年八月十五日以後應募申込アリタル取扱銀行ニ於テ領收證書ト引換ニ之ヲ支拂フ

第十條 本國庫債券ノ應募申込ハ日本銀行本店又ハ支店ニ爲スコトヲ要ス但シ大正十一年五月大藏省令第四十二號寄託又ハ供託セル國債ノ國債應募拂込現金代用ニ關スル特別取扱規程ニ依リ日本銀行代理店ニ應募申込ヲ爲スヘキ場合ハ此ノ限ニ在ラス

第十一條 本國庫債券ノ應募申込期間ハ昭和十一年七月二十九日ヨリ八月四日迄トス但シ取扱銀行ハ應募者ノ便宜ニ依リ昭和十一年七月二十九日前ト雖應募申込ヲ受クルコトヲ得

第十二條 本國庫債券ノ應募申込ハ之ヲ取消スコトヲ得ス

第十三條 本國庫債券ノ應募者ハ左記事項ヲ記載シタル應募申込書ニ記名捺印シ之ヲ取扱銀行ニ提出スヘシ證券ヲ以テ代用拂込ヲ爲スモノハ該證券ヲモ提出スルコトヲ要ス

一 應募額

二 證券ヲ以テ代用拂込ヲ爲スモノハ其ノ國債ノ名稱、記號、記名無記名ノ區別及各其ノ額面總額

甲種登錄國債ヲ以テ代用拂込ヲ爲スモノハ其ノ國債ノ名稱、記號、登錄番號及登錄金額

三 應募者ノ住所

第十四條 本國庫債券ノ應募總額カ發行額ヲ超過スルトキハ各應募申込ニ對シ適宜募入額ヲ定ム

第十五條 本國庫債券ノ應募申込ニ對スル募入額ハ昭和十一年八月十日迄ニ之ヲ決定シ應募者ニ通知ス

第十六條 本國庫債券ノ應募申込其ノ他ノ事項ニ關シテハ前八條ノ規定ニ依ルノ外左記各號ノ規定ニ依ル

一 登錄國債代用拂込ノ應募申込アリタルトキハ其ノ登錄國債ニ對シ質權設定ノ登錄請求アリタルモノト看做ス

二 募入決定ノ代用國債ハ昭和十一年八月十五日ニ於テ之ヲ拂込ミタルモノト看做ス

三 全部募入外ト爲リタル應募申込ニ付引渡ヲ爲シタル代用證券ハ引渡ヲ爲シタル者ノ請求ニ依リ之ヲ還付ス

四 全部募入外ト爲リタル代用登錄國債ノ質權ノ登錄ハ募入決定ノ日ニ於テ之ヲ抹消ス

第十七條 本國庫債券ノ應募者證券ヲ以テ代用申込ヲ爲シタルトキハ領收證書ヲ交付シ募入決定ノモノニ對シテハ追テ之ヲ引換ニ無記名國債證券ヲ交付ス但シ國債規則第二十七條ノ規定ニ依リ登錄ノ請求ヲ爲シタルモノニ對シテハ領收證書ト引換ニ登錄濟通知書又ハ記名國債證券ヲ交付ス

甲種登錄國債ヲ以テ代用申込ヲ爲シタルモノニシテ募入決定ノモノニ對シテハ其ノ登錄ヲ除却シタル後前項ノ規定ニ準シ證券又ハ登錄濟通知書ヲ交付ス

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

代用拂込甲種登録國債ハ應募申込書ニ依リ又代用拂込乙種登録國債ハ應募申込書及證券ニ依リ其ノ登録ヲ除却ス

●三分半利國庫債券(ほ號)發行規程

昭和十一年八月十一日
大藏省令第二十六號

三分半利國庫債券(ほ號)發行規程左ノ通定ム

三分半利國庫債券(ほ號)發行規程

- 第一條 政府ハ國債整理基金特別會計法第五條ニ依リ昭和十一年九月十五日三分半利國庫債券(ほ號)額面四億圓ヲ發行ス
- 第二條 本國庫債券ノ額面金額ハ五十圓、百圓、五百圓、千圓、五千圓、一萬圓及十萬圓ノ七種トス
- 第三條 本國庫債券ノ發行價格ハ左ノ區別ニ依ル
 - 一 現金拂込ヲ爲スモノ 額面金額百圓ニ付九十八圓
 - 二 第九條ノ規定ニ依リ國債代用拂込ヲ爲スモノ 額面金額百圓ニ付九十七圓五十錢
- 第四條 本國庫債券ノ元金ハ昭和二十六年六月一日迄ニ額面金額ヲ以テ之ヲ償還ス
- 第五條 本國庫債券ノ利率ハ年三分五厘トス
- 第六條 本國庫債券ノ利子支拂期ハ毎年六月一日及十二月一日ノ二回トス
- 第七條 本國庫債券ノ昭和十一年十二月一日以前ニ屬スル利子ハ額面金額百圓ニ付七十四錢トス
- 第八條 第三條第一號ノ現金拂込ニ依ル應募ノ申込ハ日本銀行ニ限り之ヲ爲スコトヲ得
- 第九條 五分利國庫債券(第五十七回、第五十八回、第四十八回、第四十九回)ノ元金ハ額面金額ヲ以テ本國庫債券拂込ノ現金ニ代用スルコトヲ得但シ昭和十一年十二月一日渡以降ノ利札中欠缺セルモノアルトキハ之ニ相當スル金額ヲ控除ス

前項代用國債ノ昭和十一年九月二日ヨリ九月十五日迄ノ利子ハ昭和十一年九月十五日以後應募申込アリタル取扱銀行ニ於テ領收證書ト引換ニ之ヲ支拂フ

第十條 本國庫債券ノ應募申込ハ日本銀行本店又ハ支店ニ爲スコトヲ要ス但シ大正十一年五月大藏省令第四十二號寄託又ハ供託セル國債ノ國債應募拂込現金代用ニ關スル特別取扱規程ニ依リ日本銀行代理店ニ應募申込ヲ爲スヘキ場合ハ此ノ限ニ在ラス

第十一條 本國庫債券ノ應募申込期間ハ昭和十一年八月二十八日ヨリ九月四日迄トス但シ取扱銀行ハ應募者ノ便宜ニ依リ昭和十一年八月二十八日前ト雖應募申込ヲ受クルコトヲ得

第十二條 本國庫債券ノ應募申込ハ之ヲ取消スコトヲ得ス

第十三條 本國庫債券ノ應募者ハ左記事項ヲ記載シタル應募申込書ニ記名捺印シ之ヲ取扱銀行ニ提出スヘシ證券ヲ以テ代用拂込ヲ爲スモノハ該證券ヲモ提出スルコトヲ要ス

一 應募額

二 證券ヲ以テ代用拂込ヲ爲スモノハ其ノ國債ノ名稱、記號、記名、無記名ノ區別及各其ノ額面總額

甲種登録國債ヲ以テ代用拂込ヲ爲スモノハ其ノ國債ノ名稱、記號、登録番號及登録金額

三 應募者ノ住所

第十四條 本國庫債券ノ應募總額カ發行額ヲ超過スルトキハ各應募申込ニ對シ適宜募入額ヲ定ム

第十五條 本國庫債券ノ應募申込ニ對スル募入額ハ昭和十一年九月十日迄ニ之ヲ決定シ應募者ニ通知ス

第十六條 本國庫債券ノ應募申込其ノ他ノ事項ニ關シテハ前八條ノ規定ニ依ルノ外左記各號ノ規定ニ依ル

- 一 登録國債代用拂込ノ應募申込アリタルトキハ其ノ登録國債ニ對シ質權設定ノ登録請求アリタルモノト看做ス
- 二 募入決定ノ代用國債ハ昭和十一年九月十五日ニ於テ之ヲ拂込ミタルモノト看做ス

第二類 內國債 三分半利國庫債券(ほ號)發行規程

- 三 全部募入外ト爲リタル應募申込ニ付引渡ヲ爲シタル代用證券ハ引渡ヲ爲シタル者ノ請求ニ依リ之ヲ還付ス
- 四 全部募入外ト爲リタル代用登錄國債ノ質權ノ登錄ハ募入決定ノ日ニ於テ之ヲ抹消ス
- 五 代用國債ノ代用價額カ拂込金額ニ超過スルトキハ其ノ超過額ハ昭和十一年九月十五日以後領收證書ト引換ニ之ヲ支拂フ

第十七條 本國庫債券ノ應募者證券ヲ以テ代用申込ヲ爲シタルトキハ領收證書ヲ交付シ募入決定ノモノニ對シテハ追テ之ト引換ニ無記名國債證券ヲ交付ス但シ國債規則第二十七條ノ規定ニ依リ登錄ノ請求ヲ爲シタルモノニ對シテハ領收證書ト引換ニ登錄濟通知書又ハ記名國債證券ヲ交付ス

甲種登錄國債ヲ以テ代用申込ヲ爲シタルモノニシテ募入決定ノモノニ對シテハ其ノ登錄ヲ除却シタル後前項ノ規定ニ準シ證券又ハ登錄濟通知書ヲ交付ス

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

代用拂込甲種登錄國債ハ應募申込書ニ依リ又代用拂込乙種登錄國債ハ應募申込書及證券ニ依リ其ノ登錄ヲ除却ス

●五分利公債(ふ號)發行ノ件

大正七年三月十八日
大藏省告示第三十四號

大正七年發行

- 一 大日本帝國政府五分利公債證書(ふ號)額面三百萬圓
- 償還期限 發行ノ年ヨリ五年据置キ其ノ翌年ヨリ五十年内
- 利率 年五分
- 利子仕拂期 三月一日、九月一日

初期利子(大正七年
九月一日渡)

額面百圓ニ付二圓三十錢

右ハ電話事業公債法ニ依リ大正七年三月十八日之ヲ發行セリ

●五分利公債(え號)發行ノ件

大正八年三月二十日
大藏省告示第四十七號

大正八年發行

- 一 大日本帝國政府五分利公債證書(え號)額面五百二十萬圓
- 發行價格 額面百圓ニ付九十一圓
- 償還期限 發行ノ年ヨリ五年据置キ其ノ翌年ヨリ五十年内
- 利率 年五分
- 利子仕拂期 三月一日、九月一日
- 利子起算日 發行ノ日

右ハ臺灣事業公債法及樺太事業公債法ニ依リ本日之ヲ發行セリ

●五分利公債(え號)發行ノ件

大正八年五月九日
大藏省告示第八十二號

大正八年發行

- 一 大日本帝國政府五分利公債證書(え號)額面百六萬三千七百五十圓
- 償還期限 發行ノ年ヨリ五年据置キ其ノ翌年ヨリ五十年内
- 利率 年五分
- 利子仕拂期 三月一日、九月一日

第二類 內國債 五分利公債(ふ號)發行ノ件 同(え號)發行ノ件

利子起算日 大正八年四月一日
右ハ大正八年法律第三十二號ニ依リ之ヲ發行セリ

●五分利公債(さ號)發行ノ件

大正十年七月十五日
大藏省告示第百六號

大正十年發行

一 大日本帝國政府五分利公債證書(さ號)額面百八萬千圓
償還期限 發行ノ年ヨリ五年据置キ其ノ翌年ヨリ五十年内
利率 年五分
利子仕拂期 三月一日、六月一日、九月一日、十二月一日
利子起算日 大正九年十二月六日
右ハ大正十年法律第三十九號ニ依リ之ヲ發行セリ

●五分利公債(あ號)發行ノ件

大正十年十一月二十二日
大藏省告示第百六十三號

大正九年發行

一 大日本帝國政府五分利公債證書(あ號)額面千二百八十三萬二千六百圓
償還期限 發行ノ年ヨリ五年据置キ其ノ翌年ヨリ五十年内
利率 年五分
利子仕拂期 三月一日、九月一日
利子起算日 大正九年九月一日

右大正九年法律第五十五號ニ依リ之ヲ發行ス

●五分利公債(き號)發行ノ件

大正十一年六月五日
大藏省告示第百八十七號

一 五分利公債(き號)額面百十五萬圓
償還期限 發行ノ年ヨリ五年据置キ其ノ翌年ヨリ五十年内
利率 年五分
利子仕拂期 三月一日、六月一日、九月一日及十二月一日
利子起算日 大正十一年四月二十日
右臺灣事業公債法第一條ニ依リ之ヲ發行ス

●五分利公債(き號)發行ノ件

大正十一年八月二十一日
大藏省告示第百二十六號

一 五分利公債(き號)額面二十六萬七千六百圓
償還期限 發行ノ年ヨリ五年据置キ其ノ翌年ヨリ五十年内
利率 年五分
利子仕拂期 三月一日、六月一日、九月一日、十二月一日
利子起算日 發行額ノ内 二十二萬七千圓 大正十年十二月十四日
四萬五百圓 大正十一年三月一日
右大正十一年法律第五號ニ依リ之ヲ發行ス

第二類 内國債 五分利公債(さ號)、(あ號)、(き號)發行ノ件

●五分利公債(き號)發行ノ件

大正十一年九月八日
大藏省告示第三百十號

一 五分利公債(き號)額面五十三萬四千三百圓

償還期限 發行ノ年ヨリ五年据置キ其ノ翌年ヨリ五十年内

利率 年五分

利子支拂期 三月一日、六月一日、九月一日及十二月一日

利子起算日 大正十一年六月十五日

右大正十一年法律第三十號ニ依リ之ヲ發行ス

●五分利公債(き號)發行ノ件

大正十一年十二月二十六日
大藏省告示第七十一號

一 五分利公債(き號)額面五拾六萬九千參百五拾圓

償還期限 發行ノ年ヨリ五年据置キ其ノ翌年ヨリ五十年内

利率 年五分

利子支拂期 三月一日、六月一日、九月一日及十二月一日

利子起算日 大正十一年十二月一日

右大正十一年法律第三十號ニ依リ之ヲ發行ス

●五分利公債(ゆ號)發行ノ件

大正十二年七月二十日
大藏省告示第九十九號

一 五分利公債(ゆ號)額面二十萬九千九百圓

償還期限 發行ノ年ヨリ五年据置キ其ノ翌年ヨリ五十年内

利率 年五分

利子支拂期 三月一日、六月一日、九月一日、十二月一日

利子起算日 大正十一年十二月二十日

右大正十二年法律第二十四號ニ依リ之ヲ發行ス

●五分利公債(め號)發行ノ件

大正十三年三月三十一日
大藏省告示第六十五號

一 五分利公債(め號)額面三百五十萬圓

發行價格 額面百圓ニ付八十四圓

償還期限 發行ノ年ヨリ五年据置キ其ノ翌年ヨリ向五十年内

利率 年五分

初期利子(大正十三年六月一日渡) 額面百圓ニ付八十八錢

右帝國鐵道會計法第二條ニ依リ大正十三年三月二十九日之ヲ發行ス

●五分利公債(み號)發行ノ件

大正十四年二月十三日
大藏省告示第三十號

一 五分利公債(み號)額面四百五十萬圓

發行價格 額面百圓ニ付八十三圓

償還期限 發行ノ年ヨリ五年据置キ其ノ翌年ヨリ向五十年内

利率 年五分

第二類 内國債 五分利公債(き號)、(ゆ號)、(め號)、(み號)發行ノ件

初期利子(大正十四年三月一日渡) 額面百圓ニ付二十三錢
右帝國鐵道會計法第二條ニ依リ本日之ヲ發行ス

●五分利公債(み號)發行ノ件

大正十四年四月二日
大藏省告示第五十四號

一 五分利公債(み號)額面一億二千萬圓
發行價格 額面百圓ニ付八十五圓
償還期限 發行ノ年ヨリ五年据置キ其ノ翌年ヨリ向五十年内
利率 年五分
初期利子(大正十四年六月一日渡) 額面百圓ニ付八十六錢
右震災善後公債法第一條ニ依リ大正十四年三月三十一日之ヲ發行セリ

●五分利公債(み號)發行ノ件

大正十四年四月二日
大藏省告示第五十五號

一 五分利公債(み號)額面三千萬圓
發行價格 額面百圓ニ付八十五圓
償還期限 發行ノ年ヨリ五年据置キ其ノ翌年ヨリ向五十年内
利率 年五分
初期利子(大正十四年六月一日渡) 額面百圓ニ付八十五錢
右震災善後公債法第一條ニ依リ大正十四年四月一日之ヲ發行セリ

●五分利公債(み號)發行ノ件

大正十四年五月八日
大藏省告示第七十五號

一 五分利公債(み號)額面六千二百三十萬圓
發行價格 額面百圓ニ付八十五圓
償還期限 發行ノ年ヨリ五年据置キ其ノ翌年ヨリ向五十年内
利率 年五分
初期利子(大正十四年六月一日渡) 額面百圓ニ付三十四錢
右國債整理基金特別會計法第五條ニ依リ本日之ヲ發行ス

●五分利公債(み號)發行ノ件

大正十四年十二月二十八日
大藏省告示第八十三號

一 五分利公債(み號)額面五十七萬八千五百五十圓
償還期限 發行ノ年ヨリ五年据置キ其ノ翌年ヨリ向五十年内
利率 年五分
利子起算日 大正十四年三月六日
右大正十四年法律第四十九號ニ依リ之ヲ發行ス

●五分利公債(み號)發行ノ件

大正十四年十二月二十八日
大藏省告示第八十四號

一 五分利公債(み號)額面百七十三萬二千六百圓
償還期限 發行ノ年ヨリ五年据置キ其ノ翌年ヨリ向五十年内
第二類 內國債 五分利公債(み號)發行ノ件

利率 年五分
利子起算日 大正十四年六月一日
右大正十四年法律第五十號ニ依リ之ヲ發行ス

●五分利公債(み號)發行ノ件 大正十五年三月二十五日
大藏省告示第三十六號

一 五分利公債(み號)額面七萬九百五十圓
償還期限 發行ノ年ヨリ五年据置キ其ノ翌年ヨリ向五十年内
利率 年五分
利子起算日 大正十四年二月十七日
右大正十四年法律第四十九號ニ依リ之ヲ發行ス

●五分利公債(ひ號)發行ノ件 大正十五年四月一日
大藏省告示第四十三號

一 五分利公債(ひ號)額面八千二百九十萬二千五百五十圓
發行價格 額面百圓ニ付八十六圓三十錢
償還期限 發行ノ年ヨリ五年据置キ其ノ翌年ヨリ向五十年内
利率 年五分
初期利子(大正十五年六月一日渡) 額面百圓ニ付八十四錢
右大正十五年法律第四十一號第六條ニ依リ大正十五年四月一日之ヲ發行セリ

●五分利公債(ひ號)發行ノ件 大正十五年四月二十二日
大藏省告示第五十三號

一 五分利公債(ひ號)額面千七百萬圓
發行價格 額面百圓ニ付八十六圓五十錢
償還期限 發行ノ年ヨリ五年据置キ其ノ翌年ヨリ向五十年内
利率 年五分
初期利子(大正十五年六月一日渡) 額面百圓ニ付五十七錢
右朝鮮事業公債法第一項及樺太事業公債法第一條ニ依リ大正十五年四月二十一日之ヲ發行セリ

●五分利公債(ひ號)發行ノ件 大正十五年八月十二日
大藏省告示第七號

一 五分利公債(ひ號)額面一千九萬二千五百二十五圓也
償還期限 發行ノ年ヨリ五年据置キ其ノ翌年ヨリ向五十年内
利率 年五分
利子起算日 大正十五年七月十日
右大正十五年法律第五十一號ニ依リ之ヲ發行セリ

●五分利公債(ひ號)發行ノ件 大正十五年十二月十日
大藏省告示第七十號

一 五分利公債(ひ號)額面九百八十萬七千四百七十五圓
償還期限 發行ノ年ヨリ五年据置キ其ノ翌年ヨリ向五十年内
第二類 内國債 五分利公債(み號)、(ひ號)發行ノ件

利率 年五分
利子起算日 大正十五年七月十日
右大正十五年法律第五十一號ニ依リ之ヲ發行セリ

●五分利公債(ひ號)發行ノ件 大正十五年十二月二十四日
大藏省告示第八十號

一 五分利公債(ひ號)額面六十五萬八千百圓
償還期限 發行ノ年ヨリ五年据置キ其ノ翌年ヨリ向五十年内
利率 年五分
利子起算日 大正十五年九月二十五日
大正十五年法律第五十九號ニ依リ之ヲ發行ス

●五分利公債(も號)發行ノ件 昭和二年一月八日
大藏省告示第二號

一 五分利公債(も號)額面二千七百萬圓
發行價格 額面百圓ニ付八十六圓三十錢
償還期限 發行ノ年ヨリ五年据置キ其ノ翌年ヨリ五十年内
利率 年五分
初期利子(昭和二年三月一日渡) 額面百圓ニ付七十四錢
右震災善後公債法第一條ニ依リ昭和二年一月七日之ヲ發行セリ

●五分利公債(も號)發行ノ件 昭和二年三月十九日
大藏省告示第四十一號

一 五分利公債(も號)額面千三百萬圓
發行價格 額面百圓ニ付八十六圓六十錢
償還期限 發行ノ年ヨリ五年据置キ其ノ翌年ヨリ五十年内
利率 年五分
初期利子(昭和二年六月一日渡) 額面百圓ニ付一圓四錢
右帝國鐵道會計法第二條ニ依リ昭和二年三月十八日之ヲ發行セリ

●五分利公債(も號)發行ノ件 昭和二年五月二十日
大藏省告示第八十九號

一 五分利公債(も號)額面四百三十二萬三千九百圓也
償還期限 發行ノ年ヨリ五年据置キ其ノ翌年ヨリ向五十年内
利率 年五分
利子支拂期 三月一日、六月一日、九月一日及十二月一日
利子起算日 昭和二年四月三十日
右臺灣事業公債法第一條ニ依リ昭和二年五月十九日之ヲ發行セリ

●五分利公債(も號)發行ノ件 昭和二年八月八日
大藏省告示第三百三十五號

一 五分利公債(も號)額面三百三十四萬六千九百五十圓
第二類 內國債 五分利公債(ひ號)、(も號)發行ノ件

償還期限 發行ノ年ヨリ五年据置キ其ノ翌年ヨリ向五十年内
 利率 年五分
 利子起算日 昭和二年六月一日

右昭和二年法律第二十九號ニ依リ(陸奥鐵道株式會社所屬鐵道買收ノ分)之ヲ發行ス

●五分利公債(も號)發行ノ件 昭和二年八月十日 大藏省告示第百三十八號

一 五分利公債(も號)額面五千二百三萬六千三百二十五圓
 發行價格 額面百圓ニ付八十六圓九十一錢
 償還期限 發行ノ年ヨリ五年据置キ其ノ翌年ヨリ向五十年内
 利率 年五分

初期利子(昭和二年九月初一日渡) 額面百圓ニ付三十二錢

右大正十五年法律第四十一號第六條ニ依リ昭和二年八月九日之ヲ發行セリ

●五分利公債(も號)發行ノ件 昭和二年十二月二十日 大藏省告示第百二十七號

一 五分利公債(も號)額面六千八百四十萬七千三百五十圓
 償還期限 發行ノ年ヨリ五年据置キ其ノ翌年ヨリ向五十年内
 利率 年五分

初期利子(昭和三年三月初一日渡) 額面百圓ニ付一圓五錢

右震災手形損失補償公債法第二條ニ依リ昭和二年十二月十六日之ヲ發行セリ

●五分利公債(も號)發行ノ件 昭和二年十二月二十八日 大藏省告示第百二十二號

一 五分利公債(も號)額面二百七十七萬二千五百圓
 償還期限 發行ノ年ヨリ五年据置キ其ノ翌年ヨリ向五十年内
 利率 年五分
 利子起算日 昭和二年八月一日

右昭和二年法律第二十九號ニ依リ(苦小牧輕便鐵道株式會社所屬鐵道買收ノ分)之ヲ發行セリ

●五分利公債(も號)發行ノ件 昭和二年十二月二十八日 大藏省告示第百二十三號

一 五分利公債(も號)額面百二萬四百五十圓
 償還期限 發行ノ年ヨリ五年据置キ其ノ翌年ヨリ向五十年内
 利率 年五分
 利子起算日 昭和二年十月一日

右朝鮮事業公債法第一條ニ依リ之ヲ發行セリ

●五分利公債(も號)發行ノ件 昭和二年十二月二十八日 大藏省告示第百二十七號

一 五分利公債(も號)額面四百二十五萬九千七百五十圓
 償還期限 發行ノ年ヨリ五年据置キ其ノ翌年ヨリ向五十年内
 利率 年五分

第二類 内國債 五分利公債(も號)發行ノ件

初期利子(昭和三年三月一日渡) 額面百圓ニ付九十錢

右震災手形損失補償公債法第二條ニ依リ昭和二年十二月二十七日之ヲ發行セリ

●五分利公債(も號)發行ノ件 昭和三年一月十九日 大藏省告示第一號

一 五分利公債(も號)額面百二十五萬五千五百圓

償還期限 發行ノ年ヨリ五年据置キ其ノ翌年ヨリ向五十年内

利率 年五分

利子起算日 昭和二年八月一日

右昭和二年法律第二十九號ニ依リ(日高拓殖鐵道株式會社所屬鐵道買收ノ分)之ヲ發行ス

●五分利公債(せ號)發行ノ件 昭和三年三月二日 大藏省告示第二十九號

一 五分利公債(せ號)額面六百八十九萬二千二百二十五圓

償還期限 發行ノ年ヨリ五年据置キ其ノ翌年ヨリ向五十年内

利率 年五分

初期利子(昭和三年三月一日渡) 額面百圓ニ付一錢

右震災手形損失補償公債法第二條ニ依リ昭和三年三月一日之ヲ發行セリ

●五分利公債(せ號)發行ノ件 昭和三年三月二十七日 大藏省告示第五十三號

一 五分利公債(せ號)額面千五百五十一萬五千五百圓

償還期限 發行ノ年ヨリ五年据置キ其ノ翌年ヨリ向五十年内
利率 年五分

初期利子(昭和三年六月一日渡) 額面百圓ニ付一圓一錢

右震災手形損失補償公債法第二條ニ依リ昭和三年三月二十日之ヲ發行セリ

●五分利公債(せ號)發行ノ件 昭和三年三月三十一日 大藏省告示第六十一號

一 五分利公債(せ號)額面三千百萬圓

内

震災善後公債法第一條ニ依ルモノ 額面二千萬圓

朝鮮事業公債法第一條ニ依ルモノ 額面三百萬圓

臺灣事業公債法第一條ニ依ルモノ 額面五百萬圓

樺太事業公債法第一條ニ依ルモノ 額面二百萬圓

關東州事業公債法第一條ニ依ルモノ 額面百萬圓

發行價格 額面百圓ニ付九十二圓十錢

償還期限 發行ノ年ヨリ五年据置キ其ノ翌年ヨリ向五十年内

利率 年五分

初期利子(昭和三年六月一日渡) 額面百圓ニ付八十六錢

一 五分利國庫債券(第四十二回)額面三千九百萬圓 第七次發行ノ分

内

第二類 内國債 五分利公債(も號)、(せ號)發行ノ件

帝國鐵道會計法第二條ニ依ルモノ
朝鮮事業公債法第一條ニ依ルモノ

額面三千六百萬圓
額面三百萬圓

發行價格

額面百圓ニ付九十八圓

償還期限

昭和十六年九月一日迄

利率

年五分

初期利子(昭和三年六
月一日渡)

額面百圓ニ付八十六錢

右本日之ヲ發行ス

●五分利公債(せ號)發行ノ件

昭和三年四月二日
大藏省告示第六十二號

一 五分利公債(せ號)額面三百四十五萬三百五十圓

償還期限

發行ノ年ヨリ五年据置キ其ノ翌年ヨリ向五十年内

利率

年五分

利子起算日

昭和三年一月一日

右朝鮮事業公債法第一條ニ依リ之ヲ發行セリ

●五分利公債(せ號)發行ノ件

昭和三年四月二十日
大藏省告示第七十二號

一 五分利公債(せ號)額面二百三十三萬五千二百二十五圓

償還期限

發行ノ年ヨリ五年据置キ其ノ翌年ヨリ向五十年内

利率

年五分

初期利子(昭和三年六
月一日渡)

額面百圓ニ付六十六錢

右震災手形損失補償公債法第二條ニ依リ昭和三年四月十四日之ヲ發行セリ

●五分利公債(せ號)發行ノ件

昭和三年五月十七日
大藏省告示第百號

一 五分利公債(せ號)額面七百一十一萬二千八百五十圓

償還期限

發行ノ年ヨリ五年据置キ其ノ翌年ヨリ向五十年内

利率

年五分

初期利子(昭和三年六
月一日渡)

額面百圓ニ付二十五錢

右震災手形損失補償公債法第二條ニ依リ昭和三年五月十四日之ヲ發行セリ

●五分利公債(せ號)發行ノ件

昭和三年六月二十六日
大藏省告示第百二十七號

一 五分利公債(せ號)額面二億四百九十八萬七千二百二十五圓

償還期限

發行ノ年ヨリ五年据置キ其ノ翌年ヨリ向五十年内

利率

年五分

初期利子(昭和三年九
月一日渡)

額面百圓ニ付九十四錢

右昭和二年法律第五十六號第五條ニ依リ昭和三年六月二十五日之ヲ發行セリ

●五分利公債(も號)發行ノ件

昭和三年七月九日
大藏省告示第百三十四號

一 五分利公債(も號)額面三百三十六萬三千八百五十圓

第二類 内國債

五分利公債(せ號)、(も號)發行ノ件

償還期限 發行ノ年ヨリ五年据置キ其ノ翌年ヨリ向五十年内

利率 年五分

利子起算日 昭和二年十二月一日

右昭和二年法律第二十九號ニ依リ(水戸鐵道株式會社所屬鐵道買收ノ分)之ヲ發行セリ

●五分利公債(も號)發行ノ件

昭和三年九月十一日
大藏省告示第百八十七號

一 五分利公債(も號)額面千二百四十一萬八百五十圓

償還期限 發行ノ年ヨリ五年据置キ其ノ翌年ヨリ向五十年内

利率 年五分

利子起算日 昭和二年十月一日

右昭和二年法律第二十九號ニ依リ(越後鐵道株式會社所屬鐵道買收ノ分)之ヲ發行セリ

●五分利公債(せ號)發行ノ件

昭和三年十二月四日
大藏省告示第百三十七號

一 五分利公債(せ號)額面八百萬圓

發行價格 額面百圓ニ付九十二圓五十錢

償還期限 發行ノ年ヨリ五年据置キ其ノ翌年ヨリ五十年内

利率 年五分

初期利子(昭和三年十月一日渡) 額面百圓ニ付一錢

右朝鮮事業公債法第一條ニ依リ昭和三年十二月一日之ヲ發行セリ

●五分利公債(せ號)發行ノ件

昭和三年十二月二十九日
大藏省告示第百六十號

一 五分利公債(せ號)額面二千五百萬圓

發行價格 額面百圓ニ付九十二圓四十錢

償還期限 發行ノ年ヨリ五年据置キ其ノ翌年ヨリ五十年内

利率 年五分

初期利子(昭和四年三月一日渡) 額面百圓ニ付八十七錢

右震災善後公債法第一條ニ依リ昭和三年十二月二十八日之ヲ發行セリ

●五分利公債(せ號)發行ノ件

昭和四年一月二十六日
大藏省告示第十號

一 五分利公債(せ號)額面七百五十七萬圓

償還期限 發行ノ年ヨリ五年据置キ其ノ翌年ヨリ向五十年内

利率 年五分

利子起算日 昭和三年七月一日

右朝鮮事業公債法第一條ニ依リ之ヲ發行セリ

●五分利公債(す號)發行ノ件

昭和四年二月十五日
大藏省告示第二十二號

一 五分利公債(す號)額面二千七百五十六萬圓

發行價格 額面百圓ニ付九十三圓九十錢

第二類 内國債 五分利公債(も號)、(せ號)、(す號)發行ノ件